FURAIKI3 FOG OFFICIAL GUIDE BOOK

PROJECT Re·

F·O·G
Full On Games

最高の一枚を求めて――

〝あの人〟のサイトを初めて見た時、震えがとまらなかった。

『最高の一枚を求めて』

こんなに凄い写真を撮っているのに。

その瞬間、北海道が俺の憧れの大地となった。

「俺、憧れている人がいるんですよ」

MG書房の面接に受かるとは思っていなかった。だって自分のことを『俺』呼ばわり。『最高の一枚』とか、意味不明なことアツく語っちゃって。

もしかしたらこれは、運命の悪戯だったのかもしれない。

四国の取材を終えたあと、渋川デスクに呼び出され……心光展の新人部門、鋭明展に挑戦することになった。しかも取材地は北海道！

デスクから新車のＮｉｎｊａも用意してもらった。機材の準備は万端だ。

奇しくも与えられた取材期間は〝あの人〟と同じ四週間。勝算なんてない。『最高の一枚』はその尻尾すら見えやしない。

不安はある。でもその不安の何倍、何十倍にも膨らむ期待。もう我慢できない。相棒とともに出発しよう、大洗へ。

――初代から12年。

風雨来記の魂が、いま、新世代へと受け継がれていく……

風雨来記3 コンプリートオフィシャルワークス

COMPLETE OFFICIAL WORKS

目次

出発準備編

取材開始編

物語編

企画資料編

風雨来記3

ふうらいき

出発準備編

逢沢なぎさ

走る彼女は漂鳥と自らを重ね……

さばさばとした性格の〝おねーちゃん〟だが、フェリー上で難しい顔をしていた主人公のことを心配して声をかけてくる、優しく繊細な一面も持つ。
新調したばかりのバイクとともに岬巡りをするため北海道へ渡る。
横浜出身、23歳。

Nagisa Aizawa

水科小夜

物悲しい眼をした少女は何を見る

白老はポロトの湖畔に佇んでいた、神秘的な雰囲気を纏う少女。極度の人見知りで話をするのがあまり得意ではない。
オルゴールに刻まれた曲の謎を知りたくて、幼い頃の写真を手掛かりに北海道を巡っている。
新津出身、17歳。

Sayo Mizushina

富村泉

無邪気な顔の裏に隠された真実は

ふらりと湯の里を巡るのが趣味の少女。温泉が大好きで造詣も深く、お湯談義を始めると生き生きした表情を見せる。

しかしどこか浮世離れしており、おまけにどこからやってきて、どこへ行くのか全くの謎。

新得出身、自称17歳。

Izumi Tomura

雪代明里

風景のスケッチが好きな少女。描く題材を求め、道内各地へよく足を伸ばすらしい。
実家が牧場をやっているためか、おおらかながら芯はしっかりしている。しかしミーハーな一面を見せることも。
浦河出身、19歳。

手のスケッチブックが語ることは

Akari Yukishiro

榊千尋

駆け出しのルポライター。
姉に影響されて単車乗りとなり、また旅好き、野営好きともなった。
初代風雨来記の主人公だった相馬轍の取材記を見て衝撃を受け、同じルポライター、そして「最高の一枚」を志す。
東京出身、20歳。

姉貴

主人公千尋に、じゃじゃ馬すぎて合わないという理由だけでバイクのお下がりを譲った、豪快そして快活な姉貴。ベテランライダーであり、千尋に大きな影響を与えた。
かつて北海道では、通り名がつくほど派手に暴れ回っていたとか……

その他

渋　川	MG書房の編集総括者。千尋を抜擢した。
重野千里	熟年ライダー。以前オルゴールを製作していた。
田口友成	ブルースロック歌手。売れてないが熱い心を持つ。
松　本	大人の雰囲気をまとった謎の女性。
お姉さん	天体写真家。流星群を撮りに北海道へ来ている。

ゲームの流れ

オープニング

ツーリングモード

大洗港、そしてフェリー上でのオープニングから苫小牧港へと降り立つと、このモードが始まる。道内を移動する唯一の手段であり、一番世話になるモードだろう。

道の景色が流れ、交差点では進みたい方向を選べばよいだけの極めてシンプルな操作だ。

舞台は北海道全て、どこへ行くのも完全に自由。地図を見ながら自分なりのプランを立てよう。

晴天、曇天、雨天。峠、ダート、橋、トンネル……道の見せる表情は多岐にわたる。

北海道の空気を感じながら、相棒のバイクに身を委ね、思うままに北の大地を駆け抜けろ！

アドベンチャーモード

ツーリングモードからスポットへ進入すると、アドベンチャーモードへ遷移する。矢印に従ってスポット内を散策し、取材を進めていこう。

場所や条件によっては旅先での出会いがある。一人気ままに廻るもよし、誰かと一緒に過ごすもよし。これもまた旅の醍醐味だ。

なお、君はルポライターであることはもちろん、カメラマンでもある。記事を書くには写真が必要だ。くれぐれも撮影を忘れないように。

キャンプモード

全道各地の取材をこなし、一日を終えると、このキャンプモードになる。ここで英気を養って翌日以降の行動に備えよう。

キャンプ地でも様々な出会いが待っているが、今回の旅は仕事であることも忘れてはならない。

その日その日の取材結果を記事として全世界へ発信しよう。

エンディング

繰り返す

進行先選択パネル
進める方向を示す

案内標識
主要交差点で表示される

脇見アイコン表示エリア
脇見可能なポイントで表示される

状態表示エリア
一時停止やＵターン時に表示される

コンパス
走っている方角を示す

現在地表示エリア
現在走行している道路や場所を示す

スタミナゲージ
主人公の体力を示す

（画面はVita版）

■脇見ポイント

走行中には、沿道の景色を眺められる箇所がいくつも出現する。そんな臨場感たっぷりな脇見が可能なポイントでは、上図のようなアイコンが表示される。場所によっては短い解説もあるので見逃せない。

なお、アイコンはすぐに消えてしまうのでチェックを怠らないようにしよう。まさに景色との一期一会だ。

■スタミナゲージ

燃料計を模したゲージでスタミナの残量を示している。

これがEMPTYまで振り切ると強制的にキャンプ地へ移動し、行動できなくなってしまうので、画面右下には常に注意を払っておこう。

自動でキャンプ地へ移動してくれるとはいえ、スタミナ切れを起こすと翌日は体力が全回復しないペナルティを受けてしまう。早め早めのキャンプを心掛けるべし。

■迷ったら一時停止

交差点をどちらへ進むべきかじっくり考えたい場合など、ポーズ代わりになるので積極的に活用していこう。

この状態ではスタミナが減ることはないので安心だ。ツーリング中の次の行動に迷ったらまずこれ。一時停止中は画面中央でアイコンが点滅する。

■案内標識と現在地表示

幹線同士がぶつかる交差点では、進行先選択パネルの上部に実物そっくりの案内標識が表示される。

また画面下側には現在地が示されていて、大きな道であれば道路の情報と路線標識も出てくるので、今どこを走っているのか判るようになっている。

スタミナを無駄遣いしないためにも、全道地図と併せてこれらを活用しよう。慣れてくれば、地図を見ずに目的地へ辿り着けるようになるはずだ。

なお自治体名には平成の大合併前のものが採用されている。

■地図

地図は目的地や現在地の確認で世話になることが多いだろう。ＶＩＴＡ版はシームレスな無段階縮尺、ＰＣ版では三段階の縮尺を切り替えて使用する。

縮尺変更（ＰＣ）
縮尺を三段階で変更できる。ホイールでも可能。

現在地
大きな赤い点滅で示される。

探訪可能スポット

軌跡
詳細縮尺では走行軌跡が青点で示される。

全道縮尺では現在地のみ表示される

バランスのよい広域縮尺

> ◉隠しスポットを発見せよ！◉
> 初期マップでは隠されているスポットが多数存在する。特殊な隠しスポット以外は近くを通りかかると発見されるので、全ての道路をくまなく走ってみよう。

■設定

案内標識表示
主要交差点で進行先サムネイル上に表示される方向案内標識の表示／非表示を切り替える。

移動先枠表示（ＶＩＴＡのみ）
アクティブな進行先サムネイルを示す枠の色を指定することができる。また、非表示も設定可能。

現在地表示
現在走行地点の表示をＯＮ／ＯＦＦ

ＢＧＭ
ツーリング中に流れる音楽を
１：ＭＩＲＡＧＥ
２：Ｆａｔａ Ｍｏｒｇａｎａ
３：光を求めて
とＯＦＦの四種類から選ぶことができる。

巡航速度
走行中の移動速度を三段階で変更できる。風を切って快走するもよし、ゆっくり景色を堪能するもよし。楽しみ方は自由だ。交差点などではこの設定に関わらずゆっくり進むので安心。

コンパス表示（ＶＩＴＡのみ）
現在走行している方角を示すコンパスの表示／非表示を切り替える。

■ＰＣショートカットキー

ツーリングモードでは、通常のマウスのほか、キーボードでも基本的な操作ができるようになっている。うまく活用しよう。

Ｍキー：地図表示

スペースキー：一時停止／再開

Ｃキー：設定画面へ

Ｒキー：逆方向へＵターン

エスケープキー：ゲームの終了

下キー：
一時停止（走行中）
Ｕターン（一時停止中）

左右キー：進行先や脇見の選択

上キー：
進行先の決定（走行中）
再開（一時停止中）

リターンキー：進行先の決定

アドベンチャーモード

■メッセージフェイズ

千尋
「行くぜ、相棒！」

日めくりカレンダー
今日の日付を示す

ウィンドウ
メッセージおよび選択肢が表示される

メニュータブ
タップでメニュー表示

探索矢印
クリックすることでスポット内を移動

スタミナゲージ
主人公の体力を示す

■移動フェイズ

（画面はVita版）

■フェイズ

風雨来記3では、アドベンチャーモードが明確にフェイズ分けされている。**メッセージフェイズ**と**移動フェイズ**だ。それぞれのフェイズで選択できる行動が変わる。

メッセージフェイズは旅人との会話や主人公千尋のモノローグなどがウィンドウに表示され、それに関連したコマンドを選択できる。

移動フェイズは画面中央に四方向の矢印が表示され、それに従ってスポット内を探索する。

■移動

移動フェイズではスポット内を移動し、散策することができる。矢印に従って散策を楽しもう。スポットによっては行動の結果で辿れる場所に変化が生じる場合もある。

青矢印は進めるセルの方向を、緑矢印は直前のセルから進んできた方向を示している。スポット駐車場では橙矢印が表示され、これを選択するとスポットから出てツーリングモードへ移行できる。

ハードな散策行程では充分なスタミナ量が要求されることもあるぞ。計画的に取材をこなそう。

■コマンドメニュー

各種コマンドを解説する。

スキップ

既読文章をスキップする。設定で未読文章もスキップできるよう変更可能。またＰＣ版はコントロールキーで設定如何に関係なく全ての文章をスキップできる。

ログ

バックログを表示する。ホイールを上へスクロールしても可。

オート

自動で文章を送る。速度は変更可能。

ボイス

会話音声をもう一度再生できる。

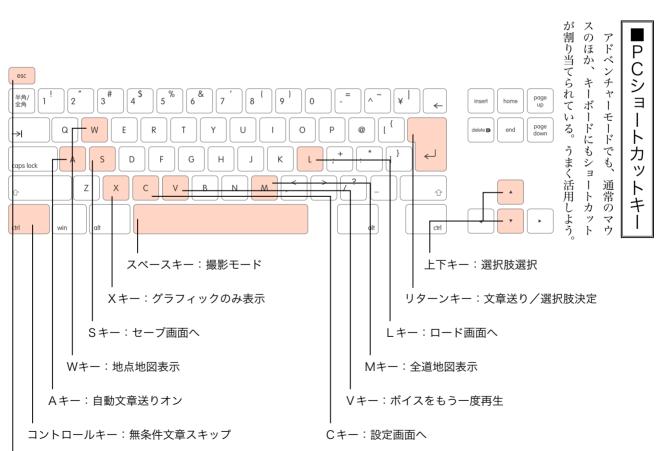
撮影

記事に使用する写真を撮る。

キャンプ

取材を切り上げ、キャンプモードへ遷移する。このコマンドはスポット駐車場（ＥＸＩＴ矢印の出る場所）でのみ選択できる。

映像再生

スポットによっては映像が用意されている場所がある。これを選択すると臨場感たっぷりの映像を楽しめる。

全道地図

北海道地図を表示。詳細は前々頁を参照。

地点地図

スポット地図を表示。セルの連結によってスポットの構造を示す。

■撮影

カメラモードでは、記事に使用する写真を撮影できる。

ピントが合うと六角形のインジケータが点灯するので、そのタイミングでシャッターを切ろう。

特にＶＩＴＡ版ではマニュアルフォーカスが標準仕様になった。もちろん従来ＰＣ版の挙動にも設定で選択可能だ。（→16ページ）

■地点バリエーション

スポットによっては、再度訪れることで探索エリアのバリエーションに変化が現れる場合がある。

既に一度見て廻った場所だからといって通り過ぎてしまわず、何度も足を運んでみよう。そこに新しい発見が待っていたり、記事のネタが転がっているかもしれない。

スポットによってはバリエーションに変化が

■ＰＣショートカットキー

アドベンチャーモードでも、通常のマウスのほか、キーボードにもショートカットが割り当てられている。うまく活用しよう。

キャンプモード

■仕事をこなそう

スポット駐車場でキャンプコマンドを選択するか、あるいはスタミナ切れを起こすとこのキャンプモードになる。

キャンプ地では焚き火の揺れる炎を見ながら物思いに耽ったり、宴会の誘いがあったりする。これも旅の醍醐味だが、今回は仕事。きちんと記事を書いてアップしよう。

もちろん記事を書かずに就寝することも可能だが、週に一度も投稿しなかった場合呼び戻されてゲームオーバーとなる。注意しよう。

■記事作成

執筆するには、まずネタ一覧から記事を選ぼう。

記事のネタは昼間の行動によって変わり、選べるのは当日取材したものだけだ。翌日以降へ持ち越しはできないので注意。

ネタを選んだら、次に後半の文章を書いていく。

ものによっては選択肢が出てくるので、自分の思うままに組み立てていこう。

執筆中はいつでも題材を変更できるので、安心して筆を進めてよい。

最後まで書き終えたら使用する写真を選ぶ。

これも記事ネタと同様、選択できるのは当日撮影したもののみ。

なお、写真は最低でも2枚以上ないと記事を作成できない。こまめに撮影しよう。

記事を完成させたらもう一度読み返そう。

このネタでいいか？この写真でいいか？全ての最終チェックを終えたら、あとは記事投稿ボタンをクリックして送信だ。読者の反応を待とう。

■レスポンス

記事の投稿が終わると、ツイッチャーというコミュニケーションネットワーク上で読者からレスポンスがある。時には取材のヒントをもらえることも。

反響の大きさは、得られる点数の大まかな指標となるだろう。

なお、ツイッチャー上で一通りのやりとりを終えたあと、ブラウザ上部の鋭明展タブを開いてみよう。

これまでの記事を閲覧できる機能が用意されている。

■ランキング

今回は鋭明展で上位入賞を果たすのが目的。ランキングは週ごとに更新される。

順位をあげるコツは、よいネタの記事を書くことは当然だが、それよりも大事なのは毎日欠かさず投稿することだ。〝継続は力なり〟で上位を目指そう。

キャンプは自分自身と向き合える時間だ

■PCショートカットキー

Lキー ロード
Iキー 記事執筆（夕）
Mキー 全道地図（朝）
Nキー 就寝（夕）
Tキー 出発（朝）
Cキー 設定
Xキー グラフィックのみ表示
Sキー セーブ
コントロール 文章スキップ
エスケープ ゲーム終了

VITA版での新要素

■カメラモード

PC版では移動フェイズでのみ選択可能だったカメラが、VITA版では原則としていつでもどこでも撮れるようになった。

PC版における撮影は、千尋が周期的にピントを調整するので、フォーカスエイドが点灯したタイミングでシャッターを切ればよい。つまりセミオートフォーカスとでも表現すべき挙動だった。

今回VITAへの移植にあたって、これをマニュアルフォーカスとすることで、より撮影を楽しめるように改善を施した。

カメラモードに入ると、初期状態ではほとんどの場合で画面がややピンボケしているはずだ。このとき十字キーや左スティック、またはタッチスクリーンを上下に操作することでピントを調整できる。合焦の際にフォーカスエイドが点灯することは以前と変わりない。そこでシャッターを切ろう。（初期フォーカス位置はランダムなので、最初からピントが合っていることもある。）

なお身も蓋もないことを言ってしまうと、これはあくまで『撮影』という行為を楽しんでもらうための要素にすぎない。焦点が合わない状態で撮っても、記事で使う際にはきちんとした現像結果になっているので心配無用だ。記事の評価にも影響はない。

設定画面から、従来のPC版と同じ挙動へ変更することもできる。

フォーカスエイド

※カメラモードへは、メニューから選ぶ以外にＬボタンでショートカットも可能だ

■地図

PC版では三段階で固定されていた縮尺が、VITA版では無段階ズームできるように改良された。

右スティック上下で拡大縮小ができるほか、スマートフォンのようにタッチスクリーンのピンチイン・ピンチアウトでも可能だ。LボタンRボタンでも拡縮でき、こちらは従来のような段階型の挙動となっている。

特にスティック操作では、左スティックで地図のスクロール、右スティックで拡大縮小、と組み合わせることで見たい位置・見たい範囲を瞬時に操作できるのでストレスフリーだろう。

なおPC版ではマウスオーバーで表示された地点名が、VITA版では拡大縮尺時に浮かび出てくる。これも併せて頭に入れておこう。

■コンパス

風雨来記（1）で実装され、3のPC版にて一旦は取り除かれたツーリング時のコンパスが、VITA版では強化された上で復活した。

1では非常におおまかな方角表示だったが、今回は方位磁針を模した360段階という細かさで刻まれている。

現在地表示と交差点の案内標識、そしてこのコンパスを組み合わせれば、迷子とはもうおさらばだ。

■ふうらい八景（アップデート）

PSストアで配信されているアップデートを適用すると、『ふうらい八景』と称して特別なセーブアイコンが実装される。

これは、或るスポットにいる状態でセーブすると、セーブアイコンが通常とは違う特別バージョンに変化するというものだ。

〝八景〟の名の通り、特殊アイコンが設定されているのは合計8スポット。中には特殊な条件をクリアしなければ出てこないものもあるぞ。

是非とも宝探しの要領で見つけてみてほしい。

■VITA TV対応（アップデート）

同様に、PSストアで配信されているアップデートを適用することで、VITA TVでもプレイができるようになる。

携帯ゲーム機を使っていついかなる場所で心を北海道に飛ばすもよし、自宅の大きなテレビ画面で雄大な北海道の景色を味わうもよし。楽しみ方の選択肢が拡がるぞ。

特に風雨来記（1）から大幅に進化した風雨来記3の美麗なグラフィックを大きな画面で見られるアドバンテージは大きいだろう。

自宅のVITA TVで北海道の予習をしてから実際の北海道旅のお供にVITAと風雨来記3を連れて行く、なんて使い方も可能になる。

おまけモード

■出現条件

各ヒロイン、または一人旅ルートを一度でもクリアすれば、おまけがアンロックされる。ここには訪ねた地の風景やイベントCGを見られるアルバムモード、全BGMを再生できるミュージックモードが用意されている。

■アルバムモード

アルバムモードは大きくふたつに分かれている。

探訪地で眺めた風景をもう一度見られる「スポット写真」、各ヒロインや主人公千尋などのグラフィックが登録される「イベントCG」だ。

サムネイルをクリックすれば画面全体で見ることができる。

イベントグラフィクスではＣＧ収集率が表示される。100%を目指そう。

■ミュージックモード

ゲーム中に使用されている全ての楽曲を聴くことができる。

草原をバックにして、数々の記憶に思いを馳せてみよう。

今作に使われたＢＧＭの多くは初代風雨来記のものが再び採用されているが、新たに風雨来記３専用として６曲が書き下ろされている。

風雨来記３　ＢＧＭ全曲リスト

作曲：風水嵯峨（01～29）
椎名建矢（30～35）

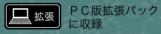
01 風は丘をこえて	02 笑顔の真実	03 ひとときの別れ	04 問わず語りの雨	05 迷走
06 この夜空の下で	07 駆け抜ける草原	08 ライダーズ・ハイ	09 放浪者	10 あの丘の向うへ
11 陽だまりのなかで	12 MIRAGE	13 光を求めて	14 物憂いの午後	15 時のワルツ
16 想い交わす雨	17 泡沫（うたかた）の来訪	18 心委ねた笑顔	19 名も知らぬ友たち	20 年輪
21 暖かな記憶	22 遠い視線	23 霧に霞む島	24 月下の素顔	25 時は緩やかに流れ
26 旅立つ君のために	27 いえなかったことば	28 あの日の約束	29 俺の最高の…	30 Fata Morgana
31 Johxmon	32 未来	33 不穏な心	34 ブレークスルー ザ ロード	35 路（みち）の続き

取材開始編

風雨来記3

ふうらいき

アイコンの見方：

無印 ＰＣ版とVita版の両方に収録

ＰＣ版拡張パックに収録

Vita版に収録

石狩管内には北海道の政治経済交通、全ての中心が集約されており、その人口は宮城県に匹敵する。道都である札幌、支笏湖のある千歳市、断崖絶壁の続く石狩市旧浜益村など都市から自然まで幅広く楽しめる。

振興局所在地：札幌市中央区

❶ 札幌
② 石狩油田跡
③ 白銀の滝
④ 支笏湖
⑤ スウェーデンヒルズ

石狩管内

札幌

さっぽろ

人口190万人を誇る、言わずと知れた北の都。

政治・経済・文化など、あるゆる分野における北海道の中心地であり、道庁や北海道大学、テレビ塔から巨大アーケードの狸小路商店街まで、見所にはこと欠かない。

そのため一人旅ルートだけで5種類もの探訪シナリオが用意されている。札幌を満喫したい場合は日を改めて訪れてみるとよいだろう。

なぎさとのイベントでは、このゲームでは珍しい外食シーンを楽しむことができる。監督はここのカレーの中毒者だともっぱらの噂だ。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

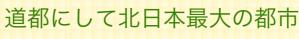
江別市森林キャンプ場

1回目マップ

2回目マップ

テレビ塔が象徴的な大通公園。噴水がいくつも設置されている

チカホを使えば札駅（サツエキ）からすすきのまで天候を気にせず歩ける

札幌のような都会でも碁盤目状の街はまさに北海道を意識させる

駅前は綺麗に整備されている。奥に見えるのはＪＲタワーだ

3回目マップ

4回目マップ

5回目マップ

6回目以降マップ

石狩油田跡

いしかりゆでんあと

閉山した今でも原油が湧き続ける、産業の残り香

石狩油田の開発について、発端は江戸時代にまでさかのぼるという。その後何度も調査・試掘が繰り返され明治後期に遂に鉱脈を発見、昭和30年代に閉鎖されるまで半世紀以上に渡り稼動した。

もちろん採掘に見合う量ではないものの、現在も原油が湧き出ていることに驚かされる。

隆盛を誇った昭和初期には250人以上の従業員がいたという。仕事場と家、従業員とその家族で形成された街。遺された小学校の校門などを見ると、石油採掘事業のギャンブル性も含めて、「兵どもが夢の跡」という郷愁を抱かざるを得ない。

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

江別市森林キャンプ場

校門の横にひっそりと佇む記念碑

いまでも原油がぷくぷくと湧いている様は驚きだ

出現条件

他地点での駐車場ランダムイベントでアンロック

白銀の滝

しらがねのたき

陸の孤島、急峻な海岸線に流れ落ちるオアシス

断崖絶壁が海と対峙する雄冬(おふゆ)地区。この地での道路の建設は困難を極め、一時は「幻の道」と呼ばれた石狩国道が開通したのは1981年のこと。

しかしその後もトンネル崩落事故や冬季通行止めが続き、通年通行可能となって増毛(ましけ)～雄冬間の定期船が休止されたのはなんと1992年。わずか20年ほど前の話だ。

現在はパーキングエリアが設けられ、海に迫る崖から流れ落ちる滝を目前に楽しむことができる。暑寒連峰を源とする清流が40㍍の高さから無数の銀の糸を織り成す姿は、ツーリングの疲れを癒してくれることだろう。

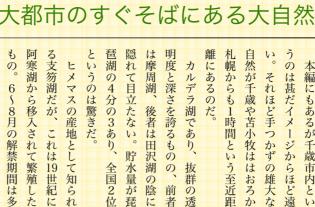
イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

望洋台キャンプ場

険しい海岸線。道路維持工事による車線規制もしばしば

石狩から増毛までは意外と距離がある。ＰＡで休憩しよう

拡張

支笏湖

しこつこ

大都市のすぐそばにある大自然

本編にもあるが千歳市内というのは甚だイメージからほど遠い。それほど手つかずの雄大な自然が千歳や苫小牧はおろか、札幌からも1時間という至近距離にあるのだ。

カルデラ湖であり、抜群の透明度と深さを誇るものの、前者は摩周湖、後者は田沢湖の陰に隠れて目立たない。貯水量が琵琶湖の4分の3あり、全国2位というのは驚きだ。

ヒメマスの産地として知られる支笏湖だが、これは19世紀に阿寒湖から移入されて繁殖したもの。6～8月の解禁期間は多くの釣り人で湖上が賑わう。

本編で訪れた東岸のモラップキャンプ場の他に、西岸の美笛キャンプ場など宿営地も豊富。

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
モラップキャンプ場

水の清らかさは極めて高く、底まではっきりと見える

外周部はまるでお椀のふちのように、外輪山が取り囲む

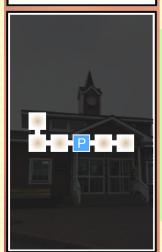
拡張

スウェーデンヒルズ

すうぇーでんひるず

北海道に現れた異国の街

当別町太美に開発された住宅地、スウェーデンヒルズ。その名のとおり北欧風の建物や街並みを再現したこの地に立つと、ここが日本であることを忘れてしまいそうだ。

ロッジやペンションを思わせる住宅だけでなく、カーブを描く道路、ケーブル類が地中に埋設され視界に入らない景観も異国情緒を演出する。

スウェーデンのレクサンド市と姉妹都市関係にあり、夏冬にはご当地流の祭りなども開催、地域内には交流センターまで建設されている。

最寄駅はJR札沼線（通称・学園都市線）石狩太美駅だが、こちらの駅舎まで北欧風という念のいれようだ。

イベント
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
江別市森林キャンプ場

家々が、静かな白樺の林に抱かれているよう

緩やかなカーブで分岐してゆき、終端部はサークル状の道となる

■キャンプ場情報 Vol.1

※キャンプ場からは道路上の文字と正対する方向へ出発する

折戸浜キャンプ場

東大沼野営場

きじひき高原キャンプ場

厚沢部レクの森

川汲公園

大成野営場

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 石狩

コラム
語り：椎名建矢 監督

ほっぽうけんぶんろく　いしかり

このエリアは……

石狩管内は実に様々な表情を見せてくれるところです。都会から山、そして湖や海まで。少し道を流すだけで色々な表情を楽しめます。最大都市札幌なら大抵のものは揃いますので、特に不自由なく――というより、むしろとても快適に――過ごせますね。個人的に札幌へよく行くのですが、感覚的には東京にいるときとあまり変わりません（それが良いか悪いかは別として）。札幌圏は、市内だけでなく当別町や江別市、恵庭市などの郊外も魅力的。今の仕事の環境さえどうにかなれば、自分はすぐにでも移りたいですね。

リコメンドポイント

今やすっかり札幌名物として定着したスープカレーですが、実はなぎさシナリオで出てきたお店は、自分の大のお気に入りのところなんです。もし札幌へ行かれる予定のある方は是非味わってみてください。

それから忘れちゃいけない石狩油田。ここへ初めて行ったときは衝撃でした。盛夏は草がかなり伸びるので初夏を狙った方がよいでしょう。また油田からさらに奥へと上がり当別町の方へ抜ける道は誰も通らないので、自分のペースで舗装林道を楽しめるポイントでもあります。

こぼれ話

取材中、札幌在住の友人には非常に世話になりました。**撮り貯めた写真データを東京へ送信しまくるのに**という意味で。一日分ですら数ギガバイトになるので、公衆無線LANやテザリングでどうこうできるレベルではなかったのです。ふらりと取材へ発っては一週間ほどで戻ってきてデータをアップする……彼と彼の家の光ケーブルがなければ、果たして風雨来記3が無事に世へ出ていたかどうかわかりません（笑）。

渡島管内（おしま）

半島東部を占める渡島地方。北海道第三の都市函館を擁し、青函航路、青函隧道など本州との結びつきが強い。気候は比較的温暖であり、管内の海沿いの道は本州以南の漁師町を彷彿とさせる。

振興局所在地：函館市

函館

はこだて

日本三大夜景を誇る歴史ある港町

初代風雨来記ではカバーされていなかった道南。その中心的都市がこの函館だ。

幕末以来港町として発展してきた一方、軍事的要衝としての側面も併せ持つ。観光客で賑わう函館山も、かつては要塞として長年入山禁止となっていた。展望台から脇道に入るとその要塞跡を見ることができる。

一人旅の探訪では、赤レンガ倉庫や、旧繁華街である十字街、五稜郭公園などゲーム中最大となる全6種のスポットシナリオを巡ることができる。

見所満載の函館、一番のオススメといえば、ベタであるがやはり函館山からの夜景か。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

東大沼野営場

函館山からの眺望。おなじみとはいえ、やはり外せない

溢れる観光客の中に要塞の存在を知っている人はいるのだろうか

少し散策すると住人の息吹を感じるようになる

タワーから俯瞰する五稜郭は圧巻で美しい

大沼公園

おおぬまこうえん

北海道で最も著名な公園と言えば…

大沼国定公園は、渡島半島にある駒ヶ岳とその西麓、駒ヶ岳噴火の土石流によって形成された大沼、小沼がエリア。

なかでもＪＲ大沼公園駅に隣接する大沼公園はアクセスもよく、古くから道南随一の景勝地として知られる。大正時代には新日本三景にも選ばれた。

近隣にはホテル、スキー場、ゴルフ場などが点在し、一大リゾートを形成している。

駒ヶ岳の雄大な姿を背景に、湖に浮かぶ多くの小島。それを繋ぐ橋を渡りながら散策することができる。自然公園とはいえ整備は行き届き、遊覧船やボート、レンタサイクルも完備。

イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
東大沼野営場

駒ヶ岳を横目に、ゆっくりと遊覧船が進む

広大な散策コース。森林浴がとても気持ちよい

きじひき高原

きじひきこうげん

大野平野北側の絶景スポット

函館の北方約20㌔に位置する木地挽（きじひき）山中腹にある、眺望の素晴らしい高原。

展望台からは、駒ヶ岳や大沼・小沼、函館市街を挟んで函館山を絶妙の距離感で望むことのできるおすすめポイント。是非ここから日本三大夜景のリバースバージョンを見てみたいものだが、残念ながら夜間は開放されていない。

近くにはテントサイトのほかバンガローまで完備された「きじひき高原キャンプ場」が開設されており、このスポットでキャンプを選択すると、当然このキャンプ場で野営をすることになる。

イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
きじひき高原キャンプ場

展望台までの高さはさほどでもない。苦もなく登れる

駒ヶ岳から函館まで、ぐるっとパノラマは必見

白神岬

しらかみみさき

あまり有名とは言い難い、南の端

　松前半島の突端、津軽海峡に面した北海道最南端の岬。津軽海峡対面の竜飛崎までは20㌔弱、地図で見ると、本州北端の大間崎より南にあるのがよくわかり興味深い。
　本編の中でも触れられているとおり、「最南端」はあまりにも無名。
　『北海道最南端　白神岬』と簡素な看板だけ設えてある、襟裳岬と比べれば遥かにマイナーなスポットで、訪れる人はまばら。
　付近は渡り鳥の一大中継地となっており、100万羽もの鳥が津軽海峡を渡る。それを考慮して風力発電所の建設が見送りになったという逸話もある。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

折戸浜キャンプ場

付近は岩礁がとても多い

最南端という言葉とは裏腹に険しい海岸線

空気の澄んでいる日は津軽半島をはっきり見ることができる

白神岬灯台は津軽海峡航行に欠かせない

傍の国道はそれなりの交通量だが、いつ訪れても人跡はまばら

逢沢なぎさとの再会

　メインヒロイン、逢沢なぎさと再会できるのがここ白神岬。「最南端を目指す」という言葉通りにしていれば特に苦労なく会えるはずだ。３日目までに来よう。

平田内温泉

ひらたないおんせん

ほどよく行きやすい道南の秘湯

実は平田内温泉とは、宿泊施設もある下流数㌔までの範囲を含む一帯を指す。その中の〝熊の湯〟が訪れる露天風呂の正式名称。道東のそれと混同するので平田内温泉というスポット名になっている。

渋川デスクの言っていた道南の秘湯とはここのこと。国道229号から熊石青少年旅行村方面に入ると、林道の終点に大きな駐車場がある。比較的容易なアクセスで秘湯感を味わえるおすすめスポットだ。

脱衣場は男女別だが露天風呂は混浴、源泉は52度前後で露天風呂のお湯も熱め。ホースで隣の沢から水を引けるので、自分好みの湯温に調整しよう。

温泉の傍まで舗装された道路が続いている

温泉の隣には渓流が。融雪期や大雨後には注意

道端に温泉がブクブクと湧いている。結構熱い

岩の窪みに湯が溜まっている。湯船はほどよい大きさ

渓流や梢の音に耳を傾けながら湯を独り占め。最高の贅沢だ

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

大成野営場

富村泉との出会い

神出鬼没な富村泉と一番最初に邂逅するのがここ平田内温泉。3日目までに目指そう。ただし先に川又温泉を訪れていると会えなくなるという落とし穴が存在する。

長万部公園

おしゃまんべこうえん

家族の笑い声が聞こえる、日常の公園

厚沢部(あっさぶ)や音威子府(おといねっぷ)に比べたら……この程度で難読地名とは笑わせるね、と思えてきたら貴方も立派な北海道通か。

別名噴火湾ともいわれる内浦湾に面した長万部は、松前藩などによって江戸初期から開発された歴史のある和人地だ。

その長万部の街から道央道を挟んで西側の郊外へ向かうと、遊具等を備えたファミリーに最適の総合公園がある。

すぐそばには小規模ながら川が流れており心地よい音を届けてくれる。

公園内には炊事棟やテントサイト、バンガローなどが整備されていて、快適なキャンプが可能。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

長万部公園

整えられた芝と木々。ピクニックにも最適

大きな池が造られている。中には鯉がたくさん

矢越海岸

やごしかいがん

手付かずの自然、道南の知床

道立自然公園にも指定されている矢越海岸は、義経の放った矢に由来するという伝説の地である。

海沿いを矢越岬方面に向かって歩くと、ほどなく車道は行き止りに。ここからはいくつかの岬を越えて西の岩部まで、5㌔ほどは道路が通っていない秘境が続く。「道南の知床」と呼ばれる所以だ。

人しか通れない道をなお進むと、廃屋が佇んでいる。取材当日は穏やかだったものの、海が荒れでもしたら想像を絶する状況に陥るであろうロケーションだ。周辺の海域は透明度が高く、奇岩が多い。小谷石(こだにし)漁港から遊覧船が出ている。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

折戸浜キャンプ場

周辺には南国を思わせる綺麗な海が広がる

これより先には護岸など人の手が全く入っていない道南の知床が

重内神社

おもないじんじゃ

神社の裏手は、その名も重内展望台

知内町の重内神社。一見簡単そうで実は……という難読地名のチェンジアップだ。

観光地化されていない地元の神社、という風情ではあるが、特筆すべきは展望台が併設されていること。

神社の裏手、200段ほどの階段を登ると、立派な展望台が現れる。津軽海峡や重内平野が一望できる中、何と言っても目を引くのが、国道から神社に至る道道698号。

風雨来記3では直線道路の素晴らしいスポットがいくつかあるのだが、程よい高さから見る重内神社のストレートも、ユニークであり印象深い。

まさに地元の人のお社さん

海岸からまっすぐ神社を目指す道。昔は参道だったのだろうか

イベント			
なぎさ	小夜	泉	明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
折戸浜キャンプ場

水無海浜温泉

みずなしかいひんおんせん

いい湯だな……は運次第？

二股状になっている渡島半島の東側、亀田半島の突端恵山岬近くの海岸そばにある野湯。椴法華から国道278号に別れを告げ、道道231号と635号をひたすら進めば終端が水無海浜温泉だ。

海岸沿い、というより海岸そのものにあるこの温泉、汐の満ち引きにより入浴可否が左右されるため、『幻の温泉』ともいわれている。

磯の香りと潮騒に包まれて浸かる湯は野性味満点だ。入浴可能な時間表が函館市のウェブサイトに掲載されているので、チェックしておくとよいだろう。

ちなみに椴法華村はいわゆる平成の大合併で、函館市に編入されている。

遮る木々は皆無、海岸の湯は道内数ある野湯のなかでも開放感抜群

満潮時にはここ一帯が海に没してしまう

イベント			
なぎさ	小夜	泉	明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
川汲公園

松前城

まつまえじょう

土方歳三ゆかりの城

江戸末期に松前崇広（たかひろ）により築城された最後期の和式城郭。残念ながら天守閣は昭和24年失火により焼失し、後年、鉄筋コンクリート造りで復元された。

戊辰戦争の末期に土方歳三率いる旧幕府軍が、数時間で松前藩からこの城を落としたことは、あまりにも有名。

桜の名所としても知られる。見頃は5月上旬と、本州の開花時期からはかなり遅いので注意が必要。この時期には松前さくらまつりが開催される。

お盆の松前城下時代まつりも見どころ満載だ。甲冑を身にまとった『バイク武者集団』のパレードの他、山車行列や花火大会などもあり、町が一気に賑わいをみせる。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

折戸浜キャンプ場

北海道にいながらにして、鎧など江戸時代の息吹を感じられる

左手の大手門は焼失を免れ、当時を知る重要な資料となっている

拡張

汐首岬

しおくびみさき

本州に一番近い北海道

旧戸井町（現在は函館市）にある汐首岬は、亀田半島でも最南部にあたり、本州（下北半島大間崎）との距離が最も近いことで知られている。

昆布がそこかしこに干された、のどかな漁師町であるが、廃線マニアには有名な場所だ。

戸井線。函館本線の五稜郭駅から戸井の要塞までを結ぶべく軍部の主導で建設が進められ、ほぼ完成していたものの戦局の悪化で昭和18年に中断。結局営業はされず、正確には廃線ではなく未成線ということになる。

この近辺でも路盤は完成しており、コンクリートアーチ橋や隧道などの遺構を存分に堪能することができる。興味のある方なら必見だろう。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

川汲公園

貴重な遺構には経年劣化の宿命が迫る

付近はまったく着飾っておらず簡素な標が立つのみ

自然に囲まれた清流の公園

川汲公園

かっくみこうえん

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

川汲公園

　函館市街から道道83号で亀田半島を縦断、南茅部で噴火湾に出る数㌔手前に、キャンプ場が併設された広大な敷地を持つ川汲公園がある。

　その名の通り近くを清流が流れているが、水量はさほどでもないので川遊びに最適だろう。奥にはアスレチックの施設もあり、家族連れなどでシーズン中は賑わっている。

　豊かな自然に囲まれゆっくりと森林浴を楽しむのもよい。紅葉のシーズンもおすすめだ。

　南茅部方面に少し下った川汲温泉では、日帰り入浴も可能だ。他にも亀田半島には良質の温泉が各所にあるので、巡ってみるのもよいだろう。

山深い自然派の公園だ

テントサイトにもなる広場はとても居心地がよい

北方見聞録 渡島

DISCOVER HOKKAIDO

ほっぽうけんぶんろく　おしま

コラム

語り：椎名建矢 監督

このエリアは……

　誤解を恐れずに言えば"北海道っぽくない"場所です。特に亀田半島東岸、椴法華(とどほっけ)から南茅部を経て砂原へ至る辺りは国道ですら幅が狭かったり入り組んでいたり、集落の建物の様式もどこか内地の漁師町を思い起こさせますし、知内の方の田んぼや畑の光景はまるで内地の田舎のよう……そんな「北海道であって北海道ではない独特の雰囲気」があります。

　ただそれも八雲以北ではほとんどなくなって北海道らしい景色になるので、渡島管内をひとつのイメージで語るのは適切ではないと言えるでしょう。少し走ればガラリと雰囲気が変わる面白い地域です。

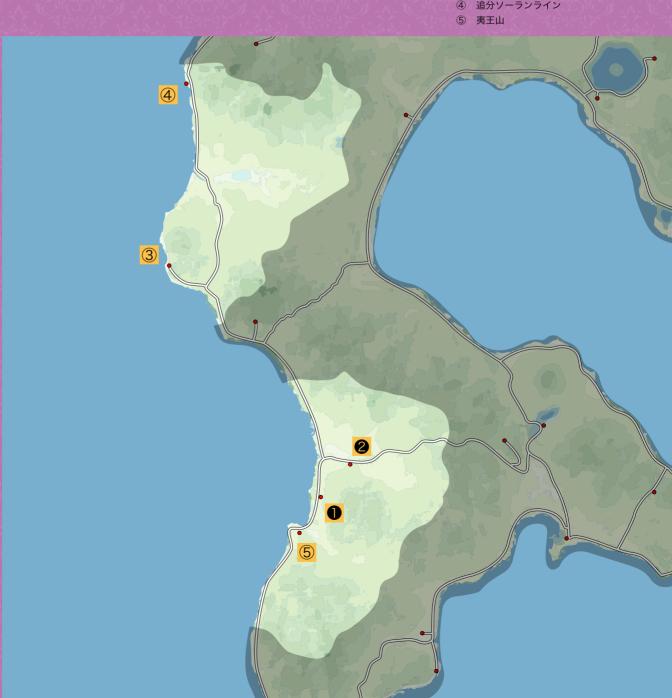
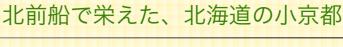
　また近隣に有名な登別などがあるためあまり目立ちませんが、意外と温泉が多いところです。平田内は言わずもがな、函館湯の川や水無海浜温泉、鹿部温泉や東大沼温泉など、特に渡島半島先端部ではけっこうな密度で湧いている印象を受けます。

リコメンドポイント

　まずはやはり平田内温泉。とても行きやすい場所なのになかなかの秘境度とグッドロケーションを味わえる、こういう野湯はとても貴重です。秘湯・野湯へ入ったことがないという方、是非挑戦してみては。

　食の方面だと、函館のイカが有名かと思いますが、そういうのは他のガイドブックに任せて自分は駅弁——森駅のいかめしと長万部駅のかにめしを推したい。単車を少し停めて、駅のホームや待合室などで食べてみると、美味な上に旅情もたっぷりですよ。

長万部のかにめしと森のいかめし

渡島半島西部に広がる檜山管内は古くから和人地として栄え、歴史の薫りを色濃く残す異色の存在感を放っている。また奥尻島への玄関口としての役割も担う。

かつて管内に属していた熊石町が八雲町と合併し離脱したため、南北に分断されている。

振興局所在地：檜山郡江差町

❶ 江差
❷ 厚沢部
③ 太田山神社
④ 追分ソーランライン
⑤ 夷王山

江差

えさし

北前船で栄えた、北海道の小京都

その歴史は17世紀にまでさかのぼるという、由緒ある街が江差だ。道北にある枝幸（えさし）と混同しやすいが、語源がともにアイヌ語の〝岬〟であるから仕方のないところか。

旧国道沿いの落ち着いた町並み「いにしえ街道」や明治時代の洋館「旧檜山爾志（にし）郡役所」、戊辰戦争当時土方歳三が殴った「歎きの松」、にしんそばの横山家など、名所が目白押しだ。

ほかにも、北前船が係留されていたという鴎島（かもめじま）、復元された開陽丸など歴史に関係する見所が多い場所。

有名な民謡「江差追分」はもちろんこの地が発祥。無形民俗文化財にも指定されている。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

厚沢部レクの森

歴史を感じさせる木造の洋館。つい最近まで現役だった

まるで京都に迷い込んだかのような歴史ある雰囲気の街並

厚沢部

あっさぶ

『世界一素敵な過疎の町』

この「世界一〜」は、移住者募集のため町が考えたコピー。「ちょっと暮らし」に興味のある方は、厚沢部町のサイトを覗いてみてはいかがだろう。

ゲーム内では、大野国道沿いにある道の駅周辺を歩くことができる。駅は地元産のヒノキアスナロを使って建てられており、内部は木の香りが満ちていてとてもリラックスできる。

ちなみに、入口で出迎えてくれるのは、メークインの発祥の地、ポテト王国とも称される厚沢部町のイメージキャラクター、おらいもくん。

周辺にはキャンプ場やアスレチック、追分ソーラン風力発電所が見える展望台なども設置されている。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

厚沢部レクの森

道の駅に隣接するレクの森は自然派公園だ

展望所のふもとは地元の人憩いの場。子供連れをよく見かける

太田山神社

おおたさんじんじゃ

日本一参拝するのが過酷な神社

道南五大霊場のひとつで、北海道本島の最西端に位置している。

日本で一番参拝が過酷、とはなんだか珍百景のようなコピーだが、決して誇張ではない。

45度を優に超える急勾配の階段が、来る者を威圧しているかのようなこの神社、千尋も三度目のチャレンジでようやく真髄に到達できるのだ。

急勾配に落石、クサリ場や目のくらむような断崖絶壁を乗り越え、たどり着いた先では、奥尻島まで見通せる絶景がご褒美に用意されている。

探訪の際は、登山の装備を怠らないようにしよう。特に最後の崖登りは足場が非常に不安定だ。万一の備えを。

ありえない急勾配の階段は、かかとがはみ出してしまうほど

鎖で断崖をよじ登れば、本殿とご褒美の絶景が出迎えてくれる

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

大成野営場

拡張

追分ソーランライン

おいわけそーらんらいん

隠

トンネルの開通が生んだ異景

国道229号追分ソーランラインを走ってみれば、険しい海岸線部分が続いていることに気づかされる。以前は海岸線を縫うように走っていた国道も、トンネルの建設によって内陸側に付け替えられている場所が多い。

久遠郡せたな町（旧瀬棚町）と島牧郡島牧村の境、茂津多岬の南方4㌔ほどにある横滝トンネルの北側入り口付近が今回訪れたスポット。

雷電やセタカムイと同じく、ここ横滝付近も新しいトンネルが建設され、より安全なルートが開通した場所だ。

トンネルから海岸線方向に枝分かれして伸びる旧道は、驚くほど状態が良い。トンネル名の由来となった横滝もみておこう。

一帯は険しい海岸線が続く

雑草や砂に覆われたアスファルトは、雰囲気に反してまだ古くない

イベント

なぎさ 小夜 泉 明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

賀老高原キャンプ場

P

夷王山

いおうざん

中世と現代、自然と人とが交わる塔

上ノ国の市街地からソーランラインを西へ。港付近から坂を登れば夷王山。歴史ある地域らしく中世の丘と呼ばれるあたりに威容を放つのが夜明けの塔だ。

上ノ国町開基800年を記念して建てられた塔は八角錘の二重構造になっており、内部の螺旋階段で高さ24㍍の最上階に登れば、日本海や町内を流れる天の川が一望できる。

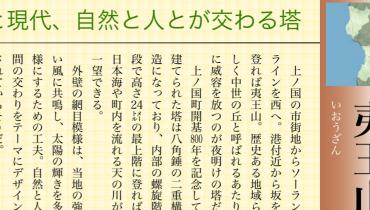
外壁の網目模様は、当地の強い風に共鳴し、太陽の輝きを多様にするための工夫。自然と人間の交わりをテーマにデザインされているそうだ。

夜間のライトアップも見ものだが、残念ながら現在は節電のため中止されている。

イベント
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
厚沢部レクの森

一面に広がる菜の花畑が非常に印象的だ

上ノ国市街地から江差や遠く熊石まで見渡すことができる

出現条件
明里と出会っている状態で10日目を迎えるとアンロック

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 檜山

ほっぽうけんぶんろく　ひやま

コラム　語り：椎名建矢 監督

このエリアは……

ゲーム中でも数多く言及しましたが、江差や上ノ国、そして松前など、やはりなんといっても和人地としての歴史が色濃く感じられる地域です。（松前の管轄は渡島ですが、話題の性格上こちらのコーナーで紹介することとします）

さかのぼれば、なんと15世紀初頭には既に和人による管理が始まっており、神社仏閣や鰊番屋など、北海道には珍しい中世の史跡が数多くあります。北海道で最古の建築物があるのもここ檜山。

建築物といえば日本式城郭、松前城も要チェック。いわゆる一般的なお城を北海道で見るというのはなんとも不思議な気分になります。

リコメンドポイント

檜山管内といえばもうここしかないでしょう的スポット……はい、そうです檜山北部の太田山神社です。

日本一参拝が過酷な神社、通称エクストリーム参拝はたしかに危険を伴いますが、それを乗り越えたときの達成感は格別。しかもご褒美の絶景まで拝めるんですから挑戦する甲斐があるというものです。基本インドアな自分が大量の機材を担ぎながらでも踏破できたので、普通の人なら大丈夫だと思います。ただし滑落死しても責任は負えません。

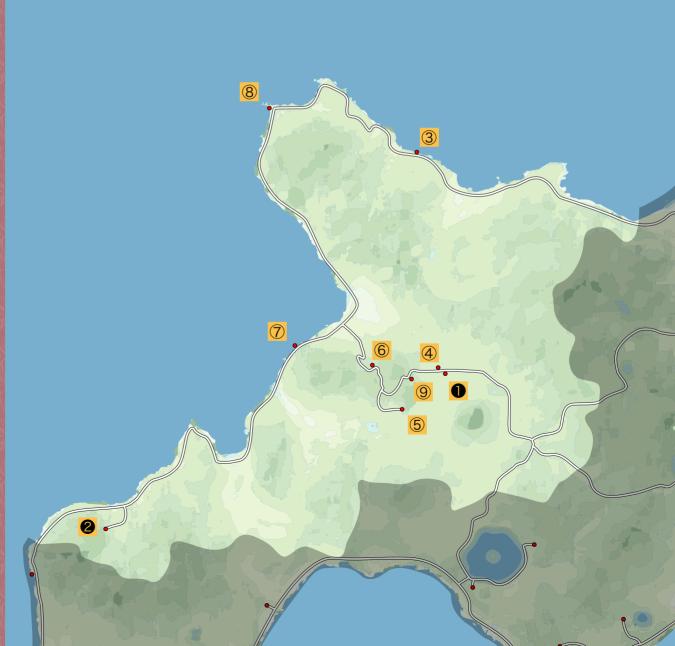
こぼれ話

かつては平田内温泉のある旧熊石町もこの檜山管内でしたが、渡島管内の八雲町と平成の大合併をして離脱しました。その結果、行政区域としての檜山は南北に分断されるという妙ちくりんな状態になっています。この辺を走ると、檜山と渡島は一緒になった方がいいんじゃないの、と感じるのはヒミツ。（ちなみにその統合を目指したのが支庁から振興局への改組だったんですが、結局竜頭蛇尾で頓挫しました）

後志管内（しりべし）

道内有数の観光地である小樽やウイスキーの名産地余市（よいち）、冬季リゾートとして世界中から注目を集めるニセコ・留寿都（るすつ）を抱える。ほぼ全域を山地が占めており、人口分布の偏りが著しい。かつて札幌と函館を結ぶ大動脈として栄えた。

振興局所在地：虻田郡倶知安町

❶ 倶知安
❷ 賀老高原
③ セタカムイ岩
④ 芝桜の丘
⑤ 双子の木
⑥ 神仙沼
⑦ 雷電
⑧ 神威岬
⑨ 鏡沼

倶知安

くっちゃん

羊蹄山とニセコ連山に挟まれた名水の地

函館から札幌を経由して旭川を結ぶJR函館本線の主要駅。とはいえ、札幌～函館間の旅客輸送はスーパー北斗など途中室蘭本線に入るのが主流。車の普及もあり現在では特急・急行の運行はなく、上り長万部方面へは一日8本のみ、下り小樽方面が始発列車含め13本。

北海道新幹線の停車駅として予定されており、どのように生まれ変わるのか楽しみであるが、今のところ開通予定が2035年と随分先の話である。

本編にもある駅前広場の「日本一の水」は、蝦夷富士の別名を持つ羊蹄山麓から湧き出た名水を手軽に楽しめる。但し冬季は凍結して使用不可。

駅前通りには花壇やベンチが

羊蹄山の恵み、名水を堪能しよう

賀老高原

がろうこうげん

大瀑布の姿と飛沫が、歩いた疲れを癒してくれる

江戸時代、島牧で採れた砂金を幕府に奪われないよう滝壺に隠し、龍が守護しているという伝説のある賀老の滝へは、駐車場からアップダウンの激しい道を片道20分、結構ハードだ。

岩の裂け目から流れ出る「ドラゴンウォーター」なる天然の炭酸水でも知られている。

この賀老高原は島牧村に属しているが、川又温泉で薫別のことを教えてくれる男性の言っていた「金花湯」はここから約10㌔西方にある。金花湯へは林道の終点から悪路を徒歩片道6時間、羆の出現地帯でもあるし勿論携帯は圏外。単独、また未経験者だけでの挑戦は絶対に避けてほしい。

木チップが敷かれているとはいえ少しハードな道。適度に休憩を

北海道最大の瀑布。その圧倒的な存在感を目に焼き付けよう

セタカムイ岩

せたかむいいわ

漁師の帰りを待つ、犬神（セタカムイ）伝説

険しい崖のそば、漁に出たまま帰らなかった主人を待つ犬の化身と言われるセタカムイ岩がそびえ立っており、朝日の名所として知られる。

またこの地は1996年に20人もの犠牲者を出した、豊浜トンネルの岩盤崩落事故が記憶に新しい。

事故後、旧豊浜トンネルとセタカムイトンネルを含む長い区間を一本の新豊浜トンネルとし、内陸側に新しいより安全なルートが開通している。

新トンネルの西側出口にあたる当スポット内には、「道路防災記念公園」が開設され、事故の慰霊碑も建てられている。

イベント

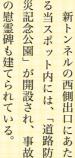
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

野塚野営場

豊浜トンネル事故の慰霊碑。訪れたら手を合わせよう

天を見上げる犬神の岩。現在その傍まで行くことはできない

芝桜の丘

しばざくらのおか

ひとりで築いた、ピンクの巨大絨毯

元農家の方が個人で育て上げた芝桜。「三島さんちの芝ざくら」という名称もあり微笑ましい限りであるが、実際に光景を目の当たりにすると、そのスケールと完成度は、個人が造ったものとはとても思えない。約3000平方㍍という広大な敷地内に遊歩道が整備され、驚くことに雑草もほとんど見当たらない。

羊蹄山をモデルにした小山は、頂上部分の残雪を白い芝桜で表現しており、現実の蝦夷富士とあわせて見ることができるのも面白い。

見ごろは5月下旬〜6月上旬。個人の敷地を無料で開放してくれているのだから、駐車・鑑賞マナーには特に注意を。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

半月湖野営場

羊蹄山の雪を模して植えられた芝桜と、奥には本当の羊蹄山

これほどの丘を個人で造成したとは俄には信じ難い、圧巻の園だ

双子の木

ふたごのき

羊蹄山を臨む、絶好のカメラスポット

黄土色のじゃがいも畑に立つ二本のさくらんぼの木。バックは青い空と羊蹄山。

ニセコにある「双子の木」は、秘かに知られるビュースポットだ。著名な観光地ではないのに、ここまでの素晴らしい写真を撮れるのが、北海道底なしの魅力のひとつであろう。

後志管内の紹介で欠かせない羊蹄山、標高1898㍍の成層火山で日本百名山にも選定。そのバランスのよい円錐形は、蝦夷富士と呼ぶに相応しい。

この地方を探索していればあらゆるところから見ることのできる羊蹄山だが、双子の木から望む姿が界隈屈指のものであることは言うまでもなく、是非目に焼き付けておきたい。

イベント

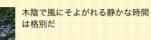
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

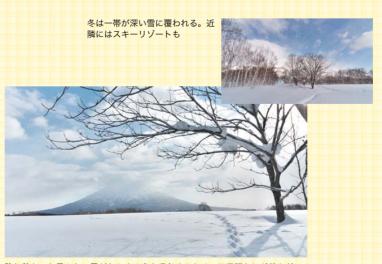
なし

対応キャンプ地

湯本温泉野営場

木陰で風にそよがれる静かな時間は格別だ

数ある羊蹄山ビューポイントのなかでも屈指のもの

白銀に浮かぶ蝦夷富士と双子の木の組み合わせは、後志で一二を争うほどに美しい景色

冬は一帯が深い雪に覆われる。近隣にはスキーリゾートも

降り積もった柔らかい雪があらゆる音を吸収するため、不思議なほど静かだ

雪代明里との出会い

VITA版で新たに追加された雪代明里と出会えるのがここ双子の木だ。他の女の子には目もくれず、一週目にいちど訪れておいて二週目の頭に再訪しよう。

神仙沼

しんせんぬま

神と仙人の住みたまう、高層湿原の沼

ニセコ連山の山中や山麓には多くの沼が点在するが、なかでも神秘的と言われるのがここ。むやみに自然を踏み荒らさないための木の歩道、トレイルを歩くこと約20分。ダケカンバの木々が鬱蒼と茂る国有林を抜けると、突然広がる湿原、その先に神仙沼が佇んでいる。

標高765㍍、溶岩台地上の高層湿原は、高山植物も豊富だ。

ちなみにここのトレイルは総延長1・4㌔にも及び、バリアフリー化されている。

ニセコ積丹(しゃこたん)小樽海岸国定公園内に位置しており、地方自治体が管理するこの場所、入口には森林環境保護協力金の募金箱も設置されているので、是非協力しておこう。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

湯本温泉野営場

森を抜けると開放感溢れる湿地帯が姿を現す

静かに鎮座する沼を見ていると、神仙の名もうなずける

雷電

らいでん

郷愁を誘う、役目を終えた廃道

小樽から江差まで日本海沿いを走る国道229号にはいくつかの通称がある。追分ソーランライン、セタカムイライン、檜山国道。この地を冠した雷電国道もそのひとつだ。

風雨来記3では、雷電海岸を走る国道の、使われなくなった旧道を散策することになる。長い覆道を抜けた先に姿を現す、入口がコンクリートで完全に塞がれた鵜の岩トンネル。このスポットの象徴であり、衝撃的な光景だ。

迫り来る断崖から崩れ落ちたと思われる落石の数を見れば、より安全な新トンネルに役目を譲るのは仕方がない。奇岩が立ち並ぶ海沿いの光景は、こうして歩いて堪能すればよい。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

湯本温泉野営場

塞がれたトンネルの中はどうなっているのだろうか

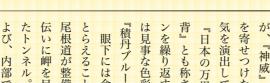
時の流れに浸食されたかつての道には大小さまざまな落石が

神威岬

かむいみさき

積丹半島突端、神が宿る岬

岬への入口、門に書かれた「女人禁制の地」という言葉は義経伝説に由来する。もちろん現在では女性も入場できるが、その重い言葉と岬へと続く険しい道が、『神威』の名に相応しい人を寄せつけないかのような雰囲気を演出している。

『日本の万里の長城』『恐竜の背』とも称される、アップダウンを繰り返す尾根伝いの道からは見事な色彩の海、そうこれが『積丹ブルー』だ。

眼下には念仏トンネルの姿をとらえることもできる。現在の尾根道が整備される以前、海岸伝いに岬を目指すため建設されたトンネル。全長は60㍍にもおよび、内部で2回折れ曲がっている。

イベント
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
野塚野営場

まるで鳥居の役割を果たしているかのように見える門

海へ細く急峻に突き出した威容はまさに岬のイメージの代表格

鏡沼

かがみぬま

拡張

沼の主になって景色をひとり占め

残雪や倒木、そしてちょっとした沢渡り。適度の秘境感に期待の高まる山道を40分ほど。姿をみせてくれるのは群青色も鮮やかな静寂の沼だ。周囲には人工物が一切なく、訪れる人も少ないため、自然を存分に満喫することができる。6月にはワタスゲの群落、9月には紅葉も素晴らしいそうなので、何度も足を運んでみたい場所のひとつ。

本編で紹介したのは道道58号、ニセコアンヌプリ頂上より北北東方向の地点から入るルートで、入山箱が目印だ。他にも下流側、東急ゴルフ場からのコースもあるがこちらは始終上り道となる。

また夏季運行しているグランヒラフスキー場のゴンドラ使用という『裏技』もあるらしい。

イベント
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
なし

対応キャンプ地
湯本温泉野営場

爽やかな清流は、ニセコの山々を迂回して日本海へとつながる

何人にも邪魔されない静けさに包まれ、神秘的な空気を纏う

■キャンプ場情報 Vol.2

賀老高原キャンプ場

長万部公園

野塚野営場

湯本温泉野営場

江別市森林キャンプ場

半月湖野営場

コラム
語り：椎名建矢 監督

北方見聞録 後志
DISCOVER HOKKAIDO

ほっぽうけんぶんろく　しりべし

このエリアは……

　おそらくほとんどの人の第一印象は、「読めない」ではないかと思います。そんな後志は北海道の〝左肩〟の部分にあたる地域。管内ではおそらく小樽が一番有名でしょうか。なんとなく小樽は石狩管内というイメージがあるのですが、これはおそらく札幌から電車一本ですぐ行けてしまうからなのでしょうね。

　小樽が最大の街ですが振興局の所在地は倶知安。かつて函館と札幌を結ぶ動脈は車も鉄道も倶知安を通っていたからです。時代が移り変わり現在は閑線となってしまってますが、北海道新幹線は倶知安を通る予定なので将来どうなっていくのか気になるところ。

　さて風雨来記3、この地域は隠しスポットの割合が特に高いです。最初の時点では地図はかなり寂しい状態で、倶知安と賀老高原しか出てません。ですがそれに気落ちせずバイクを走らせてください。気づいたらたくさんスポットが出てきているはずです。

リコメンドポイント

　時期が合えば、是非とも三島さんちの芝桜を。個人で造ったとは到底思えない規模と美しさの芝桜は、常に増築を進めているので毎年訪れるごとに規模が大きくなっていきます。

　あとは雷電も個人的にプッシュですね。使われなくなった道に岩がごろごろ転がっている光景はとても独特な空気です。ただし落石等が危険なので探訪は自己責任で。

こぼれ話

　ニセコ周辺はキャンプ場のほかライダーハウスやゲストハウスが数多くあり、宿泊には事欠きません。その中のとあるライハに泊まった際、オーナーさんが自分と同じ地元出身で、酒席が大いに盛り上がりました。こういう出会いがあるから旅はやめられませんね。

空知管内

旧空知支庁から幌加内（ほろかない）町を除いた地域が管轄区となっている。石炭の一大産地として隆盛を誇っていた頃は飛ぶ鳥を落とす勢いの繁栄ぶりだったが、産業崩壊以後は過疎化が深刻。

管内には財政破綻した夕張や日本で最も人口の少ない市として有名な歌志内（うたしない）がある。

振興局所在地：岩見沢市

❶　農家
②　シューパロ湖
③　ひまわりの里

農家

のうか

農家は毎年一年生

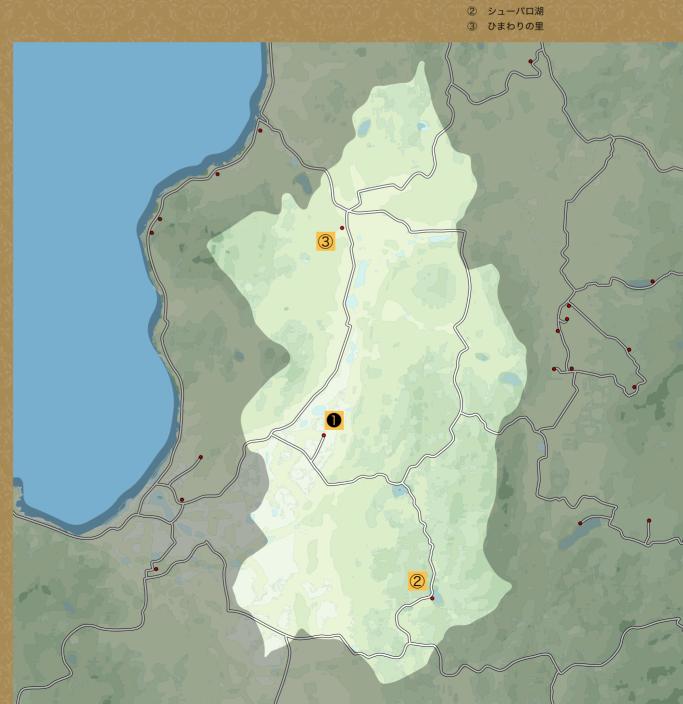
空知地方は美唄（びばい）に畑を構える農家。大規模農業という言葉を北海道ではよく耳にするが、ここ美唄でもそのスケールは本州では考えられないほど大きい。

『毎年の作業は一年生の気持ちで』という言葉は名言であり、他にも心に響く「生の声」をたくさん聞かせてくれる。中にはGPS耕起ナビゲーションなどハイテクな話も。

「大変だけど、いい野菜を作ればその向こうに美味いと言ってくれる人々の笑顔が見える」

「それを実感できてから、僕はこの仕事が嫌ではなくなった。いや、好きになった」という言葉は、全ての〝ものづくり〟に通ずるところがある。

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

上芦別公園

１回目／３回目以降マップ

P

２回目マップ

P

※PC版は１種のみ

広い畑と並び立つビニールハウス。周辺は穀倉地帯

反対側の入口があんなに遠く。北海道の農業規模は大きい

シューパロ湖

しゅーぱろこ

いずれ消え行く開拓史の遺産

語源はアイヌ語の「シ（大きい）」と「ユーパロ（鉱泉の湧く場所＝夕張）」であり、「夕張川本流」を意味する。

湖上には三弦橋と呼ばれるトラス橋を見ることができる。昭和30年代、大夕張ダムの建設、つまり人造湖であるシューパロ湖出現のため、旧下夕張森林鉄道夕張岳線の一部が水没することにより建設された。

しかし、そのたった数年後、森林鉄道自体が役目を終え、今の佇まいとなっている。

加えて、下流に建設中の夕張シューパロダムが完成すると、現在のシューパロ湖を飲み込むように巨大人造湖が出現、橋は完全に姿を消す。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

穂別キャンプ場

建設中の新ダム。このすぐ上流に現行の大夕張ダムがある

新たな巨大ダム湖は、貴重な三弦橋を現行ダムごと呑み込む

ひまわりの里

ひまわりのさと

隠

日本一のひまわり畑

　雨竜郡北竜町というドラゴン尽くしの場所にある『日本一のひまわり畑』を謳うひまわりの里。楽しむことができるのは7月中旬～8月中旬の約一か月だ。23㌶の広大な敷地に100万株を優に超えるヒマワリが咲き誇る景観は圧倒的。

　シーズンには本編にもあった迷路のほか、特産品などを扱う観光センターも営業、ひまわりまつりも開催されていてとても賑やかになる。

　入場料・駐車場ともに無料。開花状況は北竜町のポータルサイトで確認することができる。

　最寄のインターチェンジは、深川留萌自動車道の、その名も『北竜ひまわりIC』だ。

イベント			
なぎさ	小夜	泉	明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
幌加内湖公園

P

株のすぐそばまで近づいて観賞できる

こちらを向いた黄色の花弁が、辺り一体を埋め尽くす

出現条件
第四週にスポット近辺を走行するとアンロック

コラム
語り：椎名建矢 監督

北方見聞録 空知

DISCOVER HOKKAIDO

ほっぽうけんぶんろく　そらち

このエリアは……

　やはりなんといっても石炭じゃないでしょうか。夕張をはじめ南東部の街はほとんど石炭で栄えたところです。とはいえ石炭産業が崩壊してしまい、今では目も当てられない状態になってしまっていますが……これも運命でしょうか。歌志内や赤平の辺りをバイクで流すと栄えていた頃の炭鉱遺産が容易に目へ飛び込んできます。それとは対照的に人通りのまばらなメインストリート。産業に栄枯が翻弄される姿を見るのは少し複雑な気分です。

　南西側には札幌のベッドタウンが広がっていて雰囲気はよくある地方都市のような感じです。

　美唄から滝川までの国道12号は日本一長い直線道路（約29㌔）として有名です。ただし信号がかなり多いので、走ってもあまり気分が高揚する道ではありません。せっかくのスーパー直線道路ですが、お世辞にも快走路とは言えないですね。

リコメンドポイント

　シューパロ湖の三弦橋を間近で見られるのはこの夏（2013年8月末まで）がラストチャンスです。また三弦橋だけでなく、新しいダムを内側から眺めることもなかなかできない経験。まだ見に行っていない人はお早めに。なお、風雨来記3で探訪するルート（南側のシューパロトンネルを通るアプローチ）はもう塞がれています。

こぼれ話

　取材で知り合った美唄の農家さん（根っからのFOGファン）と、支笏湖へカヌーフィッシングしに行きました。釣り上げたアメマスはとても美味しかったです。淡水魚なのに臭くないのは支笏湖の水の綺麗さゆえですね。

　その節は突然の連絡にも関わらずお付き合い頂いてありがとうございました。

上川管内

北海道第二の都市旭川を中心とする。旧空知支庁から幌加内町が移管された。

南北に細長く、南は占冠（しむかっぷ）から北は中川まで実に200キロ以上。

寒暖の差が非常に激しく、特に冬季の冷え込みは占冠や朱鞠内（しゅまりない）が上位の常連である。

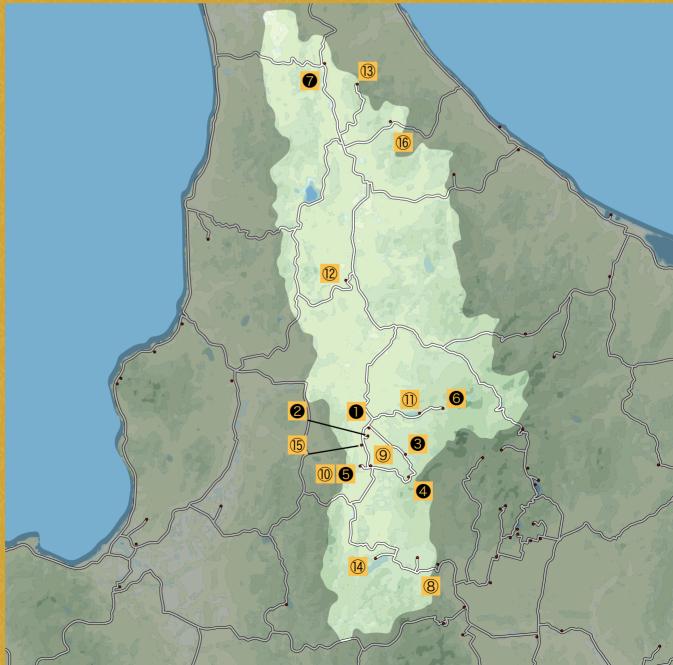
北海道最高峰旭岳を擁するのもここ上川。

振興局所在地：旭川市

❶ 美瑛
❷ 新栄の丘
❸ 青い池
❹ 吹上温泉
❺ 千望峠
❻ 旭岳
❼ 音威子府
⑧ 北落合
⑨ 日の出公園
⑩ 千望峠
⑪ 大雪旭岳源水
⑫ 三号線神社
⑬ 函岳
⑭ かなやま湖
⑮ ジェットコースターの路
⑯ 仁宇布

美瑛

びえい

北海道のヘソ、丘のまち美瑛

丘が多いことで知られ、北海道でも指折りの観光地。札幌、仙台に次ぐ北日本第三の人口を誇る旭川と、これまた著名な観光地である富良野との間に位置するのが美瑛町だ。

旭川から探索の拠点JR美瑛駅まで、富良野線で約30分。

駅から少し歩くと、ここが「丘のまち」であることがわかる。有名なものから名前すらついていないものまで、無数の丘が連なっている様は壮観。

セブンスターの木・マイルドセブンの丘は、たばこのCMなどで使用されたことから命名された。ゲーム上では同じスポットに含めたが、駅から数㌔あるので徒歩では少々辛い。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

美瑛自然の村キャンプ場

表通りは電線が廃され綺麗な街並となっている

無数の丘がある。自分だけのお気に入りの場所を見つけよう

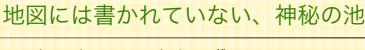
新栄の丘

しんえいのおか

丘のまち美瑛、その代表選手

美瑛に数ある丘の中でも有名なもののひとつで、正式名称は新栄の丘展望公園という。

遙かな山並みを背景に、麦畑やカラマツ林、季節によっては一面の花などが一望でき、360度全てが絵になるという素晴らしいロケーションだ。夕日が美しいことでも知られている。

丘陵地帯の魅力のひとつは、少し歩くだけで変化する景色。丘の立体感がもたらしてくれるその恩恵を、ここでも存分に感じることができるだろう。

アクセスは、美瑛の街からJR富良野線の西側を南下、もしくは国道237号美馬牛付近から十勝岳の方向へ。

トイレ、売店もあり、ゆっくりと休憩することができる。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

美瑛自然の村キャンプ場

ここは夕日の名所。夕焼けから日没、薄暮まで様々な顔を見せる

季節ごとの花や畑の作物など、絶えず景色は移ろっている

青い池

あおいいけ

地図には書かれていない、神秘の池

１９８８年の十勝岳噴火による泥流災害を防ぐため、美瑛川の各所に建設された、砂防ダムのひとつに水が溜まってできたのが「青い池」である。

とは言え、よくあるダム湖とは異なり、川の本流からは少し離れた左岸に偶然形成されたというのが面白い。人造湖に分類されるのだろうが、人為的につくられたものではないのだ。

青く見えるのは、このあたりの湧水に含まれる微粒子やミネラル、太陽光などの影響によるものらしい。立ち枯れたカラマツや白樺が水面に映り、幻想的な雰囲気に一役買っている。

ちなみに池ではなく水溜りとみなされているため、地形図には表記されていない。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

美瑛自然の村キャンプ場

岸には簡素な柵のみ。身を乗り出して落ちないように

日射しの強い日よりも曇天の方が、青が濃く見える

吹上温泉

ふきあげおんせん

テレビドラマにも登場した超有名温泉

ドラマ「北の国から」の劇中、登場人物が入浴したことで有名な、上富良野町の温泉。ドラマでは乳白色だったが、実際には無色透明。本編に登場する「吹上露天の湯」は混浴で無料。駐車スペースはあるが、更衣室などは整備されていない。

明治からの湯治場であるが、一度は廃れてしまった。復興のきっかけは、十勝岳噴火による野湯の湯温上昇とのこと。

近くには、宿泊施設と露天を含む複数の湯船を持つ、町営保養センター「白銀荘」がある。もちろん日帰りでの利用も可能だ。野湯は天候などのコンディションにより充分楽しめないこともある。そんな時はこちらを利用するのもよいだろう。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

美瑛自然の村キャンプ場

上段の湯船は熱めの湯加減だ

この向こう側はすぐに急斜面。森と沢を俯瞰できる

千望峠

せんぼうとうげ

かみふらの八景に選ばれた絶景スポット

上富良野の市街から西に数㌔、道道581号を登っていくと、途中に現れるのが千望峠駐車公園だ。

よく整備されたベンチや花壇などがさりげなくレイアウトされており、特に大掛かりな施設はない分、落ち着いて上富良野の町並みやのどかな田園風景、そして主峰十勝岳や美瑛岳、富良野岳などを擁する十勝連峰の勇姿を堪能することができる。

本編には残念ながら収録できなかったが、夜景も素晴らしい。町から車で約10分とアクセスもよいので、是非訪れて頂きたいおすすめスポットだ。

観光シーズンでもそれほど混み合うことはないだろう。駐車場は無料。

のどかな公園はツーリングの休憩にぴったり

広い麦畑の丘と上富良野の街並を同時に味わえる

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

美瑛自然の村キャンプ場

旭岳

あさひだけ

大雪山連峰の主峰にして北海道最高峰

北海道の屋根といわれる大雪山連峰の最高峰。標高は２２９１㍍であるが、緯度が高い分、本州の３０００㍍級と同様の植生を持ち、高山植物も多彩だ。

噴火口跡に形成された姿見の池など、火山ならではの景色を見ることができる。

ロープウェイで手軽に高山へたどり着くことができるが、一部雪原の中を歩くことになるので、それなりの装備で臨んでほしい。天候が急変すれば夏でも凍死者が出るという、ここは高山なのだ。

日本一早い紅葉でも知られ、９月中旬にはピークを迎えるというから驚きだ。

眼下に雲が広がる様は圧巻。低い気温も山の高さを物語る

綺麗な池の奥には噴煙。ここはまぎれもなく活火山なのだ

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

西神楽公園

音威子府

おといねっぷ

難読地名の代表格は、駅そばが美味い

上川管内でも中川町と並んで最北部、旭川と稚内のほぼ中間点にある音威子府村は、千人に満たない、北海道で一番人口の少ない自治体。

JR音威子府駅は宗谷本線と、廃線になった天北線（てんぽく）の元分岐点。運行本数は特急含めて一日10本を割り込んでいるものの、オホーツク側へのバスターミナルとして機能しており、交通の要衝であることに変わりはない。

本編にも登場する「最北の駅そば」は、黒い麺・黒いダシが特徴的。定休日があるので、訪れる際は事前にチェックしておこう。ちなみにこのそばは音威子府の特産で、駅構内以外でも周辺の何軒かで入手できる。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クッチャロ湖畔キャンプ場

駅の立ち食い蕎麦は早い安い美味いの三拍子。旅情をかき立てる

駅構内に資料室が。このような長大廃線が北海道には数多くある

北落合

きたおちあい

何もない場所だが、北海道を実感できる

富良野と十勝を結ぶ国道38号を、狩勝峠の西側にある落合近辺から北へ走ったところにある、北落合という場所。

本編にあるように、よさそうな道があったので走ってみたら偶然見つけた、自分だけが知っている場所。ここは観光地でもなんでもない。

広々とした畑の向こうに林。更に遠くは低く連なる山並み。北海道のどこにでもある風景だが、それだけに「北海道」を強く感じる場所でもある。

こういった場所もバランスよく散りばめられているのが風雨来記3の魅力。北海道を旅していれば、あなたにもそんな場所がきっと見つかるはずだ。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

かなやま湖畔キャンプ場

農道が縦横無尽に走る。まさに農業のためのエリアだ

北海道を走るならたまに脇道へ逸れてみよう。場所との出会いが

設備も充実した、ラベンダー鑑賞の穴場

日の出公園

ひのでこうえん

富良野といえばラベンダー。ラベンダー畑は近辺至るところにある。ここ日の出公園もそのひとつであるが、メジャー観光地とは趣きが異なり、地元の憩いの場、といった感じの場所。

駐車場から、小高い丘の上にある展望台を目指して遊歩道を歩くことになるが、ラベンダー以外の花も多く植えられていて、飽きることがない。

階段を登ると、一面のラベンダー畑が視界に飛び込んでくる。登り坂の疲れを一気に吹き飛ばしてくれる爽快な眺めだ。

上富良野駅から約1㌔東にあり、千望峠駐車公園とは線路や国道を挟んで向かい合うようなかたちだ。もちろんこちらも、かみふらの八景。

家族連れや幼稚園の遠足など、平日休日関係なく賑わいを見せる

丘の上から眺めるラベンダーは、まさに紫の絨毯だ

出現条件
他地点での駐車場ランダムイベントでアンロック

イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
美瑛自然の村キャンプ場

期間限定の隠しスポット、黄金の千望峠

千望峠

せんぼうとうげ

風雨来記3の旅、第四週に富良野近辺にいるようだったら、再び千望峠を訪れて欲しい。いや、全道どこからでも飛んでくるべきだ。ここは北海道のへそ、よほどルート選択を誤らない限り一日で到達可能だろう。

大麦の収穫は6月。春から短い夏へと季節がかわる頃、収穫を控えた大麦は緑から見事な黄金色へとその姿を変える。

ここ千望峠でも、取材も終盤に近づいた第四週の限定イベントとして、収穫間近の大麦畑、黄金の大海原を見ることができるのだ。

実はこの畑、サッポロビールの契約農園。きっと美味しいビールができることだろう。

緑だった麦畑が一面の金色に変わっている

風がそよぐと、揺れる穂をきらきらと光る波が駆け抜けていく

出現条件
第三週までに一度探訪した後、第四週に再度訪れる

イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
美瑛自然の村キャンプ場

大雪旭岳源水

だいせつあさひだけげんすい

北海道唯一。上水道のない町

旭川市の東側、大雪山麓の東川町。8000人近い人々が暮らしているが、この町には上水道がない。インフラが未整備なのではなく、大雪山発の地下水だけで、町全体の「上水」がまかなわれているのである。

大雪旭岳源水は、旭岳からの雪どけ水が長い時間地中を通り、初めて地上に姿を現す場所。毎分4600㍑という豊富な水量が湧き出ている。

駐車場そばが「大雪旭岳源水岩取水場」で、先にあるのが「源泉取水場」。年間を通して7℃という飲み頃のミネラルウォーターを味わえる。

また、町では味噌や酒など、おいしい水を生かした名産品にも力を入れている。

駐車場そばにある源水岩。利用時は志を募金箱へ投じよう

奥まで行くと、豊富に水が湧き出ている。心の癒される場所だ

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
西神楽公園

三号線神社

さんごうせんじんじゃ

麦畑の中に鎮座する、無名の神社

上川郡の剣淵（けんぶち）町。あたり一面に茂る麦畑、どこまでも続く緑の穏やかな海の中に、ポツンと盛りあがった小さな林を見つけた。真っ直ぐに伸びる道を歩いていくと、鳥居が見える。

三号線神社、近くを通る道路から名づけられたのであろう、その神社の名称も、簡素な小屋に掛けられた札を見て初めて知ることになる。地元の人には、「はなれ神社」と呼ばれ親しまれている。

周囲は麦畑の他、稲作も盛んなようだ。文字通り五穀豊穣を願って祀られたものであろう。

風雨来記3屈指の無名ポイントであることに、間違いない。

およそ日本とは思えない景色。まるでヨーロッパのようだ

畑の中にぽつんと建つ神社。斜面は意外と急勾配だ

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
幌加内湖公園

函岳

はこだけ

１００ｋｍ先の利尻富士を望める道北の名峰

国道40号を美深町から道道680号へと入り、しばらく進むと未舗装区間となる。これが歌登（うたのぼり）へと抜ける道北スーパー林道だ。加須美峠の丁字路を左へ、スーパー林道に別れを告げて函岳レーダー道路を進めば、突き当たりが函岳。

函岳は１１２９㍍と標高はさほどでもないが、非常に山深く、到達するには片道約30㌔ほどダートを走らねばならない。

山頂にある施設は、北海道開発局の雨雪量計測用レーダードーム。ドームの脇を抜ければすぐに視界が広がる。

山頂からは、運がよければ日本海に浮かぶ利尻富士も見えるそうなので、天気のよい日を選んで訪れるとよいだろう。

雲の近さが、山の頂を強く意識させる

オホーツクから日本海まで、ぐるりと見渡せる良好なパノラマ

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

朱鞠内湖畔キャンプ場

かなやま湖

かなやまこ

観光地として人気のダム湖

米国ＴＶＡを手本にしたともいわれる石狩川水系総合開発計画の一環で、空知川最上流部に建設された金山ダム。治水・利水を目的として261世帯の犠牲のもと１９６７年竣工した。これにより出現したダム湖が、かなやま湖だ。

人造湖とは思えないほど美しい湖で、魚種も多い。イトウやオショロコマなどの希少種も生息しているという。

細長い湖の中ほど北岸にオートキャンプ場や保養センターなどがあり、様々なかたちでの宿泊が可能。その他にも散策路や水遊びのエリアなど、周辺整備が行き届いており、富良野や美瑛という集客力のある観光地からも近いため、利用者は多い。

レクにうってつけのロケーションで家族連れも多い

自然湖と間違えそうなほどの澄んだ水と美しい景観

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

かなやま湖畔キャンプ場

ジェットコースターの路

じぇっとこーすたーのみち

広く知られた直線道路の名所

上富良野市街から美瑛方面へ北上した場所にある直線道路。今回登場する北海道の直線道路のなかでは、かなり著名なもので、『かみふらの八景』にも選ばれている。

国道237号を美馬牛の南から南西に向けて、西11線農道を1㌔ほど進んだところ。観光協会のサイトでも紹介されている。

現地に立てば、『ジェットコースター』という命名が大げさでないことがわかる。急坂とうねるように繰り返すアップダウン、そして数㌔に及びひたすらまっすぐに突き進む道。

一気に駆け下りれば爽快だろうが、交差する道路や一旦停止もあるので、スピードはくれぐれも控え目にしよう。

丘の上から市街地を遠くに見下ろす景色は絶品

道のすぐ先が見えないほどの急坂とアップダウンが連なる

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

美瑛自然の村キャンプ場

隠

仁宇布

にうぷ

トロッコでGO！

道北内陸部とオホーツクを結ぶ道道49号沿いの仁宇布は、かつて美深から枝幸をめざし建設が進められた旧国鉄美幸線の終着駅だったところ。

道内有数の人口希薄地域を貫くこの路線、枝幸への開通を待たず1985年に廃線となるまで、100円稼ぐのにその40倍の経費を要す『日本一の赤字線』として不名誉な名を馳せた。

現在は、使われなくなった線路などを利用して『トロッコ王国美深』が運営されている。

約5㌔に及ぶ線路上のコースを、原動機付き軌道自転車（トロッコ）で走ることができるのだ。4月～10月の間営業されている。自身で運転することもできるが普通自動車免許が必要。

開業後わずか20年で地図から消え去った

廃止から30年が経った今は、足ではなくレジャーとして賑わう

イベント

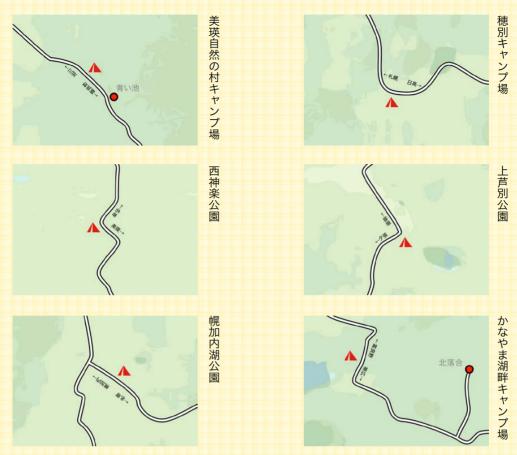
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

日ノ出岬キャンプ場

■キャンプ場情報 Vol.3

コラム
語り：椎名建矢 監督

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 上川

ほっぽうけんぶんろく　かみかわ

このエリアは……

旭川を擁する上川管内、今作では南部の美瑛～上富良野周辺に採用スポットが多くあります。ルートの設計上、旭川の市街はスルーしてしまいましたが、とても落ち着く街で住みやすそうです。

またここは南北への長さを実感する地域です。富良野からひたすら北上して、数時間後に名寄や美深、音威子府へ到着してもまだ同じ上川管内なのは少し不思議な感覚です。

リコメンドポイント

ベタですが美瑛は気持ちいい散策のできる場所です。辺りには無数の丘が広がっているので、景色が変化に富み飽きません。もちろんケンメリの木とかセブンスターの木とか、そういう有名なところを巡るのもよいのですが、風雨来記流の楽しみ方としては、誰も知らない自分だけの場所を発掘するのがオススメですね。

美瑛辺りを巡ったら、そこからほど近い大雪旭岳源水にも行くとよいでしょう。水が美味しいのはもちろん、手軽な森林浴＆散策コースとしても楽しめます。

北部へ目を向ければ、音威子府の黒蕎麦。風味が非常に薫り豊かでコシも強く、あっという間にどんぶり一杯完食しちゃいます。生麺を買えるのでお土産としてもいいかも。

同じく音威子府と美深の境にある函岳。ここはオフ車がとても輝く場所です。オン車だとちょっと厳しいかも。締まったダートなので走れないことはありませんが、30㌔にも及ぶので精神力がかなり削られます。

こぼれ話

旭岳へ登った時のこと。いくらロープウェイで上がれるとはいえ、周りは全員登山装備。ライディングの服装で散策する自分に向けられる奇異の目が辛かったです(笑)

留萌管内

るもい

旧留萌支庁から幌延（ほろのべ）町を除いた区域が管轄下である。その地域特性上、ほぼ全域が夕日の名所。
南部には和人地としての歴史がある。
かつてニシン漁や林業、石炭業で栄えたが全て衰退し、過疎化が進んでいる。

振興局所在地：留萌市

三毛別
さんけべつ

何度も小説や映画化された、三毛別羆事件

三毛別といえば羆事件があまりにも有名だ。

大正４年12月９日に初めての来襲があり２名が犠牲に。翌日、地元の男性達が討伐に向かうが装備も乏しく失敗、その夜通夜が営まれていたところを再び襲われ、あわせて７名が死亡、他に重傷者も出した。

立ち上がると３・５㍍、体重は380㌔とも言われている巨大な羆は、仕留めるまで５日を要したという。

現在この地に人は住んでおらず、事件の概要や当時の生活を伝える施設があるのみ。事件の悲惨さとは裏腹に、穏やかな時間が流れている。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

望洋台キャンプ場

こんな大きさの羆と出くわしたら死を覚悟するしかない

付近は無人。小平方面へつながるはずの道はここで途切れている

雄冬岬展望台
おふゆみさきてんぼうだい

拡張

荒々しい岩山から日本海を一望

雄冬の集落で、国道231号から山へと向かう唯一の道（雄冬岬展望台線）を登ったところにある展望台。

荒々しい岩石の中に敷かれた少しスリルのある金属製の遊歩道を進めば、ガラス張りの立派な展望台に到着だ。

展望台からは、透明度の高い海をはじめ雄冬の集落や雄冬岬を望むことができる。

留萌と石狩にまたがる雄冬は、国道の通年供用が１９９２年という土地。手軽に訪れられる今に感謝しよう。

ここから眺める日本海に沈む夕日は絶品。夏季は20時まで開放されている。ふもとにある『雄冬岬岩石公園』もあわせて見ておきたい。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

望洋台キャンプ場

雄冬の集落はわずかなエリアに寄り添っている

下手な遊園地のアトラクションより怖いかもしれない

増毛

ましけ

歴史を感じさせる街並

増毛は非常に歴史が古く、かつては支庁も置かれこの地方の中心地だった。

深川から留萌を経てここへと延びるJR留萌本線の終着駅、増毛駅周辺には、重文に指定されている旧本間家をはじめ史跡が多く、その歴史的建造群は北海道遺産に第一回で選定されているほどだ。

本間家発祥の國稀酒造は日本最北の造り酒屋。高倉健主演映画のロケ地にもなっている。

古くはニシン漁で栄え、現在でも水産物が豊富。ボタンエビの水揚げ高は全国首位。揚げかまぼこも是非味わっておきたい。

数年前閉校となった道立増毛高校は、金メダリストも輩出したレスリングの古豪。

暑寒別岳からの恵みは、美味い名水となって増毛に湧く

このような北の地で酒が醸されていることに驚きを禁じ得ない

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

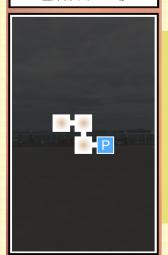
望洋台キャンプ場

千望台

せんぼうだい

眼下に広がる〝絵になる〟景色

留萌の港あたりから、オロロンラインを山側に、住宅地の急坂を登る。標高180㍍の展望台は街からほど近く、市民の憩いの場にもなっている。

施設内に建てられている像は、留萌築港の父、五十嵐億太郎氏のものだ。

アンテナが少々目に入るが、留萌川沿いに広がる市街地、そして日本海を見下ろすロケーションは抜群。天気によっては天売や焼尻島、さらにはかすかに利尻島まで視界に入るそうだ。場所柄、夜景も絶品。

無料駐車場横のログハウスにはトイレや売店もあり、食事も可能。地元食材を使ったメニューが評判だが、冬期は休業する。

ベンチが多く設けられ、ちょっとした公園のようになっている

高台から留萌の港や市街地を一望できる

出現条件
明里と出会いを重ねている状態で19日目を迎えるとアンロック

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

望洋台キャンプ場

■キャンプ場情報 Vol.4

朱鞠内湖畔キャンプ場

クッチャロ湖畔キャンプ場

望洋台キャンプ場

日ノ出岬キャンプ場

興部

稚内森林公園

白滝高原キャンプ場

コラム
語り：椎名建矢 監督

北方見聞 留萌

DISCOVER HOKKAIDO

ほっぽうけんぶんろく　るもい

このエリアは……

留萌管内の内陸は山がちなので、市街地も道も、大半が海岸部に集中しています。そんな海岸はほとんどが西の方向を向いているので、必然的に海沿いの道路全てが夕日の名所となります。特定のスポットへ留まることなく、走り抜けながら夕日を堪能することができるこの地域の特色はライダーにうってつけじゃないでしょうか。

南部の増毛には日本最北の造り酒屋があります。増毛の街自体が歴史あるところで、水産物も豊富です。水揚げされたばかりの海の幸を肴にちょいと一杯、なんてのもいいかも知れません。……まあ……バイクに乗るなら当然呑めないんですけどね……

また萌え系路線で一部界隈にカルト的人気を誇るバス会社、沿岸バスが走るのもこの地域です。

リコメンドポイント

三毛別の現場は、一度だけでも見ておいた方がいいと思います。あんなに有名な、あんなに悲惨な羆事件が起きた場所なのに、いざ行ってみれば穏やかな時間の流れる場所……このギャップに最初は戸惑うかもしれません。

その他にも、通ってほしい〝道〟があります。苫前から幌加内町添牛内（そえうしない）まで管内中部を横断する霧立国道。ここは取材直前に大規模な地滑りを起こし、通行不能になった道です。不眠不休の復旧作業を終え、取材期間中に無事供用再開となった真新しいアスファルトが眩しい。脇見ポイントでモノローグが入るので、ただ走り抜けるだけでなく是非脇見もしてみてください。

同じく道路つながりで……白銀の滝でも紹介しましたが、石狩との境を通る道は、ほんの30年ほど前にようやく開通した難所。留萌管内から南へ向かう際はこの道を走ってみてはいかがでしょう。

宗谷管内

日本最北の地として名を馳せる宗谷管内。旧留萌支庁から幌延町が移管され極北一帯を管轄する。

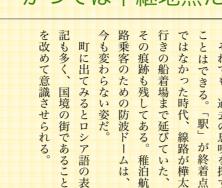
主産業である沿岸漁業のほか、日本海側では意外にも酪農がとても盛ん。

振興局所在地：稚内市

❶　稚内
❷　野寒布岬
❸　宗谷丘陵
❹　宗谷岬
⑤　音類
⑥　オロロンライン
⑦　エサヌカ
⑧　ウスタイベ千畳岩
⑨　カムイト沼

稚内

わっかない

かつては中継地点だった、最果ての街

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

稚内森林公園キャンプ場

初代風雨来記からずいぶん変貌を遂げた稚内駅。新駅舎及び駅再開発ビルは２０１２年春、つまり今回の取材直前に完成した。道の駅とバスターミナルも併せ持つ、稚内の表玄関だ。

旧世代の建物、特に駅舎に関しては郷愁を強く感じてしまうが、これも時代の流れか。

それでも、過去の息吹を探すことはできる。「駅」が終着点ではなかった時代、線路が樺太行きの船着場まで延びていた、その痕跡も残してある。稚泊航路乗客のための防波ドームは、今も変わらない姿だ。

町に出てみるとロシア語の表記も多く、国境の街であることを改めて意識させられる。

駅から埠頭の方へ延びる、線路を模したタイル

防波ドームは外側から見ても内側から見ても美しい

市内にはキリル文字がたくさん

旅愁溢れるかつての最北端線路碑。２００９年１月撮影

現役線路の終端にあった旧碑とは違い、モニュメント化されている

野寒布岬

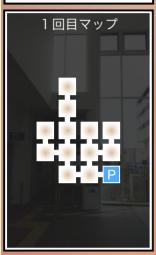
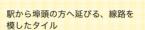
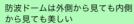
のしゃっぷみさき

根室が「のさっぷ」ここは「のしゃっぷ」

　最東端である納沙布岬とたびたび混同され、さらに北端としての知名度では宗谷岬の後塵を拝してしまっている不運の岬がここ野寒布だ。
　赤と白が鮮やかな大灯台は、出雲日御碕（ひのみさき）灯台に次ぐ日本で二番目の高さを誇る。本編では紹介できなかったが、夕日が素晴らしいことでも知られる。
　二度目のスポット入りで巡れる南極越冬隊資料展示コーナー。その外観からは想像できないほど充実した資料や展示品が、ぎっしり詰まっている。ローテク時代に過酷な環境を乗り切った記録は必見だ。
　その他、周辺には青年貨科学館や水族館、土産物店などが立ち並んでいる。

イベント

駐車場イベント

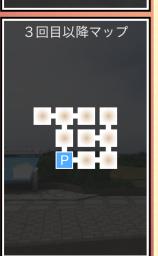
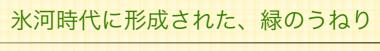
あり

対応キャンプ地

稚内森林公園キャンプ場

まっすぐな水平線に太陽が没していく様を見ることのできる場所

広場は綺麗に整備されている

赤と白のストライプが大きな存在感を放つ

灯台そばにある南極越冬隊の資料館。外見は簡素だ

内部には貴重な資料や、厳寒との闘いに挑んだ先人の記録が

宗谷丘陵

そうやきゅうりょう

氷河時代に形成された、緑のうねり

宗谷岬の南方に広がる、なだらかな丘陵地帯。周氷河地形といわれ、深い谷のないやわらかな曲線が続く。

ホタテの貝殻を敷きつめた白い道、そして空と緑のコントラストが実に美しい。度重なる大火による消失や、年間通して吹く強風に成長を妨げられ、樹木があまり見られないのもユニークな景観の一因。

現在ではその風を利用して、57基の風車が立ち並ぶ国内最大級の風力発電施設、宗谷岬ウィンドファームが稼動している。道北の風力発電は有望なエネルギー供給源であるらしいが、送電網がまだ脆弱なため、発電機の大幅な増設ができないでいるという。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

稚内森林公園キャンプ場

一面に敷き詰められたホタテの貝殻

林立した風車。たくさんの羽根が回転する様は感歎の息が出る

宗谷岬

そうやみさき

樺太まで４３ｋｍ、最北端の岬

誰もが知る最北端の地。「日本最北端の地」と書かれた石碑が建てられ、多くの観光客が訪れるメジャースポットだ。

日本最北端とは、現実的に我々が訪れることのできる地で最も北、という意味なのだろう。ちなみにこの岬より北に弁天島という岩礁があるし、択捉島の北端はここより緯度が高い。

岬周辺は古くからの集落。民家や商店が立ち並び、最果ての岬というイメージはない。民宿も数多く、岬の東側にある宗谷漁港で水揚げされたタコなど新鮮な海の幸が楽しめる。

本編にもあるが、岬近くのガソリンスタンドで給油し「最北端給油証明書」をもらって帰るのもよいだろう。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

稚内森林公園キャンプ場

望楼など旧軍の遺構も多い。気象条件がよければ樺太が見える

日本最北端の地。訪れる人は後を絶えない

音類

おとんるい

原野に立ち並ぶハイテク風車の異景

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
稚内森林公園キャンプ場

ここは利尻礼文サロベツ国定公園の一部。原野駐車公園を拠点に散策してみよう。

海岸にかけては原生の花園が広がる。自然保護用のトレイルを進むと、緑の中にハマナスの花、そして日本海を挟んで利尻富士の勇姿。

しかし乾燥化で植生は減少傾向にあり、施設としての「サロベツ原生花園」は既に西側の別の場所に移転している。

内陸側に目を移してみると、オトンルイ風力発電所が目に飛び込んでくる。全国3位の発電能力を持つ宗谷岬ウィンドファームには及ばないものの、28基の風車が一直線に並ぶさまは壮観。見通しがよいので遠くからでもよくわかる。

北緯45度のモニュメント。Nの角度も45度。奥にはうっすら利尻富士が

一直線の風車は目立つので視認から到着まで意外と時間がかかる

オロロンライン

おろろんらいん

うねる道は、写真撮影の名所でもある〝聖地〟

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
稚内森林公園キャンプ場

石狩から日本海沿いを北上し稚内まで。いくつかの国道や道道を総称してそう呼ぶのが広義のオロロンライン。しかしライダーにとってのオロロンラインとは、道道106号稚内天塩（てしお）線を指すことが多く、特に稚内市南端部のこの近辺は、多くのライダーが訪れ、写真を撮影するスポットだ。

原野を貫き、わずかなカーブを挟んで、真っ直ぐに、アップダウンを繰り返しながら伸びて行く道路。アスファルトの舗装面以外、人工物はほとんど見当たらない。

海側に見える利尻富士を脇役に据えこの道路を疾走するのは、ライダーにとって最高の瞬間であろう。

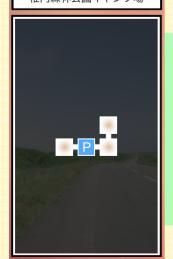
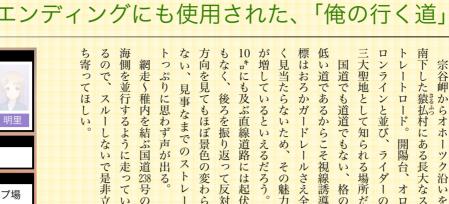
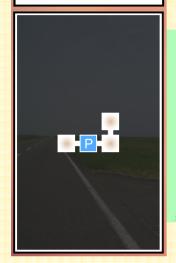
付近にはハマナスがぽつぽつと自生している

何もない大地をただひたすら突っ切る道。思うまま走り抜けよう

エサヌカ

えさぬか

エンディングにも使用された、「俺の行く道」

宗谷岬からオホーツク沿いを南下した猿払（さるふつ）村にある長大なストレートロード。開陽台、オロロンラインと並び、ライダーの三大聖地として知られる場所だ。

　国道でも道道でもない、格の低い道であるからこそ視線誘導標はおろかガードレールさえ全く見当たらないため、その魅力が増しているといえるだろう。10㌔にも及ぶ直線道路には起伏もなく、後ろを振り返って反対方向を見てもほぼ景色の変わらない、見事なまでのストレートっぷりに思わず声が出る。

　網走～稚内を結ぶ国道238号の海側を並行するように走っているので、スルーしないで是非立ち寄ってほしい。

付近は牧草地。ラップサイロがたくさん転がっている

邪魔するもののない一直線。エンジンが悦びの咆哮を上げる

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クッチャロ湖畔キャンプ場

ウスタイベ千畳岩

うすたいべせんじょういわ

奇岩で有名なウスタイベ岬は流氷の名所

枝幸の町からすぐ北にある、ウスタイベ岬。畳を重ねて敷きつめたような安山岩が並ぶ様子を間近に見ることができる。それほど険しくはないので磯あそびも可能だろう。

　北オホーツク道立自然公園に指定されており、冬には千畳岩に迫る流氷も見学できる。

　本編では使用しないが無料のキャンプ場も併設されている。素晴らしい景色に加え、車が自由に出入りでき、トイレや炊事棟などの施設も整っているので、シーズンは利用者が多い。

　枝幸は水揚げ量日本一を誇る毛ガニの町。7月にはこのキャンプ場でかにまつりが開催されているので、チェックしてみてもよいだろう。

薄い岩が積まれたのではなく、一枚の岩盤が浸食されてできた

入り組んだ磯は様々な魚や鳥の宝庫だ

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クッチャロ湖畔キャンプ場

その名に相応しい神秘の沼

カムイト沼

かむいとぬま

猿払と浅茅野を結ぶ道路からすぐ。周囲2㌔ほど、原生林の中静かに佇む小さな沼だ。

神々の住まう沼。水の神、森の神、風の神。誇張ではなく、肌でそれを感じることのできる神秘の沼だ。高台からの眺望はもちろん、湖畔に降りて木道を散策することも可能。

国道238号から一本はずれただけ、直線距離で数百㍍しか離れていないが、訪れる人はほぼいない。秘沼は北海道に数あれど、間違いなくここはトップクラスの意外性を持つ。アクセスも非常に容易なので、オホーツクラインを走るなら必ず立ち寄りたい場所だ。

時間が合えば夕日を眺めるのも良いだろう。

植生はまさに湿地帯の典型例だ

ほとりへ降りて散策するもよし高台の木々の間から眺めるのもよい

出現条件

シュンクシタカラ湖を含め、神仙沼、シューパロ湖、神の子池、ポロト、湧洞湖、キンムトーのうち5箇所を訪れるとアンロック

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クッチャロ湖畔キャンプ場

コラム

語り：椎名建矢 監督

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 宗谷

ほっぽうけんぶんろく　そうや

このエリアは……

なんといっても最北。あらゆるものが最北と銘打たれています。最北の岬、最北の駅、最北のGS、最北の旅館。やっぱりそういう識別子があるとわかりやすいですよね。

音類含むオロロンラインとエサヌカ、ライダーの三大聖地といわれるもののうち二つがこの宗谷管内にあるのも見逃せないところ。

宗谷管内は、走っていて〝最果て〟をしみじみ感じられる地域です。オロロンラインとオホーツクライン、どちらの道を北上してきても、あぁついにここまで走ってきたぞ、と達成感が徐々にこみ上げてくるんですね。どちらかというとオロロンラインの方が話題になりやすいですが、オホーツクラインの東浦漁港から宗谷岬へかけての辺りも、とてもいい雰囲気の道ですよ。

ただ、スポット紹介文の中でも言及してありますが、宗谷岬はあまり最果てという感想を抱く場所ではなく、岬だけでいえば納沙布の方がその感覚は強いです。

リコメンドポイント

野寒布岬の南極越冬隊資料展示コーナーは、野寒布岬を何回も訪れたことのある人でも知らないことがある穴場中の穴場です。なのに中にはとても貴重な資料が並べられていて、そのあまりの着飾らなさに職人気質のようなものを感じます。

こぼれ話

稚内は時の移り変わりを強く実感する場所になりました。駅舎の建て替えやバスセンターの移動で駅前は様変わりしましたし、宗谷バスは東急傘下から離脱してしまいました（以前宗谷バスは、最北の地にいながらにして首都圏でおなじみの東急ロゴが見られるというギャップを楽しめたのです）。これも仕方ないことなのでしょうか。とはいえ防波ドームは健在。

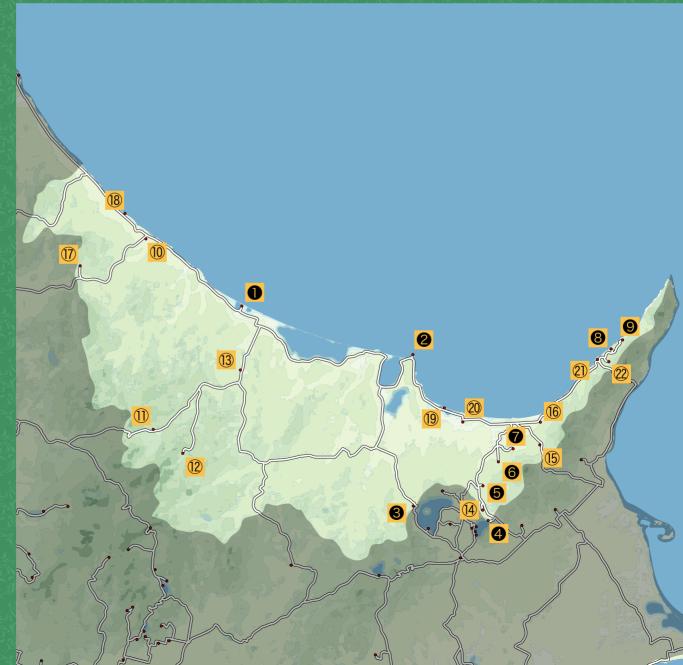
網走管内

便宜上網走管内としているが正式にはオホーツク総合振興局という。世界遺産であり一大観光地となった知床の表玄関を抱え、流氷の地としても知られる。東西に長いため、紋別以西は上川や宗谷との結びつきが強い。

振興局所在地：網走市

❶ コムケ
❷ 能取岬
❸ 美幌峠
❹ 裏摩周展望台
❺ さくらの滝
❻ きよさとストレート
❼ 来運湧水
❽ 知床五湖
❾ カムイワッカ
⑩ 興部
⑪ 上白滝
⑫ 山彦の滝
⑬ 瞰望岩
⑭ 神の子池
⑮ 越川橋梁
⑯ 名も無き展望台
⑰ 興部川瀑布
⑱ 日ノ出岬
⑲ 浜小清水
⑳ じゃがいも街道直売所
㉑ フレペの滝
㉒ 岩尾別温泉

コムケ

こむけ

ファミリーも楽しめる大きなキャンプ場

初代風雨来記でもお馴染み。初代と「3」で共通するスポットは意外なほど少ないが、ここは両作でのヒロインルートに登場する稀有な場所だ。

　コムケ湖はサロマ湖と同じく砂州により海と隔てられたもの。三つの湖が数珠繋ぎになったような形状で、一番大きな湖の東側湖畔に、コムケ国際キャンプ場が開設されている。

　テントサイトが500という、国際の名に相応しい大規模なキャンプ場。南側サイトにあるカシワの木がここのシンボルだ。

　オホーツク海にもほど近く、夜には波音も聞こえてきそう。流木の多い海岸なので、薪の入手には苦労しない。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

コムケ国際キャンプ場

海岸近くには浜の花が原生している。散歩コースになる

フラットなテントサイトの周りを木々が取り囲む

能取岬

のとろみさき

古い灯台の建つ、網走近郊の美しい岬

緑の草原と青い空、そしてオホーツク。北の海では珍しく、透明度の高さが印象的だ。

　大仰な看板などがなく、観光地としての自己主張は強くないが、晴れた日には遠く知床連山を眺めることもできるそうだ。

　奥にはオホーツク沿岸漁業を記念した「オホーツクの塔」という像が建てられている。

　網走市街から道道76号を海岸沿いに北へ。冬は流氷見物の名所となる。

　本編で言及の〝人懐っこい〟キツネは、どうやらここに住み着いてしまっているようだ。もうこうなってしまったらどうすればよいのか。いずれにせよ悲しい光景である。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クリオネキャンプ場

奥まで歩くとオホーツクの塔。裏へ廻ると海がよく見える

映画のロケ地としてもたびたび使われている

美幌峠

びほろとうげ

屈斜路湖を見下ろす大パノラマ

屈斜路湖は日本最大のカルデラ湖である。藻琴山などで形成された外輪山の中に湖があるわけだが、国道243号パイロット国道を湖畔から北西の北見方面へ向かう際、外輪山の稜線にあるのが、美幌峠だ。

屈斜路湖を見渡す絶好のビューポイントであり、道の駅などの施設が完備され、多くの観光客が訪れる。湖もこの峠も、阿寒国立公園のエリア内だ。

周辺は熊笹が群生しており、高い木がないため見通しがよい。売店では茶や饅頭など熊笹を利用した製品が目立つが、その中でも「熊笹ソフト」は監督曰く、抹茶に近い味がして美味しいとのこと。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

蒼い湖面と山越えを目指すパイロット国道を眺められる

小石が積み上げられた展望所からは和琴半島も見える

裏摩周展望台

うらましゅうてんぼうだい

霧に強い？　摩周湖展望台の穴場

神秘の湖「摩周湖」を楽しむ展望台はいくつかある。摩周湖は西側が表、東側が裏とされていて、清里峠からアプローチするこちら側が、裏摩周展望台。

第一・第三展望台より標高が低く、"表"からは霧で湖が見えない時でも、こちらに回れば見られることがあるそうだ。

その特徴的なむき出しの岩肌はこちらからは見えないものの、湖にせり出した摩周岳（カムイヌプリ）を、間近に見ることができる。

アクセスが悪いため、観光バスはまず来ない。シーズン中でも静かに摩周湖を楽しみたい方におすすめ。神の子池からすぐなので、併せて予定をたててみるとよいだろう。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

ピクニックに使えそうな広場。眺望もなかなかだ

夏場は茂る木々に視界が遮られることも。春や秋がおすすめ

さくらの滝

さくらのたき

思わず応援したくなるサクラマスの滝越え

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

高さ5㍍に満たない小規模な滝を有名にしたのは、遡上したサクラマスがこの滝を越えるため必死にジャンプする姿だ。

この滝の名称もこれに由来し、10年ほど前に清里町観光協会の公募により命名された。

サクラマスはサケ科の魚で、海で育ち川を遡上して産卵する。陸封されたものはヤマメ（北海道ではヤマベ）と呼ばれるが、降海型のサクラマスのほうがはるかに大きく、70㌢に及ぶこともあるらしい。

サクラマスの滝越えが見られるのは6月上旬〜8月上旬。終盤に近づくにつれ、桜色に変わる魚体も見ものだ。釣りは通年禁止されている。羆にも充分注意を払おう。

滝としては小規模だが、川幅広く流れる水量は豊富

飛び跳ねて必死に遡上するサクラマス。思わず拳に力がこもる

きよさとストレート

きよさとすとれーと

交通量皆無の、どこまでも真っ直ぐな道

駐車場イベント

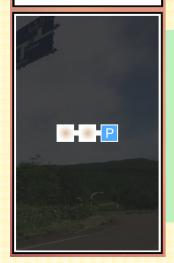
なし

対応キャンプ地

クリオネキャンプ場

知床半島の付け根にある斜(しゃ)里(り)郡清里町。街の周囲には広大な農地が広がり、無数の直線道路が縦横に走るが、その中でも突出したスケールを誇るのが、エンディングにも使用されているここ「きよさとストレート」

清里町の中心部にある五叉路から道道857号を南へと約7㌔。突き当たりで振り返ると……

麦畑と防風林をつき抜け、オホーツクの海へ向かって真っ直ぐに下っていく道路。直線道路の名所は北海道に数あれど、丘から見下ろすこの高さとスケールは他に類を見ないものだ。

この先は江鳶(えんび)山への登山口があるだけで、地元の農家の方以外の姿は見えない。是非この感動をじっくり味わって欲しい。

まるで海まで続くようなジェットコースターロード

ここからバイクで駆け下りる爽快さは特筆すべき快感

来運湧水

らいうんゆうすい

運もやって来る、斜里岳山麓のおいしい水

清里五叉路（ゲーム上は四叉路）から西へ、斜里町来運地区に湧く名水。いずみの森来運公園内に水汲み場が設置されていて、神社も隣接している。

ここは標高1545㍍の斜里岳の登山口にもほど近い場所。積もった雪が数十年かけて湧き出ているとも言われている。

水温は年間通して7℃、毎分5000㍑。大雪旭岳源水と同規模の豊富な水量だ。

読んで字のごとく「運を呼び込む水」と重宝されるが、来運とは明治32年に開墾された時に付けられたこの地区の名称であり、いわゆる「後付け」ではないのでありがたみも増す。もちろん無料。持ち帰り用の容器を持参するとよいだろう。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クリオネキャンプ場

夏でもキンキンに冷えた水は一瞬でコップから溢れる

この透明度。光の反射がなければそこに水があるとわからないほど

知床五湖

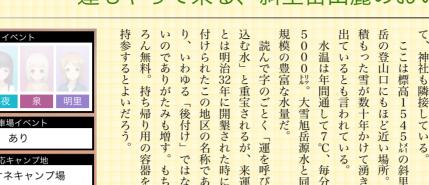
しれとこごこ

世界遺産の秘境は、クマ出没地域

歌にもなり誰もが知る知床だったが、以前はその知名度とは裏腹にアクセスが悪く、訪れる人は少なかった。

昭和後期に営林署の主導でこの地に遊歩道などが整備され、知床観光の目玉となったのだ。

一湖から五湖まで、約90分に及ぶ散策を楽しめるのだが、一帯は羆の出没地域。そのため様々な制限が設けられた。

一湖には、クマ対策の電気柵が張り巡らされた高架木道や展望台を整備、単独で散策可能だ。

二湖〜五湖にの遊歩道には、5〜7月はガイド同行のツアーでのみ入ることができる。

レストハウスの「はまなすこけももソフト」も忘れずに。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

羅臼温泉野営場

熊笹の海の上を木道が通る。気軽な散策コースだ

知床連山に抱かれたふもと、草地と森の境目に一湖がある

カムイワッカ

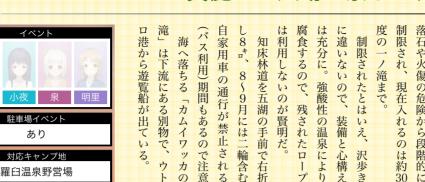
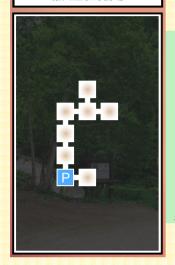
かむいわっか

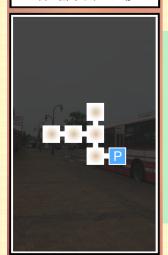
真髄への入場が禁じられた神の水

カムイワッカ湯の滝は、硫黄山から湧く温泉が流入したカムイワッカ川に連続する滝。上流ほど湯温が高いが、世界遺産登録以降爆発的に観光客が増え、落石や火傷の危険から段階的に制限され、現在入れるのは約30度の一ノ滝まで。

制限されたとはいえ、沢歩きに違いないので、装備と心構えは充分に。強酸性の温泉により腐食するので、残されたロープは利用しないのが賢明だ。

知床林道を五湖の手前で右折し8㌔、8～9月には二輪含む自家用車の通行が禁止される(バス利用)期間もあるので注意。

海へ落ちる「カムイワッカの滝」は下流にある別物で、ウトロ港から遊覧船が出ている。

流れるのは強烈な硫黄泉。足に外傷があるときは相当しみる

析出した硫黄が川肌を黄色く染める。まさに神の水だ

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

羅臼温泉野営場

興部

おこっぺ

鉄道の栄枯盛衰を肌で感じる

網走管内北端、酪農・林業・漁業が盛んな海沿いの町だ。とても面白い読み方が印象的。

手元にある1977年発行の古い地図帳を見ると、ここ興部からオホーツク沿岸を北西に雄武(おうむ)までが興浜(こうひん)南線、その50㌔先の枝幸から浜頓別(はまとんべつ)までが興浜北線。雄武～枝幸間は「国鉄予定線」と記されている。

しかし両線はつながることなく1985年いち早く廃線、接続していた名寄(なよろ)本線・天北線ももうない。

今はバスターミナルとして機能している興部の道の駅。鉄道があった古きよき日の資料が展示されている。屋外にある客車はライダー御用達の簡易宿泊所だ。

道の駅兼バスターミナルには往時の資料が飾られている

保存・展示されているかつてこの地を駆けたＤ５１の動輪

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

日ノ出岬キャンプ場

上白滝

かみしらたき

隣駅まで一時間？　列車が一日一本の駅

石北本線の駅で、停車する列車が上下各一本だけということで有名になった上白滝駅。北海道最古という木造駅舎も見所。

西隣の上川駅から旭川行、東隣の白滝駅からは遠軽（えんがる）行、とそれぞれ反対方向の始発が運行されているため、その間に位置する上白滝はこのような事態に。もちろん特急や快速は全て通過。

ちなみに隣駅といっても上川までの所要時間68分は一駅としては日本最長。営業キロで34㌔、運賃は大人片道710円。この区間、奥白滝・上越（かみこし）・中越（なかこし）・天幕が既に廃駅となっている。

合気道ゆかりの地とは、合気道の創始者、植芝盛平が開拓団隊長として白滝に移住し、8年間を過ごしたことによる。

イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
白滝高原キャンプ場

上下各一本しかない衝撃の時刻表

たまに列車が通過していく以外は静かな時間が流れる

山彦の滝

やまびこのたき

原始の森に祀られる裏見の滝

国道333号を丸瀬布（まるせっぷ）から道道1070号へ10数㌔ほど山に入っていく。

高さ28㍍の瀑布は、裏側から眺めることができ「裏見の滝」として知られ、真東を向いている珍しい滝、ということから不動尊が祀られている。

200㍍ほど奥にある「鹿鳴の滝」へ続く道も、苔むす原始の森を存分に味わえるので、是非足を伸ばしてみては。

冬季は、車が通行止めとなるため2㌔手前からスノーシューなど雪装備での徒歩となるが、凍結し一本の柱となった滝の姿は一見の価値がある。

周辺には郷土資料館や昆虫生態館、日帰り入浴可能な丸瀬布温泉など観光資源も豊富。

イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
白滝高原キャンプ場

滝壺の奥に祀られている。かなり天井は低い

飛散する水しぶきで周辺の岩は苔むしている

出現条件（PC）	出現条件（Vita）
白銀の滝、賀老高原、キムンドの滝を訪れるとアンロック	賀老高原、キムンドの滝、さくらの滝、白銀の滝、興部川瀑布のうち四箇所を訪れる

街のどこからでも見える遠軽のシンボル

瞰望岩

がんぼういわ

アイヌ語で〝よい眺望〟を意味するインカルシ。遠軽の語源となった岩は、旭川と網走を結ぶ石北本線、特急オホーツクが停車する遠軽駅のそばにある。

地上80㍍近く突出した、火山活動でできた奇岩の頂上には簡単な展望所が設けられているものの、安全柵がない。間近に見る遠軽の街並は絶景だが、足元には充分注意を。

昔アイヌ同士の争いが起こり、この岩を砦とした部族が、下を流れる湧別川の氾濫により勝利したとの伝説も残っている。

周辺では旧石器時代や縄文時代の石器・土器などが出土。北海道の自然百選の他、国指定名勝「ピリカノカ」の構成資産として指定されている。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

コムケ国際キャンプ場

遠軽の街並をダイナミックに望める位置にある

この一歩先はもう断崖。思わず腰が引けてしまう

摩周湖と地下でつながる池

神の子池

かみのこいけ

摩周湖から北へ数㌔、神の湖の伏流水による池といわれることから神の子池と呼ばれる。

摩周湖には流出流入とも河川が全くない。なのに雪解けの季節でも水位が変わらないのは、湖周辺に伏流水を湧き出させているからだ。

周囲220㍍水深5㍍の小さな池だが青く澄んだ水が印象的。春から秋はコバルトブルー、冬はスノーシューで片道1時間歩けば、深い藍色の神の子池を見ることができる。

清里の街から道道1115号摩周湖斜里線を中標津（なかしべつ）方面へ、神の子池を示す看板がある林道入口からは2㌔ほど。近年は観光客が激増し、駐車場と簡易トイレが設置されている。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

澄んだ水面は穏やかだが、その下では膨大な水量が湧いている

神秘的な色を呈するが、それは昔に比べ薄くなってきている

越川橋梁

こしかわきょうりょう

一度も使われなかった鉄道橋

根北（こんぽく）線は、斜里から標津まで知床半島の付け根を横切るように計画され、戦前に軍部の主導で工事を開始。根北峠を挟んだ山間部の工事は困難を極め、過酷な労働により多くの命が失われた。

戦後、完成していた橋梁手前の越川まで斜里から列車が通ったものの、13年後の1970年廃止。越川橋梁は一度も使われないまま、根北線は廃線となる。

正式名称は第一幾品川橋梁、人里離れた山間部に建設された全長147㍍の10連コンクリートアーチ橋は、国道244号拡幅のため2脚が撤去されている。

国の登録有形文化財だが、特に補修工事は行われていない。国道そばでアクセスは容易だ。

森を突っ切る橋の遺構。この侘び寂びは経年を感じさせる

長年の風雪で傷みが進む橋脚。不用意に近づかないよう

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クリオネキャンプ場

名も無き展望台

なもなきてんぼうだい

この素晴らしい場所を独り占め

斜里町を東西に約20㌔横断する直線道路。市街から東へ国道334号を走り、国道が左にそれてもひたすら直進すればよい。

振り返れば、地の果てまで続くかのような直線道路。名前のつけられていない小さな展望台があり、一面の緑とともに、斜里の街並みやオホーツク海など、素晴らしい眺望が楽しめる。

北海道にはこのような、無名ではあるが素晴らしいスポットが無数にある。もちろん、他の観光客もいないので、静かにその景色を独り占めにできる。先を急がず、自由にゆったりと走っていれば自分だけのスポットがきっと見つかるだろう。

なお、穴場を見つけたらフォグまでそっと連絡してほしい。

ぽつんと建つ、木造の簡素な展望台。名前はない

斜里を象徴する直線道路やオホーツク海が眼下に広がる

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

クリオネキャンプ場

興部川瀑布

おこっぺがわばくふ

個性ある滝の豪華三点盛り

興部から興部川沿いに国道239号を登る。天北峠手前の西興部村字奥興部にある瀑布群だ。

国道沿いに立つ『行者の滝』の看板を目印にして、ダートをしばらく走れば到着。手前側から、行者・赤岩・黒岩と三つの滝が連なるが、それぞれは数キロほど離れている。

行者の滝は難病治癒を女性行者が祈願したという滝。赤岩の滝は火山活動の成分により川床が赤く、黒岩の滝は西洋の古城のような佇まい。

それぞれ個性のある三つの滝、流れは澄みきっており、遊歩道も自然があふれ野性味満点だ。奥興部にはここ以外にも『幻の滝』というのがあるそうだ。探してみてはどうだろう。

赤岩の滝は三つの中で最もダイナミックだ

階段状の岩肌を撫でるように流れ落ちる黒岩の滝

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

日ノ出岬キャンプ場

日ノ出岬

ひのでみさき

拡張

日の出と流氷で有名なオホーツクの岬

国道238号オホーツクライン、雄武町の興部寄りにある、日ノ出岬。比較的直線的なオホーツク海岸に、ちょこんと突き出した控え目な岬だ。

海浜公園とキャンプ場が開設されており、岬突端にある展望台『ラ・ルーナ』はオホーツクを臨む眺望だけでなく、ライトアップされた夜間の外観も見もの。近くには立派なホテルも営業している。

キャンプ場はバンガローや遊具も備えており、幅広い層が利用できる。その名の通り四季を通じて日の出の名所なので、是非早起きしてオホーツクに昇る朝日を眺めたい。

流氷のシーズンにも多くの観光客やカメラマンで賑わう。

ラ・ルーナからは雄武の街へ続く海岸を眺めることもできる

波打ち際は荒々しい岩で構成され雰囲気が変わる

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

日ノ出岬キャンプ場

拡張

浜小清水

はまこしみず

原生かと我が目を疑う見事な花園

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クリオネキャンプ場

オホーツク海と濤沸湖（とうふつこ）を隔て細長く伸びる砂州上にある、小清水原生花園。釧網本線と国道244号を挟むように、見事な原生花園が形成されている。

鑑賞できるよう整備されているのは国道から線路を渡った海側の一帯。歩道などが設置されているものの、植生については一切人の手は入っていない。

厳しい自然環境にもかかわらず、エゾスカシユリやハマナスなどが見事に咲きほこる。6〜8月がハイシーズンだ。

国道南側にある濤沸湖は汽水湖で、白鳥と夕日の名所。こちらもあわせて見ておきたい。

JR原生花園駅は、5月〜10月のみ営業の臨時駅だ。

シーズン中は美しい花々が目を喜ばせてくれる

たくさんの彩りは全て自然が作り出した情景だ

拡張

じゃがいも街道直売所

じゃがいもかいどうちょくばいじょ

キャンパー御用達、種類豊富な直売所

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

クリオネキャンプ場

北海道を巡るキャンパーなら、一度はお世話になったことがあるだろう、道路沿いの野菜直売所。

ここは小清水町『じゃがいも街道』というところにある直売所だ。決してじゃがいも専売という意味ではない。

店内には様々な採れたて野菜が売られている。どれもが安価で量も多い。何よりの魅力は新鮮であること。食材の仕入がまだなら是非利用したい。売れ切れる場合もあるので早めの時間帯がよいだろう。

野菜の他にも切り花や苗などが売られているのが珍しい。

国道244号が国道391号とぶつかる丁字路の西側、直角に北へ曲がる地点から南へ1㌔ほど。

直売の醍醐味はなんといってもその新鮮さにある

周辺は北海道でも指折りの農業地帯だ

フレペの滝

ふれぺのたき

海へと落ちる知床の『乙女の涙』

知床半島の先端、知床岬まで道路は達していない。斜里から海沿いに走る国道334号も、半島の中ほどで方向を変え、知床峠を越えて根室海峡側へ抜ける。

国道が山へと向かうあたり、道道93号への分岐点に建つ、知床自然センターからフレペの滝へ徒歩で向かう。

羆の多い地域なので注意が必要だ。秘境知床を感じさせる道を15分ほど。四阿に昇れば、上部に建つウトロ灯台がおもちゃに見えるほどの高さ100㍍にも及ぶ断崖が見渡せる。

水量は多くないが、崖の途中から海に向かって細い糸のように流れ落ちる姿は『乙女の涙』と称されている。

知床の密度の高い自然に包まれながら散策できる

滝そのものだけでなく、険しい断崖も見ごたえ抜群

拡張

イベント
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
羅臼温泉野営場

P

岩尾別温泉

いわおべつおんせん

秘境知床の奥地にある名湯

知床五湖やカムイワッカ湯の滝へ走る道道93号を、ユースホステルを過ぎたあたりで右へ入った突き当たり。

最寄の知床斜里駅からバスで90分、道路の終点にあるというのが最果て感を煽る。羅臼岳の登山口にあたり、登山客の利用も多い。珍しい段々畑状の三段の湯は、それぞれ温度が違う食塩泉。湯冷めしにくいのが特徴だ。奥の渓流沿いにある滝見の湯にも立ち寄っておきたい。

森林浴と温泉を同時に楽しめる名湯だが、残念ながら冬期は閉鎖されている。

露天風呂は一軒宿のホテルが管理しており、入浴は無料だ。感謝しつつ温まろう。

少し奥へ行けば、たちまち野生の色が濃くなる

開放的ながらも自然が包んでくれている印象を受ける段々畑の湯

イベント
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
羅臼温泉野営場

2回目以降

P

■キャンプ場情報 Vol.5

室蘭岳山麓総合公園

コムケ国際キャンプ場

モラップキャンプ場

クリオネキャンプ場

ポロトの森キャンプ場

仲洞爺キャンプ場

コラム
語り：椎名建矢 監督

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 網走

ほっぽうけんぶんろく　あばしり

このエリアは……

長い！ 東西に実に長い！ 西端の雄武から東端の斜里・知床まで走るとさすがに疲れてしまうほどの距離があります。場所柄、知床をはじめ観光資源をたくさん抱える斜里や清里など管内東側に目が行きがちなのは仕方ないことでしょうが、西側にも見所は色々あります。比較的平坦な東側に対し、西の方は山深いのが特色でしょうね。

リコメンドポイント

コムケは、街からさほど離れていないという好ロケーションで、相変わらず居心地のよいキャンプ場です。おすすめは星空鑑賞。テントサイトから少し奥の方へ走ると、旧紋別空港があり、空を見るにはうってつけの場所になっています。特に秋は空気が澄むので、気持ち悪いほどたくさんの星、そして天の川をはっきりと見られます。ただ、夏場はガスが出やすいので厳しいかも。

直線好きなら、きよさとストレートも外せません。ここは他と違い、スキーの直滑降をするような感覚でバイクを走らせることができます。このような道を、自分は他に知りません。

こぼれ話

興部のバスセンターにある受付のおばさま（生まれは紋別、育ちは興部）とお話をした際、この街の人々は本当に鉄道を愛していたんだなと実感しました。資料館に書かれているような〝他所行き〟の言葉ではなく、生の声として色々伺えたのはとても貴重でした。

上白滝のスポット紹介にある隣駅まで68分かかるというのも、自分は経験したことがあります。というか上白滝から列車に乗った（〝上白滝を通った〟に非ず）ことがあります。マジで一時間以上かかりました。峠越えの勾配がきつくて、最高出力でも時速30㌔くらいしか出ないんですね。

胆振管内（いぶり）

最初に上陸する苫小牧港のほか、石狩管内との境には新千歳空港があり、北海道の玄関口として開かれている。苫小牧から室蘭にかけては製紙や鉄鋼、製油など北日本を代表する工業地帯。温泉番付で常に上位の登別をはじめ、良質な温泉が数多く湧いていることでも有名。

振興局所在地：室蘭市

- ❶ 室蘭
- ❷ ポロト
- ❸ 苫小牧港
- ❹ 登別
- ❺ 川又温泉
- ❻ 西山火口
- ❼ キムンドの滝
- ⑧ 洞爺湖
- ⑨ 緑ヶ丘公園
- ⑩ ウトナイ湖

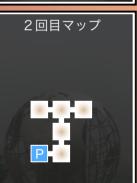
室蘭

むろらん

北海道の重工業を象徴する鉄の街

室蘭は、絵鞆（えとも）半島に守られた天然の良港を持ち、明治時代から製鉄所を中心に工業都市として発展。自然と人工物がバランスよく調和した美しい街だ。

胆振総合振興局所在地であるが、人口は全盛期から半減、管内で苫小牧に次ぐ2番目の規模。

市街地の中心は、半島突端の室蘭駅周辺から、半島付け根に位置し交通の要衝となった東室蘭駅周辺へと移った。

札幌と並び一人旅で5種の探訪シナリオを楽しめる。駅周辺や地球岬、銀屏風、測量山などを巡ることができるが、2度目の訪問は濃霧のため、記事にはできないので注意。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

室蘭岳山麓総合公園

測量山からは室蘭を３６０度全て見渡せる

ハルカラモイはまるで山水画のような雰囲気がある

大きな地球儀のある地球岬は霧の名所。時と場所の縁だ

地球岬にある幸福の鐘。鳴らされた音が眼前の海へ溶けていく

ポロト

ぽろと

待ち人の涙でできた伝説の湖

苫小牧港から登別方面へ走って最初にあるスポットだ。白老町が管理する自然共生型森林公園で、ボート遊びや冬はワカサギ釣り、スケートも楽しめる湖を中心とし、キャンプ場も併設している。

国道36号から約1㌔、JR白老駅から徒歩5分とアクセスもよい。アイヌ民族博物館・ポロトコタンはすぐそば。

ゲーム序盤に訪れると小夜ルートがスタートする。ヒロイン3人の中で最も難易度の低いシナリオだ。

ポロトのマップは一人旅ルートのほうが広く、トレイルや道央道のあたりまで行くことでできるので、小夜と会った翌日にでも訪れてみよう。

イベント

なぎさ 小夜 泉 明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

ポロトの森キャンプ場

水際すぐ近くまで歩ける

湖岸にはベンチが備えられており落ち着いて過ごせる

凪いだ日の湖面は光り輝く。湖水の透明度も高い

水科小夜との出会い

苫小牧港からほど近いポロトを3日目までに訪れると出会える水科小夜。下船するとき隣にいたライダーのアドバイスを耳にしていれば、会うのは難しくないだろう。

奥へ入るとポロト自然休養林。密度の高い緑が迎えてくれる

最奥のキャンプ場・ビジターセンター近くには清流が

苫小牧港

とまこまいこう

千尋の北海道第一歩。全てはここから

苫小牧港の西港区にある、太平洋側航路が集まる苫小牧西港フェリーターミナル。

千尋も利用した大洗行の商船三井・さんふらわあをはじめ、名古屋行の太平洋フェリー、八戸行のシルバーフェリーが発着する。名古屋便は仙台にも寄港するので、首都圏からの利用も可能だ。

初代風雨来記で轍が利用した東京~釧路間のフェリーは、１９９９年秋、初代の取材直後発売を待たず廃止となっている。

風雨来記３では全道への旅がスタートする記念すべき場所。なぎさとの会話も印象深い。

出発後いきなりUターン、ここを取材するというひねくれた（？）行動も可能だ。

海の表玄関。さんふらわあ以外にも様々な船が発着する

旅客数は函館港を凌駕し道内最大。土産店は空港のような雰囲気

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

Vita: モラップキャンプ場 / PC: ポロトの森キャンプ場

登別

のぼりべつ

豊富な泉質を誇る、北海道随一の大型温泉地

北海道の温泉で全国的に最も名が知られているのはここ登別だろう。硫黄泉、食塩泉をはじめなんと９種の泉質が楽しめるという、温泉のデパート。その歴史は古く、開発は江戸時代にまでさかのぼる。

メインストリートの通称「極楽通り」を中心に数十軒の宿や土産物店が立ち並び、地獄谷や大湯沼をはじめ、クマ牧場や閻魔堂など見所も豊富。世代を問わず楽しめる一大観光地を形成している。登別地獄祭りを毎年８月に開催。

周辺の上登別地区やカルルス地区を含め、日帰り温泉も数多くあるが、料金にバラツキがあるので事前に調べておくとよい。

絶えず噴気の上がる地獄谷。爆裂火口である証左だ

源泉１００%の純天然足湯は森林浴もできるおすすめスポット

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

ポロトの森キャンプ場

川又温泉

かわまたおんせん

超メジャー温泉近くの秘湯は、かなりぬるめ

イベント

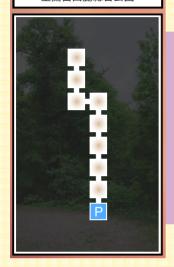
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

室蘭岳山麓総合公園

登別市鉱山町、幌別川支流にある秘湯。明治後期にここを発見した川又兵吉から命名。

幌別の市街地から十数㌔、うち数㌔はダート道の林道となる。駐車スペースから約800㍍、渡渉もあり羆出没地域でもあるので、充分な注意が必要だ。

浴槽は畳1畳程度。地元有志などにより清掃がされており、コンディションはよい。湯温はかなりぬるめだ。

以前は近くに川又兵吉の孫、輝光の営む湯治宿もあったのだが、50年ほど前に台風により建物が流失し廃業してしまった。

ゲームではここで東の秘湯、薫別温泉の情報を得ることになる。

獣道をひたすら上流へ向かって歩いていく

沢の横に鎮座する湯船。周りは森で囲まれている

西山火口

にしやまかこう

異景に絶句、大自然の驚異

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

仲洞爺キャンプ場

洞爺湖の南側にある標高737㍍の活火山、有珠山。江戸時代から何度も噴火を繰り返し、東麓の昭和新山も有名だ。

今回立ち寄ったのは2000年に噴火した、西山山麓の噴火口近辺。全長1・6㌔の散策路が設けられている。

旧国道230号をうずめる西山火口沼、無残に崩壊した工場や民家、水面から顔をのぞかせる電柱などを間近に見ることができる。

駐車場そば、一階が冠水した旧消防署の二階部分には、噴火に関する資料が展示される。

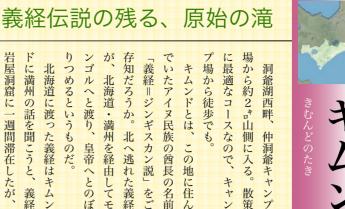
第一・第二のふたつの展望台があるが、第二展望台近く、幼稚園跡がある南側からもアプローチすることができる。

未だ熱を持つ地面。これより先に立ち入ると火傷のおそれあり

まるでこの世の終末を思わせる光景に言葉を失う

キムンドの滝

きむんどのたき

義経伝説の残る、原始の滝

洞爺湖西畔、仲洞爺キャンプ場から約2㌔山側に入る。散策に最適なコースなので、キャンプ場から徒歩でも。

　キムンドとは、この地に住んでいたアイヌ民族の酋長の名前。「義経＝ジンギスカン説」をご存知だろうか。北へ逃れた義経が、北海道・満州を経由してモンゴルへと渡り、皇帝へとのぼりつめるというものだ。

　北海道に渡った義経はキムンドに満州の話を聞こうと、義経岩屋洞窟に一週間滞在したが、結局会えず。日高に転じオキクルミカムイ酋長から情報を得て満州へ向かったという。

　真偽のほどはともかく、神秘的な滝を見ながら歴史のロマンを感じるのもよいだろう。

仮設のような雰囲気の遊歩道。崖崩れに注意

大きさや迫力はさほどでもないが、隠された神秘的な空気がある

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

仲洞爺キャンプ場

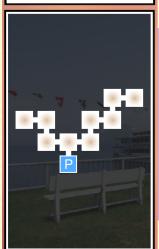
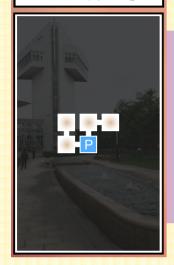
洞爺湖

とうやこ

拡張

中島の姿も美しい見事なカルデラ湖

２００８年のサミットも記憶に新しい洞爺湖は、屈斜路湖、支笏湖に次ぐ、日本３番目の面積を持つカルデラ湖。支笏洞爺国立公園の中心的存在であり、北海道屈指の観光地だ。

　11万年前の噴火によりできた洞爺カルデラだが、周辺の火山活動は今なお活発で、昭和新山や有珠山はすぐそばにある。

　湖畔は病院跡地を含む広大な敷地が公園となっており、整備も行き届いているのでとても気持ちよく散策することができる。戦前営業していた洞爺湖電気鉄道の名残りであろう、湖に没するレールが珍しい。

　余談だが、昭和の大横綱、北の湖は有珠郡の出身。四股名の由来はこの洞爺湖だ。

湖畔のオブジェ群は『とうや湖ぐるっと彫刻公園』を構成している

湖畔は綺麗に整備され、爽やかな風が吹き抜ける

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

仲洞爺キャンプ場

緑ケ丘公園

みどりがおかこうえん

工業都市を一望できる市民の公園

野球場や陸上競技場なども備えた緑豊かな総合公園。苫小牧駅から1㌔ほどと市街地のすぐそばにあり、アクセスもよいため多くの市民で賑わっている。
　公園内の高台には20㍍以上もある立派な展望台が。エレベーターで登れば、ウトナイ湖や勇払原野などの大自然とともに、目の前に広がる苫小牧の市街地、そして海沿いの工業地が目に飛び込んでくる。
　苫小牧は全道5位の人口を誇る大都市であり、室蘭と並ぶ北海道を代表する工業地帯だ。製紙工場や石油コンビナートの煙突も遠くに見える。
　夏季の夜間には展望台や手前の噴水がライトアップされ、夜景を楽しむこともできる。

展望台からは街並を一望

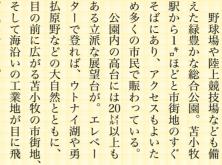
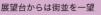
地元の人々の憩い場として賑わいをみせる

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
モラップキャンプ場

PSV

うとないこ

航空機と自然の対比が面白い

地図を見れば一目瞭然だが、苫小牧市街から目と鼻の先、国道36号のすぐそば。そこにラムサール条約登録の湿地があるというのだから驚きだ。
　湖畔には野生鳥獣保護センターとネイチャーセンター、ふたつの施設があり、更に道の駅ウトナイ湖も併設されている。
　都市部に近いとはいえ、一歩足を踏み入れればそこは自然の宝庫。野性味あふれる植生や野鳥の姿を存分に堪能しよう。
　新千歳空港南側アプローチの真下、空港まで数㌔の地点に位置しているため、頭上間近をひっきりなしに航空機が飛ぶ。手付かずの自然と文明の叡智とのミスマッチが独特だ。

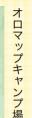
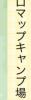
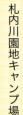
大型の航空機がひっきりなしに飛び交う

苫小牧の市街地からわずか数キロとは思えない光景

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
ポロトの森キャンプ場

■キャンプ場情報 Vol.6

コニファーキャンプ場

二風谷キャンプ場

士幌高原キャンプ場

翠明橋公園

オロマップキャンプ場

タウシュベツ橋梁

糠平キャンプ場

札内川園地キャンプ場

コラム
語り：椎名建矢 監督

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 胆振

ほっぽうけんぶんろく　いぶり

このエリアは……

ここも、まずひとこと目は「読めない」ですよね。後志といい胆振といい、この辺りは妙に読み難いところが多いように感じます。

ここは風雨来記3で上陸する場所。つまり一番早く味わうことになる地域です。胆振は道内ではどちらかというと内地に少しだけ近い感覚のある場所ですが、それでも苫小牧へ上陸して走り出す瞬間「あ、北海道の風だ」と実感します。道幅も広いですし。

現代の札函間の大動脈が通っているので通行量は多く、他の地域に比べれば(石狩はおいといて)全体的な秘境度はあまり高くないでしょう。とはいえ川又温泉とか、キムンドの滝とか、秘境を感じられる場所はきちんとあります。……いや、むしろ今回の取材中で一番秘境を感じたところだと言えるかもしれません。詳細はこぼれ話のセクションで。

リコメンドポイント

胆振で一番気に入っているのは西山火口。何度も足を運んでいます。あの非現実感溢れる光景はいつ見ても衝撃です。またこの周辺、洞爺湖岸にはキャンプ場が多いですし、温泉もたくさんあるので、手軽に旅を楽しめる使い勝手のよいエリアです。(ゲーム中には道を作っていませんが)峠をちょいと越えればすぐ登別へも行けちゃいます。

こぼれ話

ゲームに収録していないスポット、白老町はインクラの滝を取材中のことです。ここは非常に森深く、滝見台までけっこう歩く必要があります。散策を終え滝見台から駐車場へ戻っている最中、俄に獣臭が。そう、羆です。実は羆ってかなりクサいんです。視認はできませんでしたが近くにいるのは確実でした。クマ対策は入念にしていても、いざニアミスすると神経が張りつめますね。

日高管内はほぼ全域が厳しい山岳地形であり交通の便は恵まれていない。東には急峻な日高山脈がそびえており十勝方面への連絡路は極めて限られる。
沿岸部は昆布漁が幅広く行なわれており有名。
また日本最大の競走馬産地であるほか酪農も盛ん。

振興局所在地：浦河郡浦河町

❶ すずらん群生地
❷ エンルム岬
❸ 襟裳岬
④ 浦河海岸
⑤ 翠明橋公園
⑥ 黄金道路

日高管内

すずらん群生地

すずらんぐんせいち

つつましやかに咲く、初夏の花

北海道の初夏を彩る代表的な花、すずらん。平取町芽生、幌尻岳の麓にある野生のすずらん群生地は、約15㌶と日本一の広さを誇る。

一般的にイメージされるセイヨウ（ドイツ）スズランと違い、ここに群生するニホンスズランは、葉の下にひっそりと花を咲かせている。覗くように下から見てみよう。

開園期間は見ごろの5月下旬～6月中旬と短い。平取町のウェブサイトで開花状況がわかるので、参照するとよいだろう。

6月上旬には「すずらん鑑賞会」と銘打ち、びらとり牛のバーベキュー、地元ブランドトマトの販売など、さまざまな催し物が開催されている。

一見ただの草地。どこを探しても可憐な花などなさそうだが……

葉の下にひっそりと咲かせている。なんともつつましい花だ

イベント
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
二風谷キャンプ場

エンルム岬

えんるむみさき

絶景を誇る岩山は、陸続きの島

様似町海岸から南に突き出た陸繋島がエンルム岬。陸繋島とは海流等の影響でできた砂州によって陸続きになった島のことだ。標高70㍍に及ぶ岩山で、麓まで車道があるが、あとは200段以上のジグザグの階段を登らねばならない。

頂上からの眺望は360度の大パノラマ。南側は太平洋を一望、西側にも陸はないので夕日の美しさも格別だ。

海を背にすると、東側に様似の街並を、北側の足元に様似漁港、そして雄大な日高山脈を正面に見ることができる。

様似は日高地方の太平洋岸を走る日高本線の終着駅。水産業を中心に発展した町だが、発祥は江戸時代の採金だという。

イベント
なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
オロマップキャンプ場

高台への階段は綺麗に整備されていて歩きやすい

ここは浜ではなく高台なので、まるで海の上空に浮かんでいるよう

襟裳岬

えりもみさき

山脈が太平洋へ沈んで行く場所

知らない人はいないであろう、北海道屈指の著名な岬。宗谷岬や納沙布岬のように最北端、最東端というわけではないこの岬、名を押し上げたのはやはり同名の歌謡曲の力だろうか。

岬周辺は年中強い風が吹くため高い植生に乏しく、非常に見晴らしがよい。白いクラシックな襟裳岬灯台は明治22年に設置され、その光は42㌔先まで届く。残念ながら内部は非公開。灯台を見ながら遊歩道は岬の突端近くまで続いている。

ここは北海道の背骨とも称される日高山脈の終端部。60㍍ほどの左右断崖が前方に向かって徐々に高度を落とし、沖合2㌔にも及ぶ岩礁を連ねながら没してゆく威容は必見だ。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

オロマップキャンプ場

常に強風が吹き荒れる。辺りに木々はなく草原が広がる

海の中へも山脈が連なっているのがよくわかる

浦河海岸

うらかわかいがん

食べてよしダシによしの万能昆布

日高本線の線路と海岸間に干された一面の昆布が壮観。

日高昆布（正式には三石昆布）の名で知られるこの地方特産の昆布は、そのほぼ全てが天日乾燥で加工されている。

昆布漁は採りコンブと拾いコンブに分けられ、前者が行われるのは夏の僅かな間。加工に多くの時間が費やされ「手間を売る商品」とも表現される。

玉砂利を敷き詰めた干場(かんば)の整備に始まり、熟練の技を駆使しながら長期間乾燥、その後も庵蒸や選葉などいくつもの工程を経て、やっと出荷できる状態になるのだ。

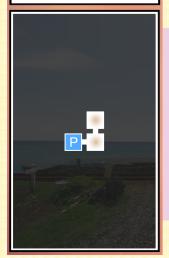
3尺5寸に切りそろえられる前の昆布は、長いもので7㍍にもなるという。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

オロマップキャンプ場

まるで黒い布のように昆布が一面びっしり干されている

護岸すらされていない波打ち際を線路が走る。実におおらかだ

翠明橋公園

すいめいばしこうえん

標高５００m、日高山脈の名水がうまい

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

オロマップキャンプ場

日高から日高山脈を越え、十勝に至る国道236号の別名は天馬街道。日高側を野塚国道、十勝側を広尾国道とも呼ぶ。

その野塚国道を浦河から登り、峠にあたる野塚トンネルの手前に整備されたパーキングエリアが翠明橋公園だ。標高が高く夏でも涼しいので、避暑には最適だろう。

冬季は閉鎖されており、５月にオープン（雪の状況により日付は変動）するが、それを待ちわびる人々のお目当ては公園内に湧く水。トンネル工事の副産物だ。

日高山脈を浸透してきた軟水はくせがなく、飲用をはじめ炊飯などにも適する。隠れた名水として人気がある。

水汲み場のほか、日本庭園のような人工渓流が

高い山、深い森の中を、道路が一本延びていく

黄金道路

おうごんどうろ

拡張

巨額の工事費を要した難区間

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

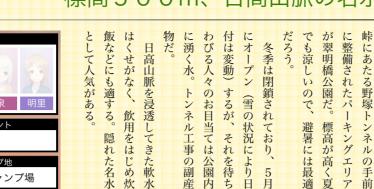
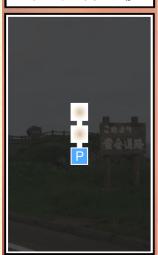
オロマップキャンプ場

襟裳岬から十勝方面へ。穏やかな風景の快走路が続く道道34号が襟裳国道へと合流し、庶野（しょや）の港を過ぎると様相は一変、広尾まで険しい海岸線が続く。

この区間、難工事のため黄金を敷き詰めるほどのお金を投入したことから、黄金道路と名付けられた。

現在はトンネルの建設が進んでいるものの、開通当時から通行止めになることが非常に多い区間で、荒天時には波をかぶりながら走らなければいけないこともあったそうだ。

今回訪れたのは、庶野から2㎞ほど北上したパーキング。大きな看板があるので見落とすことはないだろう。

岩礁ひしめく峻烈な海岸線と、そこに無理矢理に通した旧道は圧巻

黄金を敷くほどの工事費がかかったと納得できる景色だ

■キャンプ場情報 Vol.7

緑ヶ丘森林公園

霧多布岬キャンプ場

浦幌森林公園

羅臼温泉野営場

阿寒湖畔キャンプ場

和琴半島湖畔キャンプ場

塘路元村キャンプ場

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO

日高

ほっぽうけんぶんろく　ひだか

コラム
語り：椎名建矢 監督

このエリアは……

北海道、いや日本有数の馬産地です。浦河や静内、新冠(にいかっぷ)の辺りはサラブレッド街道とも呼ばれ、馬達が思い思いに草を食んでまったりしています。逆に、牛はあまり見なかったような。

交通事情は、道路・鉄道ともにお世辞にも恵まれているとはいえない状態です。交通量が少ないという点は走りやすいのですが、万一の災害時などに動きが制限されやすい立地と言えるでしょう。他のエリアと結ばれている主要道路が5本しかありませんからね。

リコメンドポイント

翠明橋公園は日高山脈の深くに抱かれたところにあるので、盛夏でも涼しく避暑に最適です。美味しい水も湧いていますし、それでも暑ければ広尾方面へ向かってすぐの野塚トンネルまで退避すればOK。あそこっていつ通っても妙に気温が低いんですよね。初夏などに行くと寒さに凍えてしまうくらいです。

今回スポットとしては収録していませんが、平取の二風谷(にぶたに)周辺にアイヌ専門としてはかなり大きな博物館があり、興味深い資料が沢山並んでいます。北海道を走る上で欠かせないアイヌのこと、見ておくとよいでしょう。

こぼれ話

ゲーム内の道路、門別から静内の間が太平洋岸ではなく内陸をうねうねとしていますよね。どうしてこんな道になったかというと、すずらん群生地の近くにあるヘンテコ標識をどうしても脇見ポイントに入れたかったからなんです。作中でも千尋に代弁させましたが、一目見るとどこか違和感があって、それでも特に問題があるように見えなくて……この謎の違和感の正体はなんなのだろうとしばらく眺めていると、「あっ!」ってなるんです。いやあ最初気づいたとき爆笑しましたね。

十勝管内

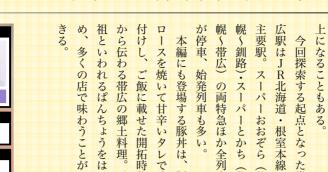
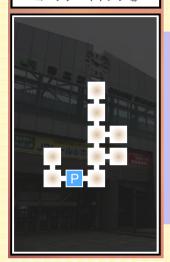
十勝地方は北海道全14管区の中で最大の面積を誇る。そのほとんどを十勝平野が占め、広大な耕作地を活かして畑作・酪農が盛んに営まれており、農作物における十勝ブランドは極めて強力。
北部は丘陵から山岳地形となり平野を展望できるスポットが数多い。温泉も豊富に湧く。

振興局所在地：帯広市

❶ 帯広
❷ 三国峠
❸ タウシュベツ橋梁
❹ 鹿の湯
❺ テムジンの湯
❻ ナイタイ高原牧場
❼ 士幌高原
❽ 十勝清水
❾ 日勝峠
❿ 円山展望台
⓫ 札内川園地
⓬ 十勝が丘
⓭ 浦幌炭鉱跡
⓮ 湧洞湖
⑮ 岩間温泉
⑯ 士幌町40号
⑰ ヌプントムラウシ温泉
⑱ 瓜幕
⑲ 想いやりファーム
⑳ 更別
㉑ 昆布刈石
㉒ 狩勝峠
㉓ 鹿追
㉔ 扇が原展望台
㉕ 東雲湖
㉖ 豊岡展望台
㉗ タウシュベツ展望台
㉘ 幌加
㉙ 陸別

帯広

おびひろ

道東最大の都市圏を誇る十勝の中心地

帯広市の人口約17万は北海道6位、十勝地方の中核都市にして振興局所在地だ。内陸部にあるため寒暖の差が激しく、冬はマイナス20℃以下、夏は35℃以上になることもある。

今回探索する起点となった帯広駅はJR北海道・根室本線の主要駅。スーパーおおぞら（札幌〜釧路）・スーパーとかち（札幌〜帯広）の両特急ほか全列車が停車、始発列車も多い。

本編にも登場する豚丼は、豚ロースを焼いて甘辛いタレで味付けし、ご飯に載せた開拓時代から伝わる帯広の郷土料理。元祖といわれるぱんちょうをはじめ、多くの店で味わうことができる。

帯広といえば豚丼。炭焼きの香ばしい香りで食欲が爆発する

帯広駅の近くにはアート作品が数多く設置されている

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

コニファーキャンプ場

三国峠

みくにとうげ

大樹海が印象的。休憩所も設置されている

国道273号にある峠。石狩・十勝・北見の境界、三国山のそばを通る。頂上付近は長さ1㌔ほどの三国トンネルが貫き、今回訪れた上士幌（かみしほろ）側にあるパーキングには売店も設置されている。

上川と上士幌を結ぶ道路は大正時代からの悲願であった。戦争による中断など紆余曲折を経て1972年にようやく開通、整備が進み通年通行可能になったのは1994年のこと。

車が通る峠としては北海道で最も高い（標高1139㍍）が、自転車で登る強者もいるというから驚きだ。

本編ツーリングモードではこのルートに脇見ポイントが多く設定され、有名な松見大橋も見ることができる。

小動物も顔を出すことがある。可愛くても餌やりは厳禁！

見渡す限りの樹海。原始のままの林野が眼前に広がる

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

糠平キャンプ場

タウシュベツ橋梁

たうしゅべつきょうりょう

季節によりその姿を変える、幻の橋

糠平(ぬかびら)ダムの人造湖内にある11連130㍍のコンクリートアーチ橋で通称めがね橋。元はタウシュベツ川に架かる旧国鉄士幌線の鉄道橋。士幌線はダム建設でのルート変更後、1987年廃線。

糠平湖は季節による水位の変動が激しい。夏に最も高くなり、橋がほぼ水没。冬季には逆に基部までその姿を現す。

山岳路線に多く建設された橋梁群は北海道遺産にも認定されているが、当橋梁はその特殊な立地上、特に保守はなされていない。十勝沖地震により崩落している箇所もある。

アプローチは糠平三股林道だが、本編で言及のとおり東大雪森林管理署での許可が必要だ。

駐車スペースから橋まで、かつての路盤の跡を歩いていく

橋梁は季節によって見せる表情をガラリと変える。冬季も必見

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

糠平キャンプ場

鹿の湯

しかのゆ

野湯マニアの天国、然別峡の代表選手

十勝川水系然別(しかりべつ)川の上流部、然別峡には多くの野湯が湧いており、まさに温泉銀座と呼ぶにふさわしい。

中でもアクセスが容易で人気なのがこの鹿の湯。然別峡野営場にある「露天風呂」の看板に従い川へ下りればすぐ。駐車場からでも5分ほどだ。

緑色に濁ったお湯と、真ん中に岩のあるドーナツ状の湯船が特徴。川のすぐそばなので、融雪期など増水すると入浴はできない。湯温が若干低めのことが多いので、夏季に行くのがおすすめ。

道道1088号然別峡線を山へ分け入ること約15㌔。菅野温泉の手前で左へ入り、丁字路を左折すればすぐだ。

源泉掛け流し状態でも湯温はよい塩梅のことが多い

温泉に浸かりながら、川遊びもできるロケーション

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

士幌高原キャンプ場

テムジンの湯

てむじんのゆ

豪快な川の音と絶景を楽しめる野湯

本編でおわかりかと思うが、鹿の湯へのアクセスで紹介した丁字路を右に行けばテムジンの湯。鹿の湯の上流にあたる。鹿の湯は丁字路からすぐの場所にあるのだが、こちらは少し奥まで入るうえ、場所がわかりづらいので注意。

湯があるのはユトオルクシュナイ川がユウヤンベツ川に合流する地点。小さな滝もあり景色は格別。透明で湯温は熱め、川の水で調節する。

然別峡のあるユウヤンベツ川は「お湯ののぼる川」という言う意味。ウペペサンケ山に源流を持ち、下流に進むに従ってウパシナイ川・然別川・十勝川とその名を変える。

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

士幌高原キャンプ場

小さな沢が方々から集結する。せせらぎが心地よい

渓流のすぐ脇に湯が湧く。鹿の湯よりも森の密度が高い

ナイタイ高原牧場

ないたいこうげんぼくじょう

多くの人を惹きつける、超絶景スポット

絶景という言葉には食傷気味だと思うがご勘弁頂きたい。アプローチする道路を走っている時点で既に絶景。標高800㍍の展望台から見る牧場と十勝平野もまさしく絶景なのだ。

ここは上士幌町が運営し、公共牧場としては日本一の面積を持つ。預かった乳牛を育成、授精させ分娩間近で飼い主に戻す、育成牛預託専門の牧場だ。

3000頭の乳牛が標高350㍍から1000㍍、約1700㌶の広大な範囲に放牧されている。

ナイタイとはアイヌ語で奥深い沢の意。上士幌町の街から道道806号上音更上士幌線を進んだ行き止まり。市街地には案内標識も多いので迷うことはないだろう。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

士幌高原キャンプ場

家畜感謝の碑。人間の生活を支えてくれる動物たちに感謝を

駐車場目の前の階段からこのまま空へ飛び立てそうな気分になる

士幌高原

しほろこうげん

十勝の田園風景を一望できる穴場

大雪国立公園南端にある東ヌプカウトヌプリ山の東麓、標高600㍍にある高原。

直線距離で2㌔ほど北にある然別湖への道路の建設が途中で凍結され、行き止まりになっているせいか、訪れる人は極めて少ない。しかし雄大な十勝平野を見渡す景観は、ナイタイ高原牧場に勝るとも劣らない。

道路の終端部分から北方の白雲山への登山道が分岐しており、2～3時間歩いた1186㍍の山頂からは眼下に然別湖が。

キャンプ場の他、望遠鏡のある展望室を備えたロッジやコテージなども併設されているので、長期滞在にも向いている。牧場や木製の遊具などもあるのでファミリーにも最適だ。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

士幌高原キャンプ場

通行止めのゲート。道道６６１号はここで途切れたままだ

眺望を独り占めできるという観点ではナイタイよりも勝っている

十勝清水

とかちしみず

ようこそ十勝へ。険しい峠の東側玄関口

十勝清水は、清水町の中心にあるJR北海道・根室本線の駅。静岡の清水駅と混同しないようこの駅名となった。

かつては貨物輸送が盛んで、JA倉庫や製糖工場への専用線、貨物用ホームなどもあった。札幌～帯広間の特急スーパーとかちが停車する。

国道274号で日勝峠を越え十勝平野に出ればそこが清水町。険しい峠を越える前、または越えた後の休憩地としてライダー、ドライバーが多く羽を伸ばしている。

札幌と道東を結ぶ国道274号は365㌔と北海道で一番長い国道として知られる。

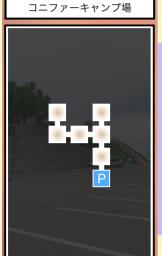
イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

コニファーキャンプ場

駅の入口には蒸気機関車を模したプランターが置かれている

駅横の広場では、初夏に十勝清水やきもの市が開催される

日勝峠
にっしょうとうげ

峠越えは今でも難所、走行には注意

その名の通り日高と十勝、大地の西と東を分かつ峠だ。北海道を横断する大動脈、国道274号がこの峠を走っている。

高速道路である道東自動車道は、日勝峠の約10㌔北を、苫鵡（とまむ）から十勝清水へと抜けるルートで日高山脈を越える。

峠の最高地点はトンネルとなっており、日勝峠展望台は清水側へ下った中腹にある。展望台からは十勝清水の街や帯広までが視界に入る。

最近は整備が進んだとはいえ、標高1000㍍まで一気に駆け上がる線形はハードだ。夏でも濃霧などコンディションが悪い場合が多く、大型車など交通量も多い。加えて取締もあるので走行には細心の注意を。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

コニファーキャンプ場

展望台裏の高台には山神が祀られている

この峠へ一直線に向かってくる国道を眺めることができる

円山展望台
まるやまてんぼうだい

アクセス難度高し。十勝平野を眺める穴場

清水町営育成牧場のそばにある清水円山展望台だ。案内の看板があまりなく、知名度も低いことから訪れる人も少なめ。

標高500㍍弱ながら、視界を遮るものはなにもない。果てしなく広がる十勝平野と地平線。振り返ると日高山脈の迫力ある姿も間近に楽しめる。展望台だけでなく駐車場付近を少し歩いてみるとよいだろう。

国道38号羽帯付近から日高山脈方向に向かうのが最短ルートだが、前述の通り案内に乏しいので、地図やナビで事前にしっかりチェックしておこう。

ゲーム中では容易にアクセスできるが、ラスト1㌔ほどはダート道となるので、充分用心して通行しよう。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

コニファーキャンプ場

綺麗に整備されベンチやテーブルも。弁当を広げるのにもよい

駐車場から小上がりの場所はちょっとした広場になっている

札内川園地

さつないがわえんち

マイナスイオンと自然に包まれてみよう

過去に幾度となく清流日本一（国土交通省発表・河川の水質状況）に輝いた、札内川上流の自然公園だ。

本編でも利用するキャンプ場をはじめ、バンガロー村や日高山脈の自然や登山の歴史を伝える資料展示コーナー、パークゴルフ場、アスレチック、シャワールームなど、様々な施設が整っている。全て村により運営されており、無料もしくは格安で利用できるのがありがたい。

必ず見ておきたいのが、ピョウタンの滝。1954年に完成した貯水・小電力発電用の「農協ダム」が、わずか1年後集中豪雨による土砂で埋没。それによって出現したのがこの滝だ。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

札内川園地キャンプ場

とても広いフリーテントサイト。山に抱かれながら開放感も

ピョウタンの滝。これだけ幅が広いと流れも音もダイナミック

十勝が丘

とかちがおか

道東では珍しい、〝街並み〟を望む展望台

帯広市の北隣にある音更（おとふけ）町。その十勝川北岸、多くの宿泊施設が立ち並ぶ十勝川温泉北側の小高い丘陵に、十勝が丘展望台がある。温泉街や帯広市街の眺望は、夜景も素晴らしい。

併設する公園内に、十勝川モール温泉を源泉かけ流しにした贅沢な足湯がある。無料なので是非立ち寄ってみよう。

モール温泉とは、植物起源の有機質を含む温泉。近年ではボーリングで各地に湧出しているが、昭和初期には世界でここを含む二ヶ所のみとされていた。

園内でひときわ目をひく直径18㍍の花時計「ハナック」は、年に5回植え替えられる季節の花で彩られている。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

コニファーキャンプ場

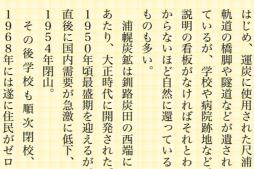
公園内にある無料の足湯。モール温泉特有の色を呈している

ハナックの前には芝の広場。子供たちの遊び声がたくさん

浦幌炭鉱跡

うらほろたんこうあと

自然に還りつつある、栄華の名残り

駐車場イベント
なし

対応キャンプ地
浦幌森林公園

浦幌市街から道道56号を北へ、その後道道500号を炭山方面へ進むと、コンクリートの廃墟が現れる。旧浦幌炭鉱のアパート（炭鉱住宅）群だ。

ここでは廃墟となった炭住をはじめ、運炭に使用された尺浦軌道の橋脚や隧道などが遺されているが、学校や病院跡地など、説明の看板がなければそれとわからないほど自然に還っているものも多い。

浦幌炭鉱は釧路炭田の西端にあたり、大正時代に開発された。1950年頃最盛期を迎えるが、直後に国内需要が急激に低下、1954年閉山。

その後学校も順次閉校、1968年には遂に住民がゼロとなり、完全に山の灯は消えた。

外見はかなり朽ちた廃墟。しかし中を覗くと生活の痕跡が見える

現在の姿からは想像もできないほど賑わう街がここにあった

湧洞湖

ゆうどうこ

海と湖、ふたつの表情を同時に楽しむ

イベント
なぎさ
小夜
泉
明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
浦幌森林公園

豊頃町の太平洋岸にある汽水湖。サロマ湖や浜名湖と同じく、元は海だったものが、発達した砂州や砂嘴によって塞がれてできた、海跡湖だ。

周囲は12㌔ほどあるが、平均水深は1・3㍍と非常に浅い。付近の十勝海岸にはホロカヤントウ沼や生花苗沼など、海跡湖がいくつか並んでいる。

展望台からは湖と太平洋を同時に見ることができる。湖畔には原生花園もあるので是非立寄ってみよう。以前はキャンプ場も付近にあったが、残念ながら2005年に閉鎖されている。

砂州上には道道1051号が潮流口の手前まで通っている。終点まで足を延ばし、何もない最果て感を満喫するのも一興だ。

この向こうはもう外洋。波は高く荒々しい

道路は砂州の先端まで延びているが、終点にはまるで何もない

岩間温泉

いわまおんせん

東大雪のふところに抱かれた秘湯

大雪山系南東部に発し、糠平ダムを経て帯広で十勝川へ合流する音更川。その源流部に近い石狩岳麓にある秘湯だ。

糠平ダムから国道273号を三国峠方面に登り、幌加温泉入口を過ぎた4㌔ほど先、三股橋手前の林道入口を左折し、締まったダートを14㌔ほど走る。

途中、川で林道が寸断されている。水量が少なければ四駆車での横断は可能だが、夏場など水量のある時は渡渉となる。水温が低いので渡る際は注意しよう。

乳白色の硫黄泉を湛えた小さな湯船がいくつかあり、川沿いの岩壁からは温泉が滲むように湧いている。

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

糠平キャンプ場

ここさえ乗り切れば湯までもうすぐ。増水期は特に注意を

開放感たっぷりのロケーションで名湯を味わえる。最高の贅沢だ

士幌町40号

しほろちょうよんじゅうごう

裏のダート道も必見、穴場ストレート

直線道路と連続するアップダウンが特徴的な町道だ。直線道路の名所は道内に数あるが、ここは知る者は少ないだろう。

台地状の平野に音更川の支流が何本も流れているため、このような断続的な起伏を形成し、独特の景観を演出してくれている。一本裏に入ったダートの直線道も印象的だ。

ゲーム内の写真に「西7線40号」とあるが、西7線とは南北方向、40号は東西方向の通りのこと。西に向けて、また北に向けてその数字は増えていく。

道道337号を走り、西上音更小学校から約1㌔北、上士幌との町境から約500㍍南の交差点を西へ入ればよい。

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

士幌高原キャンプ場

魅力は直線道路だけではない。ここからも十勝平野を見下ろせる

大地のうねりにそのまま直線道路を敷いた結果

ヌプントムラウシ温泉

ぬぷんとむらうしおんせん

隠

アクセス難度も源泉温度も非常に高い

十勝川最上流部、ヌプントムラウシ川沿いの秘湯だ。

更衣室と混浴の露天風呂は新得町により設置された。源泉の温度は90度を超えるため、沢水で適温に調節する。

新得町から道道718号を約40キロ北上、曙橋の手前で右折し林道へ。状態の悪いダート道を更に約15キロ走る。取材時には温泉手前の橋が流失していたため、徒歩にて渡河した。

ちなみに林道へ入らず直進すれば、国民宿舎のあるトムラウシ温泉があり、日帰り利用も可。

同じ東大雪の岩間温泉から直線距離では数キロだが、東大雪山系を迂回することになるので走行距離は100キロを優に超える。

源泉口からは熱湯が勢いよく噴き出している。火傷に注意

営林署の方々が造った浴槽と脱衣場。本格的

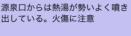
イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

コニファーキャンプ場

瓜幕

うりまく

乗馬やパークゴルフで遊べる道の駅

国道274号沿い、鹿追町瓜幕にある道の駅うりまく。「しかおい」に続く町内2番目の道の駅として2005年にオープン。

フードコーナーでは地元産のそば粉を使ったそばや十勝ホワイトコーヒー、肉じゃがまんじゅうなどが人気だ。

畜産加工品から農産物、オショロコマ（川魚）、木工品や馬グッズまで、土産物も豊富で目移りしてしまう。

周辺には広い畑、防風林。遠くに日高の山並が。少し歩くと実に北海道らしい風景を満喫することができる。

2キロほど南に第5戦車大隊が駐屯する陸上自衛隊鹿追駐屯地があるため、「戦車横断注意」なる看板も立てられている。

道の駅では乗馬が楽しめるほかパークゴルフ場まで

付近は『北海道』という言葉からまさに連想する景色が

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

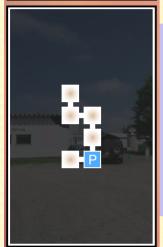
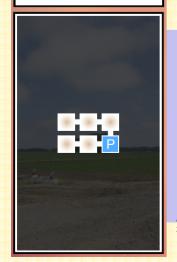
あり

対応キャンプ地

士幌高原キャンプ場

想いやりファーム

おもいやりふぁーむ

うまい牛乳でつくったソフトクリームはうまい

国内では限られた数ケ所で製造される特別牛乳。中でも無殺菌生乳は、ここ中札内村にある酪農牧場、想いやりファームでのみ製造されている逸品だ。

以前は「中札内レディースファーム」という名称だったが、２００８年に改名されている。

無農薬・無肥料・無配合飼料を使用し、約60頭と意外なほど少ない牛たちを一頭一頭大切に飼育している。

非加熱非加圧の生乳は、ファーム内売店で飲むことができる。その美味しさは是非体験してほしい。また想いやり生乳100％で作られたソフトクリームも絶品だ。

国内唯一の無殺菌生乳を飲むと乳の世界観が変わる

人懐っこい牛たちがのびのびと放牧されている

出現条件
小夜ルートでは11日目、それ以外では４（または６、９）日目に出現

イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
札内川園地キャンプ場

更別

さらべつ

１戸平均トラクター４台。大規模農業の村

十勝平野南部、帯広市南隣の更別村は、古くから大規模機械化農業が推進され、１戸あたりの耕地面積43㌶は十勝管内１位。

じゃがいも、小麦、甜菜、スイートコーンなどが輪作により効率よく生産されている。

畜産も盛んで、町全体の農業産出額の合計は、年間100億円にも及ぶという。

ジャガイモを原料としたでんぷん（片栗粉）も名産だ。

本編イベントではでんぷん工場にIターン就職する関西出身中年男性のストーリーが語られているが、道内では現在も移住者のため様々な援助や住宅等の準備をしている自治体も多く、更別村も例外ではない。

トラクターがコトコトと行き交う。さすが北海道ならではの規模

広い畑と一直線の防風林。これぞ北海道だ

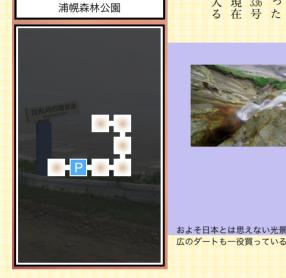
イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
札内川園地キャンプ場

昆布刈石

こんぶかりいし

曇天も似合う、荒涼とした海岸線

浦幌町の太平洋岸。海岸段丘の高台の上をダート道が走る。ここが昆布刈石海岸だ。

展望台から望む太平洋と断崖が続く海岸は、高い植生に乏しく荒涼という言葉がよく似合う。ところどころ地すべりで崩落しているダート道も一役買っているのだろう。

黄金の滝へは、展望台から約1キロ。段丘上から海に向かって流れ落ちるこの滝の名称は、断崖の岩層色から。滑りやすい上に防護柵はないので、足元には注意を。

つい最近までは主要道だったこのダート、内陸側に国道336号が開通したため車の往来は現在ほぼない。国道から脇道に入る形でのアクセスとなる。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

浦幌森林公園

硬い岩がむき出しで滑りやすい。一歩誤れば滑落死間違いなし

およそ日本とは思えない光景。幅広のダートも一役買っている

拡張　PSV

狩勝峠

かりかちとうげ

絶景を誇る古きよき峠

その名の通り、石狩國と十勝國に跨がる峠だ。道央と道東を結ぶ最も古い国道である38号は昭和初期に建設された。JR根室本線も近いルートで山を越えており、狩勝峠の名は鉄道建設調査時に田辺朔郎（さくろう）により命名。

札幌方面から十勝・釧路方面を一般道で目指すには、昭和40年開通の国道274号が最短だが、日勝峠越えは険しく、特に冬季には緩やかな狩勝峠が重宝されている。

昨今、主要道の峠越えはトンネルを使用することがほとんどだ。しかしここはそうではない。まさしく峠の『真上』に立つことができ、石狩側も十勝側も見下ろせる。十勝平野を望む景色は日本新八景。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

かなやま湖畔キャンプ場

狩勝峠は絶景の代名詞として当時の人々に知れ渡った

この峠の切り拓きこそが、近代北海道発展の礎となった

拡張

鹿追
しかおい

自衛隊駐屯地がある十勝北部の町

鹿追町は南北に長く、その中心部は十勝平野北西端にある南部の平地にある。北部は大雪山国立公園の一部となる山岳地域だ。

散策の拠点、道の駅『しかおい』が位置するのは役場の近く。町内にもうひとつある道の駅『うりまく』はここから10㌔ほど北だ。

鹿追の語源はアイヌ語だが、音写ではなく〝クテクウシ（鹿の猟場）〟からの意訳による。陸上自衛隊の鹿追駐屯地があることでも有名だ。

本編に登場する『卵の自動販売機』は道の駅から2㌔ほど北の国道274号沿いにある。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
士幌高原キャンプ場

広い平野にどこまでも続いていく畑の姿は、まさに十勝

贅沢な産みたてを買える珍しい自販機はまさに卵のコインロッカー

PSV

扇が原展望台
おうぎがはらてんぼうだい

十勝でも異色の展望台

十勝周辺、特に大雪山系が迫る平野部北端には、展望台が数多い。道道85号を然別方面に少し登った扇が原展望台も、ナイタイや士幌高原などに知名度では劣るものの、十勝平野を眺める絶好のロケーションだ。

山地から河川で運ばれた土砂が平野入口で堆積して形成された扇状地上に立地しており、地盤が傾斜しているのがわかる。

特徴的なのが、眼下に広がるのが十勝特有の農地ではなく、原生林ということ。この一帯は、鹿追駐屯地管理下にある、陸上自衛隊然別演習場なのだ。

迫撃砲や戦車の射撃訓練などに使用されており、取材当日も軍用車両のそばに演習中を示す赤い旗が立てられていた。

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
士幌高原キャンプ場

付近では演習に使われる軍用車輌をしばしば見かける

かなりの傾斜地に設けられている展望台だ

東雲湖

しののめこ

然別湖から徒歩で向かう秘湖

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

士幌高原キャンプ場

北海道三大秘湖には二説あるが、その両方に名を連ねるのがこの東雲湖だ。直接アプローチする道路はなく、西側にある然別湖から山道を歩いて目指すことになる。

道道85号の旧道が然別湖の最南端に出るあたりから、湖の南岸沿いに東へと入る。然別湖の眺望も楽しめるので、休憩しながらゆっくり進めばよい。

途中然別湖に別れを告げ、森の中を登った先が東雲湖だ。人工の散策路すらない手つかずの自然。静寂のなかに佇む群青の沼をみていると、まるで時が止まったかのような感覚になる。

いずれは枯れたアシの堆積で湿原へと姿を変えるこの秘湖を、今のうちに堪能しておこう。

アクセスはさほど苦もないが足元は悪いので注意しよう

秘湖を独占する贅沢は、辿り着いた者のみが味わえる

豊岡展望台

とよおかてんぼうだい

〝一服〟に最適なこぢんまりとした展望台

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

士幌高原キャンプ場

士幌の市街をバイパスして上士幌と鹿追を結ぶ道道337号は、上士幌ゴルフ場の南あたりで直角に折れ曲がる。どちらから来ても上り坂の終点になるこの角を目標に行けば、迷うことはないだろう。豊岡見晴し台駐車公園が正式名称。

ちょうど北にあるナイタイ高原牧場に代表されるように、この近辺には十勝平野を望む名所がいくつもある。比較的知られていないであろうこの豊岡展望台、標高はナイタイよりかなり低いが、そのぶん全く違う表情を見せてくれる。

目の前に広がるジャガイモ畑を見ながら缶コーヒーで一服するのは最高の気分だろう。

周辺は喧噪とは無縁、アクセスする道道も快走路だ

トイレ休憩ついでに良好な見晴らしを堪能できるラッキースポット

タウシュベツ展望台

たうしゅべつてんぼうだい

隠

手軽に１１連アーチ橋の姿を

拡張

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

糠平キャンプ場

旧国鉄士幌線の遺構、タウシュベツ橋梁へアクセスする林道は、走行に許可が必要。そこで手軽に橋梁の姿を見られるよう、対岸の国道273号近くに設けられた展望台だ。

国道そばの駐車場から、200㍍ほど原始林の散策路を歩けば、季節により姿を現したり隠したりする11連アーチ橋の姿を見ることができる。原則として水位は夏高く、冬は低く橋梁が大きく姿を現す。

途中、散策路と交わる旧士幌線の線路跡も見どころだ。こちらはダム建設により水没したタウシュベツ橋梁などに代わり新設された線路だが、その後わずか20年ほどでバス代行化が実施されてしまった。

完全水没することもあれば橋脚下部まで露出することもある幻の橋

森の中へささやかに設置されたスペースは居心地がよい

幌加

ほろか

隠

自然へと還りつつある遺構

拡張

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

糠平キャンプ場

十勝から上川へ。大雪山へ分け入る国道273号糠平国道は、十勝三股まで旧士幌線とほぼ同じルートを辿っている。現在、開発局の除雪ステーションが置かれているあたりが、幌加駅跡だ。

旧士幌線はダムで有名な糠平の次駅が幌加、そして終点十勝三股となるが、駅間はそれぞれ12㌔、7㌔と距離がある。

幌加駅も十勝三股駅と同じく林業を支える拠点として使用され、広大な敷地に木材があふれていたそうだ。現在は周辺に民家もなくなり、往時の面影はどこにもない。緑に埋もれ自然に還ろうとしているプラットホームの姿が印象的だ。

第五音更川橋梁へは北へ500㍍ほど。

周辺は北海道遺産の密集地域だ

緑の中に埋もれていく遺構は、異世界に迷い込んだ感覚を与える

陸別

りくべつ

日本一寒い町で、列車運転

十勝管内北東端にある陸別町は1月の平均気温が富士山を除くアメダスで最も低く『日本一寒い町』として知られる。山に囲まれた盆地にあるため寒暖の差が非常に激しく、夏は30℃を超えることも。町のウェブサイトにも『峻烈な四季のまち』というコピーがあるほどだ。

帯広（池田）から陸別を経て北見へと至る池北線は、第三セクター化の後、2006年廃線。現在ではその跡を利用し『ふるさと銀河線りくべつ鉄道』なるユニークな営業がなされている。線路も気動車も、実際に使われていた本物で体験運転ができるというものだ。コースにより予約の有無など異なるので事前に問い合わせておこう。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

阿寒湖畔キャンプ場

実際の列車を運転体験できる機会は、そうそうあるものではない

夏場は30℃、そして冬場はマイナス30℃、過酷な環境だ

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 十勝

コラム

語り：椎名建矢 監督

ほっぽうけんぶんろく　とかち

このエリアは……

これぞ北海道の原風景である――そう感じられるのがここ十勝です。走っていると、「そうそう俺が見たかったのはこれだよ！」と思うは必定。

ただっ広い大地、どこまでも続くかのような直線道路、一直線の防風林、大規模な畑や酪農……多くの人が北海道と聞いてまず連想するものが、ここには揃っています。

北海道全14地域の中で最も多くのスポットが収録されています。

リコメンドポイント

十勝はおすすめスポットが多くて……厳選が難しいですね。

走るなら三国峠が好きです。正確には三国峠というスポットではなく三国峠の道全体ですね。上川方面から来るのがおすすめです。峠のトンネルを抜けてハンドルを切ると景色が開かれます。原生林と松見大橋の組合せは鉄板。ほかにも然別湖の南側にある白樺峠南行きもおすすめ。険しい山道を走り抜け峠を越えた瞬間、山と山の合間からチラッと顔を出す十勝平野が絶品です。

グルメ方面なら想いやりファームの生乳とソフトクリームは外せませんね。帯広も近いですから豚丼を食べておやつにソフトクリームとかどうでしょう？

温泉は収録した全箇所（オソウシ含め）がおすすめ。ただしほとんどダートなので無理は禁物。

こぼれ話

タウシュベツ橋梁の取材を終えて林道を走っていると、目の前数十㍍ほどの場所を羆が突然横断しました。こちらはダートですからゆっくり走っていたので衝突とか事故とかは心配なかったんですが、何の予兆もなくいきなり姿を現したことにはびっくり。大きな体躯からは想像できないほどひょいひょいと身軽な動きで林の中に消えていきました。

釧路管内

道東の流通を一手に担う釧路港を筆頭として漁業・酪農・工業・商業・観光など第一次から第三次まで幅広い産業を持つ。特に観光面では北部に高い密度で資源が集積しており、釧路湿原とともに一大観光地域として有名。しかし秘境の側面も併せ持ち、訪れる人を飽きさせない。

振興局所在地：釧路市

❶ 摩周駅
❷ 阿寒湖
❸ 和琴半島
❹ 藻琴山展望台
❺ 摩周第三展望台
❻ 細岡展望台
❼ 尻羽岬
⑧ シュンクシタカラ湖
⑨ キンムトー
⑩ 摩周第二展望台
⑪ キラコタン岬
⑫ 岩保木水門
⑬ 仙鳳趾
⑭ コッタロ展望台
⑮ 二本松展望台
⑯ 霧多布湿原
⓱ 摩周第一展望台
⑱ 摩周第四展望台
⑲ 北太平洋シーサイドライン

摩周駅

ましゅうえき

駅弁「摩周の豚丼」も忘れずに

釧網本線は、網走駅と東釧路駅を結ぶJRの地方交通線。北海道には「本線」と名のつく地方交通線（幹線と区別され料金が割高）が目立つが、いたしかたないところ。

列車運行上は、東釧路から根室本線でひとつ西の釧路駅が始発駅だ。摩周駅へは釧路から快速で1時間15分。1990年に弟子屈（てしかが）駅から改称された際に三角屋根の駅舎が新築された。

町内中心部へも近く、町役場まで徒歩5分。100年以上の歴史を持つ摩周温泉も徒歩圏内だ。

本編にも登場する足湯「ぽっぽゆ」は、改札の外にあるので誰でも利用可。もちろん無料だ。駅舎内には飲泉所も設置されている。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島キャンプ場

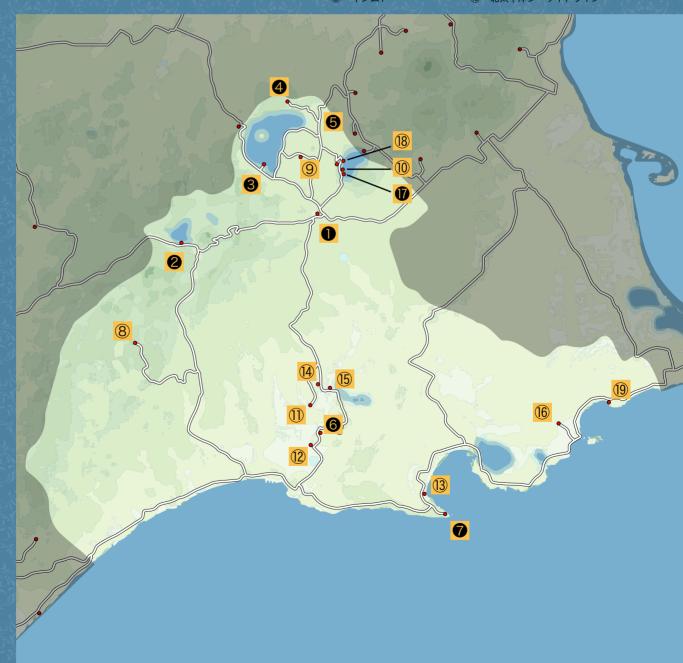
弟子屈は温泉の宝庫。無料の足湯でツーリングの疲れを癒そう

駅のすぐそばでは摩周の豚丼というグルメが味わえる

阿寒湖

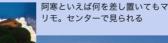
あかんこ

無料の施設だけでも楽しさ満載

その名の通り阿寒国立公園内にある、道東の代表的な観光地だ。2005年の合併により、現在は釧路市内に所在している。

雄阿寒岳を背景にした湖の雄大な景観はもちろん、遊覧船、アイヌコタン、四季を通じてしめる釣りなど、観光資源の宝庫だ。阿寒湖温泉の温泉街や土産物店も賑わっている。

しかし阿寒湖の名を全国に知らしめたMVPはやはり、特別天然記念物のマリモだろう。

本編でも探訪するエコミュージアムセンターでは、マリモの水槽展示の他、阿寒の自然について資料が豊富に揃う。

ミュージアム裏手の「ボッケ（泥火山）遊歩道」は、必ず押さえておきたい。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

阿寒湖畔キャンプ場

阿寒といえば何を差し置いてもマリモ。センターで見られる

湖畔からの雄阿寒岳は堂々たる風格を見せる

和琴半島

わことはんとう

初代風雨来記の印象も強烈な、湖畔の絶景野営場

屈斜路湖内に陸繋島のような形で突き出ているのが和琴半島。湖畔のキャンプ場は半島の付け根にある。

神秘的な湖が目の前、周辺各地への良好なアクセス、そして温泉と三拍子揃うこのキャンプ場。ベースキャンプとして使用するライダー・キャンパーが非常に多い。当然シーズン中は混み合うので、よい場所を確保するなら早めに到着しよう。

本編で紹介しきれなかった野湯もあるので、散策と合わせてゆっくりと堪能してほしい。

半島先端にあるオヤコツ地獄では熱湯が湧いており、湖水と調整すれば野湯を楽しむ事もできる。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

オヤコツ地獄では常に湯煙が。場所によって湖水の色も変わる

半島付け根の外湯。現在は生け垣で囲いがしてある

藻琴山展望台

もことやまてんぼうだい

屈斜路展望の穴場。霧が出やすいので注意

巨大なカルデラ湖である屈斜路湖を取り囲む外輪山には、湖を見下ろすいくつかの展望台が設置されている。

なかでも最も知られるのは国道243号の美幌峠、次いで道道588号の津別峠であろう。

今回訪れた藻琴山展望駐車公園は屈斜路湖の真北の方角にあり、西側から見る美幌・津別とはひと味違った屈斜路湖の姿を楽しむことができる。

国道391号摩周国道、川湯の北側を道道102号に入り5㌔ほど。本編では仕様上ここで突き当たりになっている道道102号だが、実際には藻琴峠を越えオホーツク海岸の網走市藻琴まで抜けている。

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

初回探訪時は数m先すら真っ白。実際走るには恐怖の濃霧だ

有名な屈斜路湖も見る角度が違うととても新鮮に映る

摩周第三展望台

ましゅうだいさんてんぼうだい

摩周湖も屈斜路湖も見下ろせる贅沢展望台

摩周湖西岸の道道52号沿い、最も集客力のある摩周第一展望台の3㌔ほど北にあり、比較的訪れる人は少なめ。いくつかある摩周湖の展望台のうち、最も高い位置にある。

目の前に広がる摩周湖、対岸に摩周岳とその剥き出しの断崖。湖にポツンと浮かぶ島カムイッシュ。摩周湖の要素全てを満喫できる。

また、摩周湖とは逆側、弟子屈の街や硫黄山、屈斜路湖まで見渡せる贅沢な立地でもある。運がよければオホーツク海まで見通すことができるという。

余談だが、この摩周湖には流入・流出の河川がないため、法的には湖でなく水たまりとされているそうだ。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

摩周第三の魅力は摩周湖だけでなく反対側の眺望にもある

摩周湖の美しさを余すところなく味わえる

細岡展望台

ほそおかてんぼうだい

釧路湿原ナンバーワンスポット

北海道にある六つの国立公園のひとつ、釧路湿原国立公園。釧路湿原は日本最大の湿原でタンチョウの繁殖地でもある。

細岡展望台はその東端に位置し、広大な湿原を蛇行する釧路川、正面に宮島岬やキラコタン岬、阿寒の山々まで望める釧路湿原でも代表的な展望台だ。

国道391号から西へ、達古武沼の南側を抜ける道に入って5㌔ほど。

釧網本線の遠矢～細岡間、1988年観光用に開業した釧路湿原駅からも徒歩10分。

ここから見る夕日は素晴らしいと評判だ。スケジュールが合えば夕刻に訪れてみたい。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

塘路元村キャンプ場

蛇行する川とともに岩保木水門も視認できる

目に入り切らないパノラマでだだっ広い湿原が飛び込んでくる

尻羽岬

しれぱみさき

素晴らしい眺望をひとり占め

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

霧多布岬キャンプ場

空・海・草原の織りなす牧歌的な景観が素晴らしい。取材当日の天候に恵まれたことも手伝って、ここで撮られた写真の美しさは本編中でも際立つ。

主要幹線道路から離れており、ダートを5㌔ほど走った駐車場からも結構な距離があるため、観光客はまずいない。

左に厚岸湾、正面に大黒島、右に太平洋が見える岬へは片道20分。天気のよい日は絶好の散策ルートとなる。

帆掛岩には、日高から逃げてきた義経の船が座礁して岩になったという伝説が残る。

岬のみならず周辺は読み難い当て字が多い。岬の所在地は去来牛、そのほか入境学、浦雲泊など最難読地名のオンパレード。

義経伝説の岩に荒波がかかる。その上にはぽつんと鳥居も

滅多に人はこない。全てを独り占めだ。先端からは厚岸の街も

シュンクシタカラ湖

しゅんくしたからこ

国内最後に発見された幻の湖

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

阿寒湖畔キャンプ場

Vita版

PC版

シュンクシタカラ湖は人工衛星により1970年代「国内最後に」発見されたと謂われがある。それが事実かどうかはさておくとして、道内でも最も秘境にある湖のひとつだ。

国道240号から274号へ折れてすぐの布伏内からシュンクシタカラ林道を20㌔以上登っていく。

PC版では残念ながら道路状況が悪く湖まで到達できない。VITA版は再取材によって探訪できるようになり、PC版で崩落していた箇所が脇見ポイントとして収録されている。

こぢんまりした落ち着ける秘湖だが、ここは大自然の最奥地。もちろん携帯は通じず訪れる人も皆無と言って差し支えない。無理は絶対に禁物だ。

PC版は斜面が盛大に地滑りしていて通れない

人の手が一切入っていない静かな秘境だ。自らとの対話に最適

キンムトー

きんむとー

静かな沼と火山孔を併せて楽しめる

屈斜路湖東岸を走る道道52号と国道391号を結ぶ、池の湯林道沿い。硫黄山の南側に広がる原始林の中に佇む秘沼で、別名の沼湯・湯沼が示すとおり以前は温泉も湧いていたそうだ。

流入する河川はなく、雪解け水が溜まった沼。周囲をシダの生い茂る原始林に囲まれ、静寂そのもの。

人の手が入らないこの森は動植物の宝庫。鹿も水浴びに来るというが、当然羆も出るので注意が必要だ。

林道の反対側には、ポッケ（泥火山）や第二硫黄山と名づけられた場所があり、火山活動を間近に観察することができる。

川湯から片道7キロの散策路もある。

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

沼すぐ近くの第二硫黄山。今なお有毒の噴気を出す

辺りは、時が止まったかと錯覚するほどの静寂が包む

摩周第二展望台

ましゅうだいにてんぼうだい

幻の展望台で摩周湖を独占

第一と第三があるのになぜ第二はないのだろう？　摩周湖を訪れた者が必ず抱く疑問ではないだろうか。

戦前、摩周湖の外輪山を縦走する山道がつくられた。その道の途中、第一展望台と第三展望台の間に素晴らしい場所があると写真家の間で評判になり、第二展望台と呼ばれたのだ。

展望台として建設、整備されたわけではないので、案内などは皆無。非常にわかりづらい。

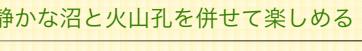
しかしそこからの摩周湖は、人工物に全く邪魔されない独特のもの。悪路を歩いた苦労を忘れさせてくれる。

獣道の入口は道道52号を第三から南へ向かい、31キロポストを目安に探すとよい。

イベント

なぎさ 小夜 泉 明里

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

獣道に分け入る。付近に駐車場はないので第三から歩こう

摩周第三を遥かに凌駕する最高の摩周湖ビューポイントだ

出現条件

摩周第三展望台を二度巡り再度訪れるとアンロック

キラコタン岬

きらこたんみさき

湿原最深部にせり出した〝元〟岬

釧路湿原一帯はかつて浅い海に覆われていた。キラコタンはその当時「岬だった」場所だ。縄文海進の時代だから、たった6000年前のことである。

海面の下降により陸地となった釧路湿原は当然全体的に標高が低く、およそ2〜10㍍。

湿原を見るには絶好のポイントだが、天然記念物指定区域なので立入に文化庁の許可が必要。詳細は鶴居（つるい）村の教育委員会へ。

シラカバやミズナラに囲まれた森の道を抜け岬の先端まで歩けば、緑の大湿原が視界に飛び込んでくる。

激しく蛇行と枝分かれを繰り返しながら目の前をゆったり流れるのは、釧路川水系のチルワツナイ川だ。

イベント

駐車場イベント

なし

対応キャンプ地

塘路元村キャンプ場

湿原をΩの形に蛇行する川。これが時を経て三日月湖となる

簡単には訪れられない高台の木々の合間から眺める湿原は絶品

出現条件

細岡展望台と岩保木水門を探訪するとアンロック

岩保木水門

いわぼっきすいもん

釧路治水の歴史を伝える木造建築

度々氾濫に悩まされてきた釧路川だが、大正の洪水後、大規模な治水工事を実施。太平洋まで新水路（新釧路川）が掘削され、（旧）釧路川と仕切るために建設されたのが岩保木水門だ。

上部木造構造物がユニークな水門は1931年竣工、一度も開くことなく運用を終了したが、釧路湿原開拓史の遺産として保存されている。現在は上流部にある新水門を使用。

周辺は観光地として公園も整備され、水門からは釧路湿原を一望することができる。

カヌーの発着場にもなっており、細岡経由で塘路湖までが標準的なコース。

国道391号遠矢駅付近を北西方向、釧網本線沿いに直進。

イベント

なぎさ 小夜 泉 明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

塘路元村キャンプ場

P

旧水門と新水門の間は小池のようになっている

水門として稼働することはなかったが貴重な遺構だ

仙鳳趾

せんぽうし

食べすぎ注意、絶品のブランド牡蠣

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

霧多布岬キャンプ場

厚岸湾の西部、尻羽岬側の湾内にある、静かな漁村が仙鳳趾だ。

仙鳳趾の語源はアイヌ語で「小魚・ニシンの沸くところ」昔は地曳網によるニシン漁が大変盛んだったという。

近年では牡蠣の産地として全国的に知られ、今やブランドといってよいだろう。潮流が強く、栄養豊富な仙鳳趾の海で養殖された牡蠣は、殻に対して身が大きく、甘みとコクが特徴。

釧路寄りの太平洋側、初代風雨来記に登場した昆布森にある漁協の管理下にあり、仙鳳趾でとれた昆布も昆布森産として扱われている。

国道44号尾幌（おぼろ）駅から道道142号を南下すればすぐ。

昆布漁も盛ん。クレーンでトラックへ積み替える光景は壮観

こぢんまりとした静かな漁村に、牡蠣を洗う水音が響く

コッタロ展望台

こったろてんぼうだい

拡張

まるで湿原のジオラマのよう

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

塘路元村キャンプ場

釧路湿原国立公園の最奥部にある低層湿地帯、コッタロ湿原を見下ろす、標高80㍍ほどの高さにある展望台。

眼下に蛇行する釧路川をはじめ、湿原を構成する様々な要素を目の当たりにすることができる。湿原の規模は大きいものではないが、視界が広く展望台の高さも絶妙で、いかにも湿原というバランスのとれた構図だ。

国道391号から道道1060号クチョロ原野塘路線に入り7㌔ほど、ダートから舗装路に変わるあたりに広い駐車場がある。

200段を超える長い階段を登った先に、絶景が待っている。他にも第二・第三展望地が設置されているが、眺望はここ第一展望台が一番。

見上げては気が遠くなるので足元を見ながら登るとよし

湿原『らしさ』を感じられる点では随一のスポット

拡張

二本松展望台

にほんまつてんぼうだい

釧路湿原を臨む穴場展望〝丘〟

イベント
なぎさ・小夜・泉・明里
駐車場イベント
なし
対応キャンプ地
塘路元村キャンプ場

釧路湿原の北東部、国道391号塘路湖付近から道道1060号を西へ1・5キロほど、ダート道のそばにある何の変哲もない場所。ここは整備された展望台ではなく、知る人ぞ知るただの〝丘〟だ。広場から斜面を歩いて登るが、広場脇に丘の上まで延びる林道があるので、状況がよければそれを使うとよい。

アプローチの地盤は悪い。斜度もあるうえ砂地で滑りやすいので、十分注意しながら進もう。見晴しのよい場所まで登れば、釧路湿原の雄大な姿が行程の苦労をねぎらってくれる。

蛇行して流れる川と緑の絨毯、左右からせり出した台地。太古の昔海であったことを容易にイメージできる大パノラマだ。

砂地の急斜面はとても不安定、無理は禁物だ

海の方角へ向かって湿原を眺められる数少ない場所

出現条件
コッタロ展望台を三度訪れるとアンロック

拡張　PSV

霧多布湿原

きりたっぷしつげん

コーヒーを飲みながら湿原を？

イベント
なぎさ・小夜・泉・明里
駐車場イベント
あり
対応キャンプ地
霧多布岬キャンプ場

霧多布岬やアゼチの岬、浜中町の中心街などがある霧多布半島の付け根、本土側に広がっている湿原だ。

海岸線から道道808号・通称湿原道路に入れば両側は全て湿原。3キロほどで霧多布湿原センターに到着する。

周辺にはトレイルが設置されており、散策しながら湿原を間近に観察できるほか、館内の展示や資料も充実しているので必見だ。湿原を一望するカフェテリアも併設されている。

本編2回目の探訪で体験できる『浜中うまいもん市』は毎年7月に開催されており、地元の新鮮な時知らずやカニ・カキを安価で味わえる。会場は海岸沿いの琵琶瀬地区だ。

湿原センターのカフェでツーリングの休憩を取るのもよい

アシの平原には、静かな時間が流れる

摩周第一展望台

ましゅうだいいちてんぼうだい

賑わいを見せる摩周観光の中心地

摩周湖周辺に数ある展望台のうち、摩周観光の拠点となる弟子屈から最も近く、設備が充実しているのが第一展望台だ。

大型観光バスも収容可能な広い駐車場を持ち、大きなレストハウス内には売店や飲食処が充実。スロープやトイレなどバリアフリー化も進んでいる。

展望台から眺める摩周湖は、正面に摩周岳（カムイヌプリ）と中島（カムイシュ）。そして遠く根釧台地まで視界にとらえることができる。

摩周湖の表玄関ともいえるこの展望台。冬季も弟子屈市街からここまでは除雪され、路線バスも運行されている。駐車場はバイク含め有料。

レストハウス内には売店や休憩スペースがあり常に混み合う

摩周湖で最も有名な展望ポイント
緑と蒼のコントラストが美しい

イベント

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
和琴半島湖畔キャンプ場

拡張

摩周第四展望台

ましゅうだいよんてんぼうだい

穴場中の穴場〝第四〟の展望台

第四展望台というのは通称。正式に展望台として開設されているのは、摩周第一・第三、そして裏摩周展望台のみである。

摩周湖の西に沿う道道52号は、カルデラ湖を形成する外輪山の外側を走っている。道道の東側、つまり湖側にある稜線上に、南から第一～第四の順に並んでいることになる。

この第四展望台、入口は非常に見つけづらいものの、道からはものの10㍍。僅かな時間で、視界を遮るものが何もない雄大な摩周湖の構図を手に入れることができる。

第三展望台から600㍍ほど北上、道道の29キロポストが目安。もちろん駐車場などない。第三に停め、歩いて向かうべし。

よく探さなければ見つけられない
踏み跡

自分だけの摩周湖を手中に収められる

出現条件
摩周第一展望台を三度訪れるとアンロック

隠

イベント

駐車場イベント
なし

対応キャンプ地
和琴半島湖畔キャンプ場

北太平洋シーサイドライン 隠

きたたいへいようしーさいどらいん

霧多布（半）島を臨む駐車公園

イベント

なぎさ　小夜　泉　明里

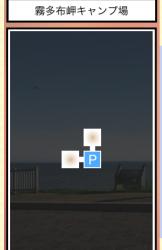
駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

霧多布岬キャンプ場

釧路から根室へ。海沿いを走る道道142号は北太平洋シーサイドラインと呼ばれる快走路。今回訪れたのは浜中湾の最北部、浜中町羨古丹（うらやこたん）にある小さな駐車公園だ。

正面に、太平洋へ突き出したテーブル状の霧多布半島が見えるが、半島の付け根で、陸地が途切れているのがわかる。〝半島〟とはいえ、実際には橋で海を渡る〝島〟なのだ。役場をはじめ浜中町の中心街が海を隔てたこの〝島〟にあるのは興味深い。

釧路・根室間を結ぶ陸路の大動脈は、内陸側の国道44号。海沿いの道道142号は風光明媚で美味いものの宝庫だが、距離はだいぶ長くなるので、日程に余裕をもって走りたい。

見事な縞模様の地層が露出する

風雨に侵食されたなだらかな海岸線が特徴的

コラム

語り：椎名建矢 監督

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 釧路

ほっぽうけんぶんろく　くしろ

このエリアは……

見所が高密度に集結しているのがポイントですね。特に阿寒＋弟子屈、そして釧路（標茶南部を含む）の地域は北海道を代表するネームバリューがある場所だと思います。

阿寒湖から横断道路を越えて摩周湖や屈斜路湖へ。この辺りのルートは定番中の定番と言ってよいでしょう。

和琴半島は、自分が道東へ行くとき必ず立ち寄る（またはベースにする）キャンプ地です。付近には数多くのスポットがあり廻るのにとても便利ですし、温泉も実にグッド。風雨来記シリーズファンの方も、和琴の温泉にはよく探訪されるみたいですね。内湯の旅ノートには、かつて自分が書いたメッセージがまだ残っているようです。みなさんも是非書いてみては。

リコメンドポイント

海産物も陸産物も、あらゆる食べ物がうまい！これは地域に良質な各種産物があることに加え、釧路が道東の流通の中心地となっている恩恵も大きいでしょう。

標茶の方では牛肉がブランドものになっていますし、厚岸・仙鳳趾の牡蠣は言わずもがな、釧路特産の氷下魚（こまい）も要チェックです。氷下魚は北海道以外ではほとんど知られていない小さな魚で、地元釧路では一夜干しにしたものを軽く炙り、マヨネーズをつけて食すのが一般的です。酒のお供にもピッタリ。

食べ物の話ばかりでスポットに言及してませんね。キラコタンと摩周第二はどうしても収録したかった場所です。前者は立ち入るのに許可が必要なためゲーム内で気軽に訪れてほしかったこと。後者は、北海道常連ライダーにすらあまり知られていない最高の摩周湖ビュースポットがあるんだよということを紹介したかったのです。（風雨来記初代にないものをという想いもありました）

根室管内

本来は択捉島まで含まれているものの、実質的な最東端納沙布岬を擁する根室管内は、広い台地による酪農が盛んであり、特に大規模営農では十勝地方を凌駕している。また根室海峡の恵まれた水資源により漁業も根室浅蜊や羅臼昆布が有名。北部は山がちで種々の温泉が湧く。

振興局所在地：根室市

からまつの湯

からまつのゆ

入門に最適、とても利用しやすい野湯

中標津町養老牛、標津川上流バウシベツ川のほとりにある野湯だ。アクセスも簡単で管理も行き届いているので、初心者には最適だろう。

　からまつ材でできた脱衣場が完備されており、砂利の敷かれた5〜6人ほど入れる浴槽は、非常に清潔に保たれている。保守管理をしている地元有志の方に感謝して入浴を。

　そばにある源泉は80度以上と高温。川の水で適温に調節されているが、浴槽の場所により湯温が異なるのでお好みのポジションで楽しもう。

　温泉宿が並ぶ養老牛温泉街から道道505号で2㌔ほど。露天風呂は駐車場の目の前だ。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

和琴半島湖畔キャンプ場

囲いには「いい旅いい風呂いい仲間」というキャッチフレーズが

バイクを降りればもうすぐそこが浴場。沢音を肴に湯浴みを

開陽台

かいようだい

パッケージにもなったライダーの聖地

中標津市街地から北西に約10㌔、標高270㍍の丘の上にある開陽台は、「地球が丸く見える展望台」だ。

　地平線まで続く根釧台地や知床の山並み、天気がよければ遠く国後や野付半島まで視界に捉えることができる。

　古くからライダーに愛されたこの場所、1995年に現在の展望台が建てられたが、一階部分に展示された旧展望台のメモリアルが心を打つ。

　その眺望とともに多くのライダーを強く惹きつけたのは、開陽台に至る北19号道路。風雨来記3のパッケージにも使用されているので説明は無用だろう。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

緑ヶ丘森林公園

北19号は、ライダーなら誰もが一度は訪れる聖地だ

これほど真っ直ぐな地平線を見られる場所はなかなかない

熊の湯

くまのゆ

知床のど真ん中、利用者も多い野湯

国道334号知床横断道路を羅臼(らうす)から知床峠へと登るその中腹、羅臼川上流の湯ノ沢川沿いに羅臼温泉・熊の湯はある。

男女別の脱衣場が建てられており、地元有志により管理・清掃が行われている。浴槽も男女別にふたつ用意されており、地元の方やキャンパーなど、利用者の多い野湯だ。

国道沿いの駐車場から、いで湯橋を渡ってすぐ。世界自然遺産の指定地域内にあり、川のせせらぎを聞きながらつかる、乳白色のお湯は少々熱めだ。

ゲーム内でも利用する国設の羅臼温泉野営場はすぐそば。羅臼の温泉街は1キロほど下ったところにある。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

羅臼温泉野営場

マナーを守って楽しく心地よい入浴を。ここはプールではない

乳白色の湯は熱め。何度も掛け湯をして身体を慣らしていこう

春国岱

しゅんくにたい

海霧も発生するという、野鳥の宝庫

根室半島の付け根北側、海跡湖の風蓮(ふうれん)湖と根室湾を隔てる、南側から延びた砂州が春国岱だ。風蓮湖とともに２００５年ラムサール条約に登録。

三列の砂丘上にアカエゾマツの林や草原が、またその間に湿地帯。海岸や干潟などを含む多様な環境は、野生動物の宝庫だ。特にタンチョウに代表される野鳥は、300種以上が確認されているとのこと。

１９９５年には春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターが、入り口付近の国道44号そばに開設され、トレイルの整備などが進められている。館内展示も見ておくとよいだろう。

イベント

駐車場イベント

あり

対応キャンプ地

霧多布岬キャンプ場

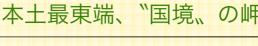
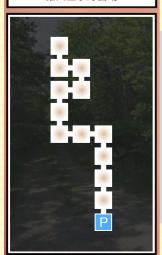
野鳥の宝庫。警戒心が強く、無造作に歩くと飛び立ってしまう

静かに立ち枯れた木々。物悲しい雰囲気が身を包む

納沙布岬

のさっぷみさき

本土最東端、〝国境〟の岬

根室半島の突端にある岬。日本で一般人が到達できる最東端だ。宗谷岬もそうだが、領土の問題が絡むとどうも表現が難しい。

ロシアが管理する灯台の立つ貝殻島までは僅か3・7㌔。岬近辺には北方領土返還を祈念したものをはじめ、様々な施設や建造物が立ち並ぶ。

夏には多くの観光客が訪れ、元旦には日本一早い日の出を見ようと多くの人が詰め掛けるが、南鳥島は除外するにしても、実は小笠原諸島や富士山山頂、犬吠埼のほうが早い。

納沙布岬灯台は、明治5年に完成した北海道最古の灯台。

貝殻島も見られるライブカメラは、ウェブ上で閲覧が可能だ。

返還を祈念する碑が多く建てられ、望まない国境を強く意識させる

納沙布岬灯台、岬の先端、まさにここは最果ての地

駐車場イベント
あり

対応キャンプ地
霧多布岬キャンプ場

薫別温泉

くんべつおんせん

秘湯中の秘湯は、もちろんクマ出没地域

知床半島の付け根、薫別川の上流にある超秘湯だ。道南の金花湯と並び称されるその難易度は、道内最高クラス。

林道を森の奥深くまで進み、通行止めになっているゲートから更に徒歩で4㌔。やぶをこぎ、土砂崩れや倒木を何度も乗越え、道なき道を進む。

二つ目の橋を渡った先から、ロープを伝って急な斜面を降りればようやく到着だ。

湯温は熱めで、薫別川の水を汲んで調節することになる。苦労の末に入る温泉は格別だ。

当然ながら一帯は羆の高密度棲息地。万全に対策をしたうえで、未経験者のみ、ないし単独行は避けた方がよい。

道中には羆の糞がごろごろ転がっている。絶対に無理は禁物

滅多に人は訪れない。バケツやブラシ、藻を掬う網を持参するとよい

出現条件
川又温泉で情報入手後、6日目以降熊の湯を訪れるとアンロック

イベント
なぎさ
小夜
泉
明里

駐車場イベント
なし

対応キャンプ地
羅臼温泉野営場

■特殊スポットおよびVita版での小規模な改良の解説

■ウェーダー？

岩間温泉、そしてヌプントムラウシ温泉の初回探訪時は、「ウェーダーが必要だな」と奥まで散策できない。

この際どこかのスポットで買い物をしなければならないというわけではなく、単純に翌日以降再探訪すればよい。

なお、岩間温泉を探訪済みならヌプントムラウシ温泉初回探訪時のウェーダーイベントは発生せず、その逆もまた然りだ。

■羆対策？

川又温泉を探訪済みで、6日目以降に熊の湯を訪れると薫別温泉がアンロックされることは既に紹介した通りだ。この際、

・熊の湯での情報入手が6日目
・その日のうちに薫別を探訪する

このふたつの条件を満たした場合のみ「羆対策が必要だな」とモノローグが出て奥まで散策できない。

これも右記同様、どこかのスポットで買い物をしなければならないというわけではなく、単純に翌週以降再探訪すればよい。

■道北の秘湖

道北の秘湖カムイト沼の出現条件「シュンクシタカラ湖を含め、神仙沼、シューパロ湖、神の子池、ポロト、湧洞湖、キンムトーのうち5箇所を訪れるとアンロック」は、同一周回時のみ有効だ。

一回目の物語周回時に神仙沼と神の子池、二回目の物語周回時にそれ以外のみっつ、などのように巡ってもカムイト沼は出現しないので注意しよう。

■キャンプへの入り方

移動フェイズでのキャンプへの入り方はPC版もVITA版もほとんど変わりないが、VITA版ではメニューのコマンドを選ぶ以外にも、スポットから出る行動（橙色の矢印）を取った時からもキャンプを選べるようになった。

この際「近辺でキャンプできるのは〇〇だな」と〝どのキャンプ場を使うのか〟が予め明示されるので、PC版のように、画面がいきなり変わりどこへ飛ばされたのか分からず戸惑うことはなくなった。

■時間のかかる演出改良

ツーリング中に脇見をする際の暗転や、記事執筆で写真を選択したときの一枚ごとのズームなど、時間がかかりがちな演出を削り、テンポよく進められるように改良した。

■映像の画質向上

PC版では、映像はあらゆる環境での再生互換性を考慮しMPEG1を使用していたが、VITA版ではMPEG4 AVCが使われている。

ビットレートは半分以下で済むのに画質は劇的に向上しており、さすが技術の進歩を感じられる。

コラム
語り：椎名建矢 監督

北方見聞録 DISCOVER HOKKAIDO 根室

ほっぽうけんぶんろく　ねむろ

このエリアは……

ひとことで表わすなら〝最果ての秘境〟、ですね。納沙布岬は強烈な終末感といいますか終端感といいますか、最果ての地に特有の感情がこれでもかと押し寄せてくる場所です。

開陽台から見る国後、そして標津から羅臼へ向かう道で見る国後……両方とも、この地が果てなのだなという旅愁を禁じ得ない場所です。

管内北部はまさに秘境。薫別温泉は強烈な存在感を放っていますし、羅臼の熊の湯も（知名度高しとはいえ）秘境に抱かれる感覚を得られます。

また羅臼は珍しいネタが水揚げされる港でもあります。メンメ（キンキ）やブドウエビなど稀少かつ高級な海の幸が、目を見張るほどの安さで売られています。

リコメンドポイント

もし、まだ開陽台へ行ったことがないなら是非目指しましょう。あの根釧台地のまっすぐな地平線は一度見たら忘れられません。たいてい、地平線というのは遠くに山なんかがあったりして多少でこぼこに見えるものですが、ここのは違います。まごうことなく真っ直ぐな線なのです。ライダーの聖地、その筆頭に挙げられるのも納得できる場所です。

薫別温泉も個人的には超グッドな場所なのですが、いかんせん難易度がアレなので、慣れた人と一緒に行くのでない限りは、手放しでおすすめはできません。林道が閉じられアクセスの手間が急激に上がったため、最近では話題にのぼることもめっきり少なくなったようです。

こぼれ話

春国岱へ行ったとき、野鳥（たぶんウミネコ？）が橋の欄干に整列しているのを見ようとしたら、ものすごい勢いで脱糞が。すんでのところで避けて危機一髪でした。

物語編

逢沢なぎさ

フェリー上で出会う彼女は、ライダーということもあり北海道を幅広く巡っている。最南端白神岬で出会ったら、あとは海沿いに東を目指していこう。

大まかな流れ

- 出会い　フェリー
- 再会　白神岬
- 鴎島　江差
- 海霧　室蘭
- 息抜きデート　札幌
- なぎさの過去　エンルム岬～翠明橋公園
- 乙女心？　尻羽岬
- タンチョウと自分　春国岱
- なぎさの答え　春国岱
  - 「何も言えない」選択で　なぎさシナリオ終了
- なぎさを待つ　納沙布岬
  - 「もう諦める」選択で　なぎさシナリオ終了
- なぎさの問い　1) 正しくはないと思う　2) 俺にはわからない
- クリオネキャンプ
  - なぎさの問いに１と答えた　バッドエンド
- 二人旅　越川橋梁～能取岬～コムケ
- コムケキャンプ　彼女の決意
- トゥルーエンド　野寒布岬

イベントスケジュール

日	イベント
0 日	出会い　フェリー
1 月	再会　白神岬（1～3）
2 火	鴎島　江差（2～6）
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	
8 月	海霧　室蘭（8～10）
9 火	
10 水	息抜きデート　札幌（10～13）
11 木	
12 金	
13 土	
14 日	
15 月	●なぎさの過去　エンルム岬～翠明橋公園
16 火	
17 水	乙女心？　尻羽岬（17～18）
18 木	
19 金	タンチョウと自分　春国岱（19～20）
20 土	
21 日	
22 月	なぎさの答え　春国岱
23 火	なぎさを待つ　納沙布岬／なぎさの問い
24 水	クリオネキャンプ
25 木	二人旅（25～27）　クリオネ～越川橋梁～クリオネ
26 金	クリオネ～能取岬～コムケ／彼女の決意
27 土	トゥルーエンド　野寒布岬
28 日	

オンナ一人旅

フェリーでの出会い

初めての北海道、鋭明展への挑戦。甲板に出て、遠のいていく大洗の岸壁を見つめていると、少し熱いものがこみ上げてきた。

「ちょ……ちょっと大丈夫ですか？」

慌てて振り向くと、俺より少し年上だろうか、若い女性が心配そうにこちらを見ている。どうやら誤解させてしまったようなので、事情を説明する。初対面なのに随分話しやすい女性だな。

「女の一人旅！」

旅行じゃなく旅と表現するあたり、なんだか俺と似ていて嬉しくなってくる。意気投合してお互い自己紹介。彼女の名は『逢沢なぎさ』23歳。明るくて積極的な印象だ。会って数十分、俺のことは「千尋くん」自分のことは「なっちゃん」と呼びあおうと、話を決めてしまう。

聞けば、初めての北海道では特に細かい予定は決めておらず、ライダーハウスに泊まりながら岬巡りをするという。

翌朝、苫小牧港に上陸して驚いた。なっちゃんのバイクはXJR1300（ペケジェイアール）、姉貴ばりのリッターマシンだった。最南端から岬巡りをスタートする彼女の目が輝いている。

「会えたら会おうね！　いい旅を！」

さて、俺も出発だ。

今にも海に飛び降りそうな顔してたからさ。あはは

MEMO：

船上でなぎさに心配されたのが出会うきっかけ。いったい千尋はどれほどひどい顔をしていたのだろうか。フェリー下船後、彼女とは今後の予定を話す。行き先をしっかり聞いて、３日目までにその場所を目指そう。

すらりとした長身に千尋の目も釘付け

会話に隠されたヒントを見逃すな

はじまりの岬

なっちゃんとの再会は、北海道最南端、白神岬だった。

「下心があるってことかなぁ〜〜？」

と笑いながら俺の肩をバンバン叩くなっちゃん。いいキャラだと思う。新しいマシン、そして北海道の道を心から楽しめているようでなによりだ。

「この誰もいない感じ、あたしは嫌いじゃないけど」

白神岬は襟裳岬なんかにくらべると知名度も低く、とても観光地とはいえない。そんなところが好きなんて、『旅行じゃなくて旅』同様、益々共感できる。ただ明るいだけじゃなく、「心の故郷」なんて言葉も出るくらい、旅に真剣に向き合っている一面も垣間見た。

『この日この時間までにここに着かないといけない！』じゃ旅じゃないじゃん」

気の向くまま色々な海を見て、最後は宗谷岬を目指すというなっちゃん。また会えるといいかな。

俺の仕事

江差で開陽丸を取材していると……

「あら、もしかして、千尋君？」

そういえば、「近くの海」っていってたか。もちろんそう言ったのを覚えてたんだけど。なっちゃんのほうも、満更でもなさそうだ。

『俺はおまえに会いに来たんだぜ、きらーん！』ってした方が女の子は嬉しいものなの！」

グイグイ来るところは相変わらずだ。人のいないここの海が好きだというなっちゃん。

「海水浴場じゃ、客なんだよね」

彼女、生粋の旅人なのかも知れないな。

今さらなんだけど、と前置きして俺がぶら下げたカメラがカッコ悪いという。そうか、取材のことは話していなかったか。

「ありゃーまさかプロだったとはね。ごめんごめん、こりゃ、あたしが恥ずかしいわ」

舌を出すなっちゃんを見ていると俺も自然に笑ってしまう。

なっちゃんは一人っ子。俺も姉貴のことを話した。会ってまだ数日なのに、ずいぶん打ち解けてきたような気がする。

「そのうち、千尋君のテントに泊めてよね」

と俺のことをからかうなっちゃん。東へと向かうという。

海霧の岬

室蘭で一番有名な岬といえば、地球岬。でも俺は事前に仕入れた情報をもとに、祝津展望台へ向かう。そこでなっちゃんと再会したのだ。聞けば、地球岬に行ったものの、その人出と霧のためこちらに転進したのだとか。こんなところで会えるなんて本当に奇遇だ。

海と緑と工場と人がうまく溶け込んでい

こんなすごいレアな光景を目の当たりにできるなんて……

MEMO：
　なぎさと巡る室蘭は、一人旅では行くことのできない特別な場所を探訪する。この祝津展望台は絵鞆半島先端部、白鳥大橋のほど近くにあり、まったく観光地化されていない絶好の穴場だ。

この坂を上っていけば祝津展望台はすぐ

奇跡的な再会。地球岬は一人旅で行ける

る室蘭。そんな俺の言葉を、
「千尋君にははっとさせられるよ」
　と真っ直ぐに褒めてくれる。とてもいい性格だと思う。
　今日の祝津展望台からは、珍しく海霧も見えた。海霧をバックに撮ったなっちゃんの写真。とてもいい一枚だ。
「最高の一枚……だっけ。いい言葉だねー」
　彼女なりの言葉で、ルポライターとしての俺に敬意を表してくれ、興味を持ってくれているなっちゃん。
　俺は、この道を志した理由を話した。
『憧れだった仕事に就けていいですね』とか、あたしは言わないよ」
「そんな甘っちょろいもんじゃないっていうの知ってるから」
　俺には嬉しい言葉だ。なっちゃんはというと仕事を辞めたらしい。どんな仕事だったのかな？

スープカレー

　室蘭でなっちゃんは友人に会いに札幌へ行くといっていた。北一条地下駐車場にバイクを停め、メールでもしようとした矢先、地下街でバッタリ再会だ。
「また会えて嬉しいよ」
　と俺の手を握る。友達からみどころを教えてもらったというなっちゃんと、札幌の街を散策することにした。そういえば、この服装と髪の毛を下ろした姿は、フェリー以来だ。
　喫茶店で面白い話を聞いた。原付でビュンビュン抜かされるのがいやだから中免を取ったとか。それも飛び込みで。親も「いいんじゃない」ってどこまで豪快なんだこの家族。
　ウインドウショッピングなんかしながら、色々話をして、気がつけば夕方になっていた。最後にスープカレーまでご馳走になって……これってデートなのかな、もしかして？

ヌルいガラナ

　エンルム岬の駐車場に、ペケジェイのエンジン音が響いてきた。襟裳岬と迷ったあげくここを選択するのがなっちゃんらしい。
　二人でジグザグに設置されている階段を登り、太平洋と様似の街並みが一望できる展望台で景色を堪能する。
「はぁ〜やっぱりいい海だなぁ。でも、さらばだ！」
　二度と同じ海を訪れないのがなっちゃん流。なっちゃんお気に入りの『ガラナドリンク』を美味しく飲むため、あるところへ二人で向かうことにした。
　翠明橋公園までの併走は初めてだったが、とても走りやすかった。日高の湧き水でガラナを冷やす。一息入れようと入った休憩用の小屋で、異変に遭遇した。
　男性が倒れている。どうしていいのか分からない俺を尻目に、脈をみたり救急車を呼んだり、冷静かつ迅速にことを進めるなっちゃん。
「ばれちゃったかな？　あたしの前の仕事」
　彼女は元看護師だった。
「カッコ悪いとこ見せちゃったから行くね」
　寂しげに立ち去るなっちゃん。何を恥じることがあるんだろうか……

千尋となぎさ

　あれから数日。尻羽岬で出会ったなっちゃんは何事もなかったように明るかった。緑いっぱいの景色の中を岬へと歩いていく。
「もう尻羽岬は近い予感だよ！」
　到着した岬の先端、『尻羽岬』と書かれた看板の前で写真を取り合った。
「ぷはー！　んまい！」
　草原に座りガラナを飲み干すなっちゃんの笑顔が眩しい。天気もよくて会話もはずむ。「乙女心」とか「千尋君が鈍い」とか……え……まさか、俺のことを？　いや、きっとからかってるんだろうな。
　ここでなっちゃんからとんでもない提案が。
「君は『千尋』あたしは『なぎさ』」
　強引に納得させられてしまった。おまけに敬語をやめるようにとの宿題も課せられてしまう。
「もう、千尋・なぎさの仲なんだから、いいじゃん……ね？」

帰りみちは手を繋ぎ寄りそうように歩いた。
「着いちゃったね」
「寂しくなるけど、一旦ここでお別れかな」
寂しくなるのは俺も同じだけど、俺達は旅人。一旦お別れだ。

タンチョウの旅

もう北海道の東端に近い、根室の春国岱になっちゃん、いや、なぎさはいた。ここはタンチョウの生息地として有名な湿地帯だ。タンチョウは日本では留鳥か漂鳥、つまり渡り鳥のような大移動はしない。
「ここのタンチョウは、旅をするのをやめたのか、忘れたのか、どっちなんだろうね」
どうやら、タンチョウの姿を見てなに考え込んでいるようだ。
「もう宿り木を探さなくてもいい……ここが居場所になったんだね」
「こうして旅を終わらせていい場所にたどり着けたのだから、これも一つの幸せの形なのかな」
さっきから俺の感じていたイヤな予感が増幅する。なぎさの表情もいつもとは違う。もしかしたらなぎさはゴールの宗谷岬で『旅を終わらせる』つもりなのか？
「旅を終わらせてもいい場所にたどり着けるのって、本当に幸せなんでしょうか……」
つい出てしまった俺の言葉に、感情を露わにするなぎさ。自分でも混乱していることがわかっているようだ。
「ちょっと考えさせて。タンチョウと話し合ってみる」
俺はその場を去るしかなかった。

旅を終わらせていい場所

早いもので今日から最終週。取材のほうもラストスパートといきたいところだが、なぎさのことが気になる。俺は再び春国岱を訪れた。トレイルを歩いていくと、近寄りがたい表情をしたなぎさが、そこにいた。
「あたし、結構な時間ここにいてさ……ずっとずっと考えて」
なぎさのほうから話しかけてきた。
「最北端まで行かなくても、あたしのゴール見つけちゃった気がするなぁ」
まさか……思いもよらない言葉がまぎさの口からあっけらかんと発せられた。無理に明るくふるまっているのか？
「『旅を終わらせていい場所』に着けるのって、やっぱり幸せなんだよ」
タンチョウに自分の姿を重ねてなぎさが語る。
な、なんだよ、これ。なぎさは、旅人だろ？ こんな答えでいいのか？ 無性に腹が立ってきた。
「そんな答え後悔するに決まってます。自分で決めたゴールに到着する前に出した答えなんて」
「千尋も言うねぇ」
それからは全くの平行線。
「延々と同じ話題ループでくどいよ」
「最後まで走りきろうって言ってるんだ！」
「ほら、また同じ話題」
このままでは埒があかない。明日、納沙布岬で待つとなぎさに言い残して、今日は別れることにした。

ターニングポイント

日本の本土最東端の岬。今日は海風が冷たい。もう何時間待っただろうか。時間と寒さの感覚はとっくに麻痺している。俺の言い方がまずかった……自分を呪いつつバイクのセルに手をかけた時、なぎさは現れた。
「あたしがやられっぱなしみたいで癪だから来ただけよ」
それでも、なぎさがいることが嬉しい。そしてなぎさは、俺の話を冷静に聞いてくれた。最高の一枚のこと、そして俺のかかえる不安。
「自分で決めたゴールに着く前に出した答えは、後悔すると思う。それは挫折の答えだから」
「挫折……か。千尋はホント、痛いところ突いてくるよね」
なぎさは、旅に出た本当の理由を話してくれた。
体が弱かった幼少時代。ナースに憧れて、夢を叶えて……そして親友の死を前に感じた自分の無力さ。この仕事にはつきものの避けられないバッドエンド。

MEMO：物悲しげな目で鳥の群れを見続けるなぎさ。ここでの喧嘩が元で、千尋となぎさの関係は雨降って地固まる。逆に言えば喧嘩しないと、なぎさとの仲は進展しないまま終わってしまう。19日にイベントを発生させた場合20日に春国岱を訪れても特殊なメッセージが出て散策できない。通常の春国岱を探訪したいなら18日までに済ませるか、23日納沙布へ行く前に訪れよう。

あまりにもなぎさらしくない答えに千尋は……

彼女が旅に出た本当の理由を教えてもらえる

ずっとずっと考えて……答えが見つかったよ

「挫折の中で答えを出して病院を辞めた。そして旅に出た。それは間違っていたのかな?」
最愛の親友を亡くして旅に……それが挫折といえるのかどうか、俺には答えが出せなかった。
「わからないよね。まだ、わからなくて当たり前なんだよね」
「あたし、もうちょっと走ってみる」
なぎさの表情が変わった。そうだ。わからないから旅を続けるんだ。なぎさも、俺も。さあ、一緒に走ろう、宗谷岬まで。

最東端からの再スタート

待ち合わせには随分早く集合、美味しい缶コーヒーを飲んでルートの相談。けんかをしたせいで、宿題の「敬語」もすっかりなおってしまっていた。行き先をなぎさに委ねたが、なかなか決まらない。まだ色々な意味で迷いがあって当然か。
能取岬に行く前に、ライダーハウス付きのキャンプ場でゆっくりしていこうと俺から提案し、クリオネに向かうことにした。
3時間ほどかけてクリオネに到着。二人でいることをバックミラーの中に確認しながらの、素晴らしいツーリングだった。
テントを設営し終わると、先着の旅人から宴会の誘いがあった。なぎさに聞いてみると即座にOK。宴席へと向かう。
「あれ? あんたたち付き合ってるんじゃないの?」
酒の入った女性旅人から鋭いツッコミが。
「よく聞いてくれました!」
と乗っかるなぎさ。なんだかまずい展開になってきたぞ……?「堅物男」とまで言われたが、ここは黙って耐えるしかない。
夜も更け宴会も終わりを迎えた。やっと二人きりになって、いい雰囲気になりかけたんだけど、突然鳴ったなぎさの携帯に邪魔されて、今日はおやすみをいうことにした。

憧れのテント泊

能取岬は明日にして、もう一日ここに泊まりたいというのでタンデムで出かけることにした。
愛しい人の重みを感じながらのツーリングは幸せで一杯だった。到着したのは越川橋梁。一度も使われることのなかった、コンクリートの鉄道橋跡だ。途絶えてしまった"道"。それを目にしてもなぎさの表情は変わらない。『旅を終わらせてもいい場所』と言っていた、あの姿はもうない。
奥まで歩くと、プレハブの小屋がある。どうやら温泉のようだ。男女別と知ってがっかりするなぎさだが、ここは入っていくしかあるまい。
ちょうどいい湯加減の湯船につかっていると、
「こ、こんにちは〜」
仕切りドアが開いて、バスタオル一枚の姿のなぎさが!
俺の顔色をうかがうなぎさ。貸切状態だし、まいっか。
買出しを済ませクリオネに到着。テントの設営を横で見ていたなぎさ。
「あたし、千尋のテントで一緒に寝てみたい」
表情は真剣だ。但し狭いぞ、と照れながらもOKを出す。
「ライダーハウスに泊まると、見上げても屋根しか見えないからね」
スープカレーのお礼にとご馳走した野外での食事を楽しんだあと、星空を仰ぐなぎさ。
「あたし……空を見られるくらい、ちょっとずつだけど吹っ切れてきてるのかな……」
俺は答えなかった。
二人でテントの中に入る。なぎさの顔が、すぐそこにある。
二人きりの場所。
「また明日から一緒に走ろうね」
暖かい暖かい眠りについた……

帰る場所がある

目覚めたらなぎさの笑顔。二人で飲むコーヒーも最高だ。テントを撤収して能取岬へ出発。もう逡巡はないようだ。
海のほうを見つめながらなぎさは話してくれた。
「旅に出た時、何を見たかったのか、まだわかっていないんだけど……ただ一つ言えることは」
「春国岱で終わりにしなくて、ホントに良かった」
春国岱でのことは辛い思い出だけど、尻羽岬から納沙布岬まで走っていたら、どうなっていたか。何のためらいもなく行き着いた宗谷岬までなぎさは何を見たのだろうか。
「あたしは、千尋みたいに、ちゃんと仕事に向き合っていたのかな」
迷いは当然まだある。だけど旅について後ろ向きになることはもうなくなった。
「わからないから、まだ旅を続けるんだよね」
「えへへ、ここにも来てよかったな」
そうさ。『来てよかった』を積み重ねるのがなぎさの旅なんだ。
北上してコムケ国際キャンプ場へ。チェックインのあと、すぐそばのオホーツク海岸まで歩いた。貸切の砂浜でじゃれあっていた時、勢いで体が重なり……
「好きよ」
熱いキスを交わした。
食事も終えて、テントの横に座る。交わす言葉は少ない。
「……明日はゴールにしようかな」
ゴールする決心がついたようだが、まだ迷いがふっきれたわけじゃないようだ。
「宗谷岬に行くのは違うんじゃないかって……全てを終わりにするのは違うんじゃないかって」
その時、なぎさの携帯にメールが。ナースへ復帰する道を示した先輩からのもの

その代わり……あたしをあげる

MEMO：
　最東端納沙布で正しい選択をしていれば、あとはなぎさとの二人三脚の旅が自動的に進んでいく。急速に仲を深めていく二人、最終夜のコムケでは風雨来記３で唯一の、営みを暗示するシーンが挿入される。

最後の夜、なぎさと千尋の想いが重なる

大波のハプニングは、二人のキスのきっかけに

だった。
　泣き崩れるなぎさに語りかける。
「帰る場所があるじゃないか。帰る場所があれば、いつでも旅立てるよ。答えを求めて、また旅に出ればいい」
　もうなぎさの涙は乾いている。
　その夜、俺たちは結ばれた。

新たな旅立ち

「最後のこの道は、あたしが前を走る。いいかな」
　宗谷岬へ出発だ。
　国道238号、オホーツクライン。
　なぎさの走りに迷いはない。
　宗谷岬までは200キロを超える道のりだが、一度も立ち止まることなく走り続ける。
　北へ、北へ。
　しかし……
　なぎさは、宗谷岬を横目に通過し、そのまま走り続ける。
　宗谷岬から35キロ、ようやくなぎさのバイクが減速を始める。ここは野寒布岬だ。
「どうしてここに、だよね」
「ゴール……終わりを通り越しても、まだ走る意志を示すため、手前じゃダメなの」
「ここを、新しい旅立ちの場所にするために宗谷岬を通り越したの」
　夢だった道をもう一度進む決心がついたというなぎさ。ナースへの復帰だ。また旅立つという答えを出してくれて、本当に俺は嬉しかった。しかし、ここを旅立ちの場所とするにはまだ足らないものがあるという
「千尋……あたしと終わりにしよう……」
「退院しないとね……あたしがあたしとして会えなくなる」
　能取岬で俺が医者だといってたよな、なぎさ。退院はハッピーエンド……か。
『退院』しないといけないんだよ。北海道からも千尋からも」
「それでやっとスタートラインに立てるようになるの。本当のあたしとして……」
　俺が出あったのは傷心のなぎさ。本来の姿ではない。このまま続けても、なぎさがなぎさとして、俺と会えなくなるという意味か……
「好きだから……愛してるから……」
「またいつの日か、胸を張って千尋に会いたいって思ってるから」
「ごめんね……ごめんね……」
　震えるなぎさの肩を俺はそっと抱いた。
『そこに行っていいって思える日』自分が北海道にいだいていた感覚と同じだ。
「さようならは言わないよ。退院おめでとう」
　快気祝いにと、最後に撮ったなぎさの写真。
「へへっ……いい顔してるね、あたし」
「ああ、最高の表情だ」

ちゃんと北海道を退院しないといけない

MEMO：
　千尋を導き、また千尋に導かれ、そして時には二人で力を合わせ歩んできたなぎさは、ナースへの復帰を決意した。彼女が本当のなぎさとして胸を張って千尋と再会できる日は、そう遠くはあるまい。

どんな思いでなぎさはこの道を駆けているのか

野寒布岬の位置は、なぎさの決意の象徴だ

水科小夜

ポロトで出会うこの子は、函館以降、予め場所を決めて待ち合わせる形でシナリオが進んでいく。最も攻略しやすいヒロインといえるだろう。約束した期日をうっかり忘れないように。

大まかな流れ

- 出会い　ポロト
- オルゴールの秘密　函館～厚沢部
  - 「応援する」選択で 小夜シナリオ終了
- 待ち人　倶知安～芝桜の丘～セタカムイ岩
  - 「過去に囚われず」選択で 小夜シナリオ終了
- 手掛かり　帯広～想いやりファーム～十勝が丘
- 小夜と家族　摩周駅～開陽台
  - 「美瑛に行こう」選択で バッドエンド
- 集まるピース　北海道大学
- 重野千里　美瑛～青い池
- 小夜と混浴　美瑛～吹上温泉
- 未来　新栄の丘
- エピローグ　新栄の丘

イベントスケジュール

日	イベント	備考
0 日		
1 月	出会い ポロト	
2 火		
3 水		
4 木	オルゴールの秘密 函館～厚沢部～函館	●8日月曜日に倶知安で待ち合わせの約束
5 金		
6 土		
7 日		
8 月	待ち人 倶知安～芝桜の丘～セタカムイ岩	●11日木曜日に帯広で待ち合わせの約束
9 火		
10 水		
11 木	手掛かり 帯広～想いやりファーム～十勝が丘	●15日月曜日に摩周駅で待ち合わせの約束
12 金		
13 土		
14 日		
15 月	小夜と家族 摩周駅～開陽台	●19日金曜日に札幌で待ち合わせの約束
16 火		
17 水		
18 木		
19 金	集まるピース 北海道大学	●22日月曜日に美瑛で待ち合わせの約束
20 土		
21 日		
22 月	重野千里 美瑛～青い池	●25日木曜日に美瑛で待ち合わせの約束
23 火		
24 水		
25 木	小夜と混浴 美瑛～吹上温泉	
26 金	未来 新栄の丘	
27 土		●小夜、イギリスへ戻る
28 日	エピローグ 新栄の丘	

オルゴールの旋律

湖とオルゴール

上陸した苫小牧から西、ポロトの湖畔。オルゴールの音が聞こえてくる。
その曲が気になって、ベンチの少女に声をかけた。
「この曲のこと知りたくて、北海道まで来たんです」
聞けば、どこで手に入れたものかわからないという。
「私、小夜っていいます。水科小夜」
手に持っていた、幼い頃の写真の場所には、見覚えがあった。
青い池、宗谷岬、これはセタカムイ岩かな。
「す……すごいですね」
写真の場所を巡るなら……と色々とアドバイスはしたものの、地理は苦手のようだ。探し物が見つかるといいけど、大丈夫かな？
「あ、あの……私なんかでよろしいんでしょうか？」
俺は小夜ちゃんに鋭明展のことを話し、一枚写真を撮らせてもらうことにした。これはいい記事になるかも知れないぞ。

未完成の曲

函館で路面電車を見ていたら、歩いている小夜ちゃんを見つけた。他人に聞くのが苦手らしく、オルゴール探しの進展はないらしい。
代わりに俺がオルゴール堂の情報を仕入れてきた。
「榊さんはすごいですね。知らない人にも普通に声をかけることが出来て」
小夜ちゃんは一人っ子の17歳。俺と姉貴の話を羨ましそうに聞いている。
「えっと……私、自分で聞いてきてもいいですか？」
とオルゴール堂で決意を見せる小夜ちゃん。情報はなかったけどこの頑張りはほめてあげたい。
「本当に綺麗なオルゴールがたくさんあります」
小夜ちゃんが見ていたオルゴールを、プレゼント用に買っておく。
その後、写真の厚沢部へ向かうという小夜ちゃんを、バイクで送っていくことにした。
「……あまり覚えてません」
やはり幼少期のこと、厚沢部も記憶にはないようだ。
両親のことを聞いてみると、
「祖父母に伝えました。あの……家出じゃないです」
と小夜ちゃん。オルゴールは、北海道旅行の時、両親からプレゼントされたものらしい。
「この曲、未完成なんです」
確かに突然終わりを告げる感じがする。この曲のことを知りたくて、祖父母を説得し北海道に来たのだと、寂しそうに話す小夜ちゃん。
「……そろそろ、行きませんか？」
これからは俺が捜索の手伝い、小夜ちゃんはモデル、交渉成立だ。
函館に戻り、ご当地バーガーを食べ終えた頃には日も暮れていた。ロープウェイで函館山に登ってみた。
「綺麗……灯りが一つ……灯りが二つ……」
「景色を見るというのは、世界の物語を読むことです」
いい思い出になったようで、よかった。

えっと……な、なにかご用ですか？

MEMO：
３日目までにポロトを訪れれば無条件で小夜が。通常のポロトを巡れるのは出会いの翌日または４日目以降。

灯りの一つ一つに物語があると思うと、すごく素敵ですよね

MEMO：
厚沢部で選択肢を誤らなければストーリー続行だ。そのあと戻ってくる函館では、おなじみの夜景に感嘆のため息が漏れる。この百万ドルの景色は小夜ルートでしか見られないぞ。

函館のご当地グルメなら『ラッピ』は外せない

男ならもちろん……

待ち続ける犬

倶知安で待ち合わせ。セタカムイ岩に行く途中、気になる場所があったので立ち寄る。

「綺麗……」

個人で育てた芝桜で埋め尽くされた丘だ。鮮やかな花園をバックに、小夜ちゃんのいい写真も撮れた。

彼女も冗談交じり。だいぶ打ち解けてきたようだ。

俺は仕事や最高の一枚のことを話す。でも『将来の夢』というワードで顔を曇らせてしまう小夜ちゃん。何か悩みをかかえているのか……。

主人を待ち続けた犬が岩になった、という伝説のセタカムイ岩。帰らぬ人を待つその話はポロトにも共通する。

捜索が進展しないせいか小夜ちゃんの表情は暗い。

「……行方不明になってしまった人をずっと待ち続けるのって、榊さんはどう思いますか？」

難しい質問だった。あんまり思い詰めず、普段どおりの生活をしながら待ったほうがいいとは思うけど……。

「うふふ、私はもう大丈夫です」

少しは役に立てたのかな？　捜索もあきらめず続けよう、小夜ちゃん。次の目的地は十勝の想いやりファーム。木曜日に帯広駅で待ち合わせだ。

ギャンブラー

帯広の駅からタンデムで想いやりファームへ着いた。

「あっ！　にゃんこです～！」

猫が大好きな小夜ちゃん。

「にゃんにゃんにゃんこの王国～♪」

……何の歌だ？

屋内の休憩所に入る。ソフトクリームの看板をじっと見つめる小夜ちゃん。前にも同じ光景を見たような……ご馳走してあげるか。

「このソフトクリーム1つで、10年分の幸せがチャージできちゃいそうです♪」

「ありがとうございます、ヒロちゃん♪」

ヒ、ヒロちゃん～!?

「榊さんの時代は終わり！　これからは、新生ヒロちゃんの時代なんです♪」

強引な一面もある小夜ちゃんだった。

たまたま居合わせたライダーに、オルゴールを見せる。

「もしかしたら、知ってるかも」

遂につかんだぜ！　オルゴールの謎のしっぽ！

製作者も元ライダーらしい。詳しいことを知る父親に話が聞けたら連絡してくれるという。

帰りに十勝が丘へ立ち寄ってみる。ここでも情報が得られそうという小夜ちゃんと賭け。そんなにうまく行くかな。

二人で無料の足湯で疲れを癒す。

「わ、私のお膝で、お休みしてもいい……ですよ……なんて……」

それって、つまり……膝枕!?

「えっと……はい、その……えいっ！」

やはり小夜ちゃんは強引だった。

入れ違いに足湯にやってきたライダーだという中年男性にオルゴールを見せると、製作者のことを10年以上前、開陽台辺りでよく見かけたという。賭けは小夜ちゃんの圧勝だった。

未完成の曲

「ヒロちゃん号、出発～♪」

小夜ちゃんの掛け声とともに摩周駅を出発、開陽台へ。

展望台への階段がつらそうな小夜ちゃん。途中幸せの鐘で小休止だ。鐘を鳴らして俺の幸せを祈ってくれる小夜ちゃん。

「ヒロちゃん、一緒に座ろ」

小夜ちゃんが軽く寄りかかってきて、肩が触れる。

「私、子供の頃から病気を抱えていて……もともと体があんまり丈夫じゃないんです」

俺も小夜ちゃんの健康を願って鐘を鳴らす。

「ヒロちゃん……ありがとう……ね……」

小夜ちゃん、30分ほど眠り込んでしまった。

「うーん、見たことないな……すまんな」

展望台での情報収集は、空振りに終わった。寂しそうな小夜ちゃんだったが、はちみつソフト1個で復活。

しかも売店のカウンターの上にはよく似たオルゴール！

「母がバイク乗りの方から貰った物なんです」

美瑛で飲食店を開いている年配の男性らしい。

そこへファームで会った青年から電話。製作者の兄が北海道大学で教授をやっているという情報だ。パズルのピースがはまっていく感覚。事態は展開しはじめた。

「実は、私の両親、行方不明なんです……」

夕日の展望台で、小夜ちゃんの告白。北海道に来れば両親の消息が、という淡い期待もあったようだが……。それでも明るく振舞う小夜ちゃんを見て、俺も全力でサポートすると決意する。

揃ったパーツ

美瑛と迷った結果、場所のはっきりしている北海道大学をあたることにした。今日はバイクに乗らないので久々ワンピースの小夜ちゃんと待ち合わせ、広々とした大学のキャンパスに入る。

構内で教職員に情報を求めたが、収穫はなし。しかし小夜ちゃんの提案で学生にターゲットを変更したのが当たった。

「オルゴール、ライダーの弟……もしか

して、遠山教授のことかしら」
　女子学生が更に詳しい情報を持つ、院生を呼んでくれた。
　院生は教授から、兄であるライダーの話を聞いたことがあるという。
「そう、そう！　重野！　重野って言ってたなぁ！」
　どこにいるのかは分からないけど、喫茶店を開いたという。
　美瑛・喫茶店・重野……『パーツ』が揃ってきたぞ。
　大学の事務局では、個人情報の関係で情報を得られなかった。
「でも、こうして、自分の足でいろんな場所に向かって、ヒントを辿って……」
　小夜ちゃん、旅人の素質があるみたいだ。
「いつか、ヒロちゃんみたいにバイクでたくさん旅したいな……」
　微笑みながら遠く空を見つめて、小夜ちゃんはそう言った。
　……小夜ちゃんは俺のことをどう思っているんだろう？
　逆に俺は？　……まだ答えを出せずにいた。
　次は来週月曜日に美瑛駅。残された時間は1週間だ。

その人の名は

　今日は町内の喫茶店を片っ端からあたる予定だ。とりあえず駅前でガソリン、もといソフトクームを補給しよう。
　ぎゅっと腕を掴んで離してくれない小夜ちゃん。本当のカップルみたいだぞ。
「ヒロちゃん成分もチャージしちゃいます」
　恥ずかしいし、ドキドキする……。
「一週間後には、ヒロちゃんとも会えなくなっちゃうんだ……」
　取材が今週までと知って寂しそうな小夜ちゃんだった。
　いくつか喫茶店を巡ってみたものの空振り。通りかかったのがこの青い池。
「ヒロちゃん、本当に池が青い～！」
　吸い込まれるような神秘的な青、本当に美しい池だ。
「ヒロちゃん、写真写真！」
　モデルも板についてきた小夜ちゃん、今日もいい写真が撮れた。
　駐車場へ戻り、居合わせた中年の男性に情報を聞く。
「重野……あぁ、あの重野さんね」
　喫茶重野のマスター、重野千里。
　連絡をとってくれたが、マスターは2～3日留守だとのこと。帰ってきたら連絡してくれるという。
「やったねっ!!」
　二人でハイタッチだ。
　午後は目的もなく、美瑛を走り回る。
「ヒロちゃんとは、もうすぐお別れだけど……それでも私、ヒロちゃんのことはずっと、ずーっと、忘れないからね」
　もちろん、俺だって忘れないさ。そういえば小夜ちゃん、どこから来たのか聞いてなかったな。
「私？　私は……ずっと遠く……だよ」
　『遠く』という言葉を聞いて、寂しさが増してきた。二人で続けてきた旅のことを思い出す……そうだ！　函館で買ったオルゴール、渡すの忘れてた。
「ヒロちゃん……ありがとう……」
　小夜ちゃんは大切そうにオルゴールを胸に抱いた。
　3日後美瑛駅。
　それが最後の探索になるであろう。楽しみだけど、寂しさも感じる。
　俺は、きっと、小夜ちゃんのことを……好きなんだ。

生きている証

　小夜ちゃんと合流したものの、まだ連絡はない。待つしか方法が……
「えっと……それじゃあ、今日はリフレッシュ、しませんか？」
　小夜ちゃんからの提案だった。
「温泉とか行って……のんびりしたり……」
　お、いいね。温泉レポというのも悪くない。しかも、
「あのね、ヒロちゃん……私は混浴で構わないよ」
　吹上温泉に着いた。超有名野湯だ。温泉までの道。小夜ちゃんはずっと俺に

まったく意識されない方が傷つくな……

MEMO：
　小夜は日付指定で物語が進行するのでまず問題なく進められるはず。美瑛を廻って手がかりを掴んでいく二人、いつしか心の距離はどんどん縮まっていた。明日、新栄の丘。いよいよ全てが明らかになるときがきた。

小夜は意外と（？）ナイスバディ

美瑛を巡り、マイルドセブンの丘で小休憩

身体を預けたまま。二人の距離に明らかな変化が生じていた。

　二人っきりで露天風呂に入る。

「ヒロちゃん、温かいね……」

「もう少し、このままくっついててもいい？」

　……長い長い沈黙を破ったのは小夜ちゃん。

「このまま、ずーっとヒロちゃんと旅を続けられたらいいのに……」

　……そしてまた長い沈黙。

「頬をつけると、感じるの。ヒロちゃんの生きてる温もり……」

「ヒロちゃんは、私の生きてる証、感じる？」

　ああ、小夜ちゃんは、今ここにいる。それだけで、俺は幸せだった。

　ちょうど駐車場に戻ったところで、携帯が鳴った。

　明日。新栄の丘展望公園。

　そこで重野さんと会う。

真実

　約束の時間には少し早いが、重野さんはもう来ていた。

「早く着きすぎてしまってね。少し風にあたっていたところなんだ」

　自己紹介のあと、早速オルゴールを見てもらう。

　確かに、自分がつくったものだという重野さん。

「この曲は……」

　曲を聞いて驚く重野さん。これをあげた夫婦、つまり小夜ちゃんの両親のことはよく覚えているという。

「そうか。大きくなったね」

　重野さんが小夜ちゃんたちに会ったのはセタカムイ岩。両親が落とした楽譜がきっかけだった。未完の楽譜を見た重野さんに、小夜ちゃんのお父さんは、

「娘が大きくなって一緒に北海道を旅したら、この曲の続きを作ってもらうんだ」

　曲のタイトルは『未来』

　病弱な娘ではあるが、未来は無限。

　両親の現在は重野さんもわからないというが、4～5年前に手紙が来たという。手紙を見せてくれという俺に、

「ヒロちゃん、もういいよ。生きてるかもしれないって分かっただけで、充分だから」

　それでも、という重野さんに、

「私……もう、大丈夫です」

　木に寄りかかりながら、小夜ちゃんが話しはじめた。

「私、オルゴールの曲の続きを作ろうと思うの」

「帰ってくるお父さんとお母さんを迎えてびっくりさせちゃうんです」

　もう迷いは全くないみたいだった。

　セタカムイ岩での俺の言葉に救われたという小夜ちゃん。それから旅も楽しくなったという。

　目を閉じて、すぅーっと息を吸い込む小夜ちゃん。

「私、ヒロちゃんのことが好き」

　俺も自分の気持ちを伝えた。

　小夜ちゃんとの旅は素敵な思い出であふれている。

「私、このまま何もしなければ、生きられるのもあと数ヶ月って言われてるの……」

「この旅を、最後の思い出にするつもりだったの」

　小夜ちゃんの目から涙が溢れる。

「でも、過去ではなく、未来を見なきゃダメなんだって、今はそう思います」

「逃げたりしないで……どんなに可能性が低くても、絶対に諦めないって」

　小夜ちゃん……こんなにも前向きになっている。

「ねぇ、ヒロちゃん……あの約束は、まだ有効だよね？」

　……十勝が丘での『賭け』の話か？　もちろんさ。

「……もし、奇跡的に病気が治ったら……その時は、また、一緒に旅をしてください……」

　ああ、ここが約束の場所。何年でも待ち続ける。

「ありがとう、ヒロちゃん、大好き……」

　俺は小夜ちゃんを強く抱きしめ、キスを交わした。

今日が約束の日……ここが約束の場所……

MEMO：

　重野からオルゴールの謂れを教えてもらった二人。小夜はその中に希望を見出すことができた。そして二人の想いは結ばれるが、同時に、離れなくてはならない瞬間も刻一刻と近づいてきているのだった。

小夜は遠くイギリスへ帰らねばならない

小夜は千尋にオルゴールを託し、飛び発った

富村泉

平田内温泉にいきなり現れる謎の少女、まさに神出鬼没で北海道中を探しまわることとなる。さらに決められた順序で特定のスポットを巡る必要があるなど、攻略は最も難しい。

大まかな流れ

- 出会い　平田内温泉
- 秘湯情報 I　川又温泉
- 秘湯情報 II　熊の湯
- 温泉談義　薫別温泉
- 浮世離れ　大沼公園
- お泊まり　十勝清水～オソウシ温泉
  - 「やっぱり断る」選択で 泉シナリオ終了
- お泊まり　オソウシ温泉～ヌプントムラウシ温泉
  - 「写真に撮る」選択で バッドエンド
- 時の流れと別れ　日勝峠
- 胸中の秘密　鹿の湯～テムジンの湯
- 休息の刻　からまつの湯
- 和琴半島キャンプ
- 二人旅　和琴半島～十勝清水～羽帯駅
- 最後の走り
- エピローグ　美幌峠

イベントスケジュール

日	イベント
0 日	
1 月	出会い（川又温泉へ寄らずに）平田内温泉　※この日川又温泉を訪れると泉シナリオ終了
2 火	出会い／秘湯情報 I 川又温泉
3 水	秘湯情報 I 川又温泉
4 木	秘湯情報 I 川又温泉
5 金	秘湯情報 I 川又温泉
6 土	秘湯情報 II 熊の湯
7 日	秘湯情報 II 熊の湯
8 月	温泉談義 薫別温泉／秘湯情報 II 熊の湯
9 火	温泉談義 薫別温泉／秘湯情報 II 熊の湯
10 水	温泉談義 薫別温泉／秘湯情報 II 熊の湯
11 木	浮世離れ 大沼公園／秘湯情報 II 熊の湯
12 金	浮世離れ 大沼公園／秘湯情報 II 熊の湯
13 土	浮世離れ 大沼公園／秘湯情報 II 熊の湯
14 日	
15 月	お泊まり　十勝清水～オソウシ温泉
16 火	お泊まり　オソウシ温泉～ヌプントムラウシ温泉～十勝清水
17 水	
18 木	時の流れと別れ　日勝峠～ウェスタンファーム
19 金	時の流れと別れ　日勝峠～ウェスタンファーム
20 土	
21 日	
22 月	胸中の秘密　鹿の湯～テムジンの湯
23 火	胸中の秘密　鹿の湯～テムジンの湯
24 水	
25 木	休息の刻　からまつの湯／二人旅　からまつの湯～和琴半島
26 金	二人旅　和琴半島～十勝清水～羽帯駅
27 土	二人旅　羽帯駅～美幌峠
28 日	エピローグ　美幌峠

温泉は好き？

舞い降りた天使

出会いは突然だった。デスクのいっていた道南の平田内温泉で、裸の女の子が目の前に現れたのだ。あわてて出ようとする俺に、
「お湯を粗末にするもんじゃありませんよ」
随分年下のはずなのに、母親のようなことを言う。
「温泉はお好きですか？」
俺が温泉好きだとわかると少女は目を輝かせた。
「お湯に入れる一期一会を大切に、感謝しながら入らないといけないのです」
旅と同じだと感じた俺は、仕事で北海道をまわっていることを話した。俺のことを「旅の物書きさん」と呼んだ彼女は、自分も旅が好きで道内の温泉を巡っているのだという。
「わたしは泉っていいます」
彼女は富村泉。17歳にしては、古風な言葉を使ったりして、不思議な雰囲気の娘だ。
そろそろ……と立ち上がった瞬間彼女も同時に、そして泉ちゃんのタオルが！
「いい出会いでした。またどこかの温泉で会えるといいですね」
泉ちゃんは何事もなかったかのように、去っていくのであった。

わたし、そんなお仕事があるなんて初めて聞きました

MEMO：
３日目までに、途中の川又温泉へ寄り道せず平田内温泉を訪ねれば泉と出会う。イベントを起こすと通常の記事ネタは入手できなくなるので、平田内温泉をじっくり堪能したいなら条件を満たさない状態で行こう。

突然の出現に思わず目をこする千尋

不意の混浴というのは居心地が悪いもの

やさしいお湯質

川又温泉で道東の秘湯のうわさを聞いた俺は、情報を辿って遂にここ薫別温泉へ到達した。ダートの終点からクマも出るという道なき道を1時間以上。誰もいない貸切状態のはずだ……が？　え、泉ちゃん？
「ふふっ、またお会いしましたね」
平田内からだと、北海道の端と端。しかもこの悪路。相当温泉が好きなんだな。
「とてもいいお湯ですよ。独り占めしているのがもったいないくらい」
折角だから、今日も混浴といくか。
「いよいよこれは運命的な出会いなのかもしれませんね……うふふっ」屈託なく笑う泉ちゃん。
「千尋さんと入るお湯は、なんだか優しい感じになりますね」
よくわからないけど、いわれて悪い気はしない。なんでも泉ちゃんには『お湯質』の変化で相手のことがわかるらしい。「空気を読む」みたいなものかな。
それに、温泉の効能だとか、薀蓄を語り出したら止まらない泉ちゃん。これは筋金入りの温泉マニアだ。
「今日も千尋さんに出会えたことを感謝します。それでは……」
……しまった！　ここはクマ出没地域、しかもこんな悪路をひとりで帰すなんて。あわてて泉ちゃんのあとを追ったが、結局追いつけずじまい。そういえば、来た時も車はなかったし、誰かに送り迎えをしてもらっているのだろうか。

じゃがバターの思い出

3度目の出会いは道南・大沼公園。またも北海道の端から端だ。これはもう偶然としかいいようがなかった。
「だ〜れだ？」
目隠しをするつもりが高さ不足で俺の首を絞めてしまったのはご愛嬌、今日も底抜けに明るい泉ちゃん。温泉以外も巡ってるんだな。ひよこさんアップリケのポーチが可愛い。
「ひ・み・つ・です。ふふっ」
北海道をまたに掛ける、その交通手段は教えてくれなかった。
「千尋さんはどうやって移動されてるんですか？」
泉ちゃんはバイクを間近に見たのは初めてらしく、興味津々。カメラも見せてあげようとしたんだけど、どうやら写真は苦手みたいだ。
「写真を撮られると魂を抜かれるといいますし」
パソコンや携帯電話のこともよく知らないみたいだし、一体どこから来たんだろう？　それに親は心配してないのかな？
「あ、わたしには父も母もいないんですよ」
きっと田舎でおじいちゃんおばあちゃんと暮らしているんだろう、このことはもう聞かないようにしよう。
お腹を鳴らした泉ちゃんに、じゃがバターをご馳走してあげることにした。
「わたしにあーんって食べさせてくださいませんか？」

さっきひとつ落っことしたからとはいえ、これは恥ずかしい、恥ずかしいぞ……
今度は十勝方面に行くという泉ちゃん。バイクにも乗せてあげたいな。

お泊り温泉ツアー

十勝清水の駅で再会した泉ちゃん、バイクに乗る準備も万全。『お泊り』には驚いたが、泉ちゃんご所望のオソウシ温泉へタンデムで出発だ。
チェックインを済ませ、浴衣に着替えた泉ちゃんとお風呂場へ。もちろん男女別だ。先に上がるようなら声をかけるようお願いしておく。
「わかりました。兄上ーってお呼びします」
そうか、さっき十勝清水の駅前でその呼び方に渋々OK出したんだよな。
結局野外の混浴風呂に一緒に入ることになり、
「兄上のお湯質が好きですよ」
といわれてドキリとしてしまう。
夕食は川魚を中心とした豪華なものだった。泉ちゃんは小食でほとんど俺が手伝ったけど。
食事のあと、写真整理のため部屋でパソコンを立ち上げる。画面を覗き込む泉ちゃんの目が輝く。
「兄上……すごいです……こんな風に兄上には温泉が見えているのですね……」
とても感動してくれたようだ。
「兄上の切り取ったその刹那が、わたしの胸に響いてきます。素晴らしいお写真ですよ」
俺の写真を世界で初めて認めてくれた人。すごく嬉しかった。そして俺の中で泉ちゃんへの想いが芽生え始めていた。
「兄上が最高の一枚を撮れる幸せを運ぶ座敷童になりたい……」と言い残して泉ちゃんは眠りについた。
翌日。泉ちゃんの提案で、近くにあるヌプントムラウシ温泉へ。
「兄上のお湯質に包まれて……今、わたしはすごく幸せです」
二人でお湯を楽しんでいると、俺のバイクが荒らされそうになっているのが見えた。川をわたり、あわてて駐車場へと戻る。
いかにも、という男が3人。
「兄上、どうされたんですか?」
まずい、泉ちゃん隠れててくれればよかったのに……と思ったのも束の間。
「兄上に危害を加えようとしてる人は……誰であろうと許しませんよ」
オーラといえばいいのだろうか、すさまじい『気』を発し、あっという間に……
何か武道でも極めているのか? 本当に不思議な女の子だ。
その後十勝清水で解散。別れ際にアイスを食べる泉ちゃんの顔が、忘れられないな。

カンパン1個

日勝峠で再会した俺たち。手を繋いで展

どうしましょう……お腹が……いっぱいになってしまいました

MEMO：
ターニングポイントとなるオソウシイベントは15日目、第三週月曜日の十勝清水から進行する。この日を逃すともう泉には会えないぞ。湯治宿へのお泊まりで二人の仲は一気に深まる。

寝顔は可愛いが欲望に負けてはいけない

ここまできたら選択肢はひとつ

これは最後の忠告です。散りなさい

MEMO：
オソウシからの連続イベントとなるヌプントムラウシ温泉。泉のおかげで命拾いだ。実際にこのような悪人が来ることはまずないが、人跡皆無の山奥へ入っていくので不測の事態にも備えられるようにしておこう。

この子が男三人を倒したなど俄には信じ難い

なぜか平田内や薫別とは明らかに違う反応

望台へ向かうことにした。
「わたしは兄上と手を繋ぐの好きですよ」
きっと『兄として』なんだろう。異性として好きになり始めている俺としては、少しそれが切ない。
眼下の街を見ながら語る泉ちゃん。
「わたしが兄上の写真に感動したのは、居続けることが不可能なはずの時間と空間、その刹那を兄上の目線で鋭く、また想いを込めて切り取られていたからです」
オソウシでは圏外だったけど、ここなら大丈夫だ。鋭明展のサイトを見せてあげようとしたその時……泉ちゃんのお腹が鳴ったので、別の場所へ行くことにした。
到着した日高ウェスタンファームは、閉まっていた。しょうがないのでカンパンを取り出す。それでも喜んで食べてくれる泉ちゃん。にしても1個で満腹って、小食にもほどがあるぞ！
日勝峠に戻って今日はお別れ。このあたりの温泉を巡るという。
「わたしの休みもそろそろ終わりですから」
そうか、たぶん学生なんだろうな。もう会えるチャンスはそんなにないかも知れない。

温泉の神様

「一度にいろいろ廻れるところがいいですね」
そういっていたのを頼りに、温泉銀座・然別峡に来て正解だった。
撮影した鹿の湯の写真を見ながら、
「兄上は、この温泉を愛しているのですか？」
と妙なことをいう。それに今日は着替えるのが恥ずかしいとか、いつもの泉ちゃんらしくない。
「わたし……本当に、兄上とご一緒するお湯が大好きです」
「それに兄上の写真も大好きです」
泉ちゃんのことが好きだ。この想いを伝えたい。俺は勇気を振り絞った。
「北海道離れても……泉ちゃんと連絡取り合いたい」
泉ちゃんは答えず、確かめたいことがあるので場所を変えようという。
同じ渓谷の上流部にあるテムジンの湯。
「ああ……このお湯質……やはり、わたしは兄上に愛されているのですね……」
ヌプンの頃から感じていたが、ここで確信したのだという。
「兄上にはもう本当のことを言った方がいいのかもしれませんね」
「わたしは北海道一帯を仕切る温泉の神なのです」
なっ！　温泉の神様？
すぐには信じられなかったけど、浮世離れしたこと、お湯質のこと、長距離移動にあの殺気、そう考えれば全てつじつまが合う。俺、神様に恋をしてたのか!?
「でも、北海道に来ればいつでも会えるんだよね？」
今度も質問には答えてもらえなかった。
「わたしに少し考える時間をください」
そういって泉ちゃんは去っていった。

わたしをカメラで撮ってみてください

MEMO：今回は前回別れた日勝峠と同じ十勝管内の鹿の湯で会える。22または23日目に訪れよう。途中自動的に鹿の湯からテムジンの湯へ移動するが、物語上テムジンでキャンプコマンドは選べず、去るしかない。一日を終えたい場合は適当なスポットへ入ろう。ツーリングもテムジンから再開されるので、見たことのない景色になっても慌てないように。

写真が示した現実、そこには何も存在していないかのように

千尋が不器用な告白をしても、泉は口をつぐんでしまう

残された時間

中標津にあるからまつの湯で、また泉ちゃんに会うことができた。
「……兄上に愛されているお湯質……ひしひしと感じますよ……」
泉ちゃんのようにお湯質で相手の気持ちを悟ることができない俺は、言葉に出して告白した。好きだ、また会いたい、と。
やはり答えてくれない泉ちゃん……
「わたしの話も……聞いてくれますか？」
「次に人間の姿になれるのは99年後……」
うそ……だろ……？
「わたしはいますよ、北海道の温泉の数だけ。温泉の神として、そこにいます」
いやだ、そんなの！　会いたい、また会いたいんだ！　湯船の中で泉ちゃんを抱きしめながら、俺は叫んでいた。
「困らせないでください……神として特定の人間だけを愛することはできないんです……」
人間の体でいられるのは明後日まで。秘密を打ち明けてくれたのは、俺の想いに向き合ってくれているからだろう。俺もそれに応えなきゃな。俺は泉ちゃんをさらに強く抱きしめる。
あと二晩……かけがえのない時間だ。精一杯泉ちゃんとの思い出をつくる。できることはそれしかない。
「わたしなどが兄上にとって意味のある有意義な時になるのでしたら、喜んでお伴いたします」

泉ちゃんが希望したテント泊。俺は和琴半島を選んだ。
「わぁ……きれいですね……」
屈斜路湖の夕陽。それは迫りくる夜の前兆。あと二晩だ。
ごはんはコンビニのおにぎり。どうやらアイスの時にチェックしていたらしい。
「陽が落ちたら、いつもは兄上、何をされているのですか？」
記事を書くところを見せてあげることにした。少し恥ずかしいけど、泉ちゃんへの想いを綴ってみた。
「兄……上……………嬉しかったです」
こうして残された二晩のうち一晩目が暮れていった。

朝日とともに

泉ちゃんと過ごせるのもあと1日。泉ちゃんを後ろにのせて3時間、十勝清水の駅までやってきた。
「『兄上』と呼ぶようになった場所ですね」
「オソウシ温泉に行くために、初めて兄上のバイクに乗った場所です」
俺にとってもターニングポイントになった場所だ。写真を見た泉ちゃんにもらった勇気と自信、そして泉ちゃんへの気持ち……
駅の中も見てみることにした。列車が到着し、行き交う人々。
「ここも……人間の刹那の出会いと別れの連続している場所の象徴だと思うと、少し感慨深いものがあります……」
俺は、場所を変えることにした。
十勝清水からひとつ東隣の羽帯駅は、無人駅だ。通過する特急列車、通り過ぎる人々が、二人でいることをより強調させる。
「わたしは、今、たしかにここにいるんですよね……」
もちろんだ。俺も泉ちゃんの手を強く握り、じっと見詰め合う。
刻一刻と迫ってくる、別れの時間。
俺たちは、唇を……重ねた。
「接吻……してしまいました」
「人間の体って素晴らしいですね……」
泉ちゃんの肩が少し震えた。
「これからも兄上と時間を紡いでいきたいと思っています。でも、それは体がないとできないこと……」
自嘲気味に笑った気がした。
「どうしよう……わたし……気がついてはいけないことに気がついてしまったのかもしれません」
神様という存在であることの全否定だった。
そうじゃない。泉ちゃんの体がなくなっても、泉ちゃんはいる。俺の中にいるんだよ。
「わたしはこれからも存在し続けられる……兄上の心の中で……」
少し笑顔が戻ったような気がしたが……
「どうして、わたしは神なのでしょうね……」
俺には、もう何もいえなかった。
肩を抱き寄せ、もう一度キスをする。
「すごくドキドキするのに落ち着くなんて、不思議ですね、接吻は……」
何本か列車が止まったが、誰も降りてこない。二人だけの時間。そしてついに……日が暮れた。
「最後にまた兄上のバイクに乗ってみたいです」
よし、日の出の見えるところに行こう。
美幌峠に到着した時は、少しだけ空が明るくなりはじめていた。
「わたしの写真を撮ってくださいませんか？」
自分がいたという記録。最後の力を振り絞って写真に収まる泉ちゃん。
「消えてしまうのに愛してくださって、ありがとうございました……」
「わたしの記憶……兄上との記憶……それを胸に、天上に帰ります……」
「最高の一枚、撮れるといいですね」
朝日が昇りきり……泉ちゃんは消えた。
「兄上、覚えてますか？　わたしが兄上にとっての座敷童になれたらいいですね、って言ったこと」
泉ちゃんの想いが込められた写真。泉ちゃんが言っていたように公開すれば一生この道で食っていけるのだろう。
でも、この写真は世に出さない。
俺はこれからも旅を続ける。
泉ちゃんとの思い出は、自分の記憶（メモリー）の中にだけ……

その写真を世に出せば、兄上は一生困らない暮らしができるでしょう

MEMO：
25日にからまつの湯へ行けばあとは最後まで一直線だ。二人最後の刻を噛み締めるが、羽帯で自分の存在意義を根底から揺るがすことに泉は気づいてしまった。千尋はそんな彼女を優しく包み込む。

泉の最後のお願いに応えてあげよう

何の変哲もない道が、特別な意味をもつものに

雪代明里

二週目に入ってから出会う明里は、スケッチする場所を求めて色々と動き回っている。地図をこまめにチェックして、見慣れないスポットがあったら訪ねてみよう。

大まかな流れ

- 出会い　双子の木
- 偶然の再会　夷王山
- 時計台　札幌
- 大切なもの　夷王山
  - 時計台未通過または「絵を描くのが」選択で 明里シナリオ終了
- 違和感　神仙沼
- 変な意味で　神仙沼
- パラレルワールド　千望台
- 記憶　白銀の滝
  - 「……」選択で 明里シナリオ終了
- 競走馬の世界　馬産総合牧場
- お婆ちゃん子　日高牧場
- 二人旅　新見温泉
- 温泉宿泊　彼女の岐路
  - 明里記事を全ては書かなかった または「家族に」選択で ノーマルエンド
- 冬の旅　札幌〜陸別〜美瑛〜扇が原
- 冬の旅　然別湖
  - 然別湖でキスをしない エンド1 双子の木
  - 然別湖でキスをした エンド2 夷王山

イベントスケジュール

日	イベント
0 日	
1 月	
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	
8 月	出会い 双子の木（8〜9） ※他ヒロイン未攻略時のみ ／ ※この日までに双子の木を探訪しておく
9 火	
10 水	偶然の再会 夷王山（10〜11）
11 木	時計台 札幌（11〜12） ※夷王山での再会当日までに札幌時計台を探訪しておく
12 金	
13 土	
14 日	
15 月	大切なもの 夷王山
16 火	違和感 神仙沼（16〜17） ※この日までに神仙沼を探訪しておく
17 水	
18 木	変な意味で 神仙沼
19 金	パラレルワールド 千望台
20 土	
21 日	
22 月	記憶 白銀の滝
23 火	競走馬の世界 馬産総合牧場
24 水	お婆ちゃん子 日高牧場
25 木	
26 金	二人旅 新見温泉 ／ 彼女の岐路
27 土	冬の旅へ
28 日	

さがしもの

スケッチの少女

「ずっとそこに、いました？」

少し警戒した様子で彼女は振り向いた。ニセコにある双子の木。蝦夷富士とも呼ばれる羊蹄山を臨める、俺のお気に入りの場所だ。

今日は珍しく先客がいた。木陰で少女が独り言をつぶやきながら風景をスケッチしている。その様子をしばらく眺めていたのだ。

「取材って……グルメ？」

カメラに興味を持った彼女。俺はルポライターという仕事を説明するが、どうもピンとこないようだ。

彼女は趣味で絵を描いているらしい。明るく振舞ったかと思えば急に黙り込んでしまうのが気になったが、何かいけないことを言ったかな？

モデルを依頼すると、二つ返事だった。

「や、やります！」

以前からやってみたかったとのこと。双子の木と羊蹄山、そしてスケッチの少女。今日はいい写真が撮れた。まるで彼女は季節外れのコスモスのよう。名前も聞かなかったけど、こんな形で出会って別れるのも悪くないかな。

いちめんのなのはな

江差のあたりを流していて辿り着いた夷王山。一面に広がる菜の花畑の中、無機質に建っているのが夜明けの塔だ。

塔へ近づくと、双子の木で会った少女の姿が見えた。こんな偶然もあるんだな。

MEMO：

二週目初頭、気が向いて訪れた双子の木でばったりと出会った少女、明里。

彼女の攻略を開始するにあたって見落としがちなのは、一週目のうちに双子の木を一度訪れておく必要があることだ。また、この後も出会いを続けるには、札幌時計台や神仙沼など、予め巡っておかなければならないスポットがいくつかあるので注意しよう。

なお、時計台を見ていない状態でも15日の夷王山までのシナリオは表向き進められる。

写真が趣味なんですか？

「軽い遠足みたいな感じです」

聞けば札幌に住んでいるという。車で4～5時間はかかるか。見た目によらず行動的なんだ。やはり今日もスケッチのようだ。

「スケッチに出かける日はいつも楽しみで、うきうきですよ」

彼女の名は雪代明里。お互い自己紹介を済ませたあと、ふたりで塔の中に入る。階段を登ると、青い空に水平線が目に飛び込んできた。ここで一枚撮ろうか。

「もしかして……モデルですか!?」

少し緊張しているようだが、いい笑顔だ。取材で札幌へ行った時の話をしてみた。話題は時計台のことになる。館内が魅力的なのだと言う。それは知らなかったな。

今日は切り上げるという彼女とともに、入り口まで歩いて別れることにした。

「相棒……なんてお名前なんですか？」

俺のバイクを見て尋ねる雪代さん。特に名前は付けていないんだけど……。

時計台のなか

雪代さんの言っていたことが少し気になったので、再び札幌時計台を訪れてみた。突然名前を呼ばれて振り向くと、そこにはあの笑顔があった。

「はい！　また会えましたね」

たまたま通りかかったという彼女の案内で中へ入る。説明をしながら先導してくれる雪代さん。二階建ての館内は予想以上に広い。

「この鐘の音、好きなんです」

時計台の歴史、五稜星、大き過ぎた時計。まるで学芸員のような雪代さんのガイドを聞いていると、時間を忘れてしまう。夜のライトアップにも興味があるな。

がっかりスポットなんてとんでもない。たくさんの魅力に詰まった時計台をあとにし、陽気もいいのでベンチで話をする。

「実は私、今は休学中なんです」

平日にあちこちで会うのはそのためか。大学休学とは、よほどの事情があるのだろうが、それ以上聞かないことにした。

あちこち出かけて色々と経験するのは悪いことではないし。そのことを伝えると安堵の表情を浮かべている。事情は俺にはわからないけれど、なんとか乗り越えられるといいな。

夷王山での再会

「続きはまた来週にしようかな」

先週夷王山で言った雪代さんの言葉を俺は忘れてはいなかった。塔に登ると彼女は、いた。スケッチを終えて景色を見ていたのだという。

「場所、移しましょうか」

いまひとつ会話が続かないことを気遣ってか、彼女が提案する。塔を出て近くの公園まで歩いた。例によって大事そうに抱えたスケッチブック。彼女の描いた絵を見せてもらうことにした。

「その時その時の印象を紙の上に重ねて

いく感じ……かな」
色どり鮮やかな水彩の世界を見て驚いた。俺に見える風景とは明らかに違う。感性が豊かであることは間違いない。一方で、華やかではあるけど、何か引っかかる。
「ちょっと人を描くのは苦手で……」
そういえば全て風景画だったな。人物画も上手に描けると思うんだけど。
スケッチブックは、おばあちゃんからのプレゼントだそうだ。とても大切にしているのが伝わってきて微笑ましい。
「榊さん、少しお時間ありますか?」
公園の遊具に誘う雪代さん。俺はついていくのがやっとだ。聞けば実家が牧場をやっているそうだ。幼いころから乗馬で鍛えた見事なバランス感覚。その他にも雪代さんの親友の話とか、俺の家族の話。ずいぶん会話が弾んだ。
また会いたい。今まで漠然としていた思いが俺の中にはっきりと姿を現した。

神秘の沼

水がある場所。雪代さんの言葉をヒントに、今日もこの神仙沼へ。前回は道具だけで彼女の姿は見当たらなかったが。
トレイルを歩いて沼へ到着。雪代さんが、ベンチで居眠りをしている。この穏やかな自然と陽気。仕方ないよな。
「これは、お恥ずかしいところを!」
水は、何かを主張せず、人を受け入れてくれる存在だから落ち着くのだそうだ。
「それでわたしにモデルをってことだったんですか」
鋭明展にエントリーして、取材をしていることを話した。そして、あの人のこと、最高の一枚のことも。
「とても素晴らしいと思います」
仕事に誇りを持ち、目標に向かって努力する俺のことを褒めてくれる。口だけで終わらないように俺も気合入れないと。
「ちょっとだけ、好きになっちゃったかも……『変な意味』で」
別れ際に意味深な言葉を残して去っていく雪代さんだった。

別の世界があったら

留萌近くの海岸沿いを走っていると、千望台という景勝地を見つけたので立ち寄ってみる。
今日は約束もヒントもなかったから、本当に偶然だった。
「こんなに何度も会うのって運命的な感じですね」
運命は大げさかも知れないけど、本当によく会う。まあ、雪代さんの行きそうなところを狙っていないといえば嘘になるが。
「そっか……それなら嬉しいな……」
ふたりで景色を一望できる場所まで歩く。
「パラレルワールドです」
自分が強く生きられる、別な世界があったら、という話だ。やはり過去になにか事情があって、大学を休学しているのだろう。
過去ばかり見てても仕方ないですよね、という彼女に、過去を振り返って未来に生かせばいいんじゃないか、と返答する。
「榊さんはポジティブ志向なんだなぁ……すごいや」
聞けば獣医学部だそうだ。小さい頃から獣医になって家族や地域を支えたいというのが夢だと。相当の難関、頑張ったんだな。
小学生の頃、実家の牧場から桜花賞馬を輩出した話をする目が、悲しそうに見えたのだが、気のせいだろうか。もっと、もっと雪代さんのことを知りたいな。
「はい、もちろん!」
また会えないか、という俺の提案に明るく即答してくれる。彼女もそう思っていたそうだ。翌週の月曜日、白銀の滝での再会を約束して今日はお別れだ。

最終週

いよいよ取材も最終週。今日は雪代さんと待ち合わせだ。約束の時刻ちょうどに白い車が安全運転で入ってくる。
「榊さん、すみません、お待たせしました!」
大きなものではないが、間近に見ると迫力のある白銀の滝。話は旅と旅行の違い、というテーマになっていた。
「……自分に、向き合う……」
自分に向き合い何かを掴もうとするのが旅、という話に興味を持ったようだ。
消波ブロックの上で、遠くを見つめる雪代さん。
「幼い頃の記憶がほとんどないんです」
これは驚いた。8歳の冬より前の記憶が、ほとんどないそうだ。ある日突然、人生が始まった……そんな感覚だと。
「榊さんの取材、いつまでですか?」
今週までであることを打ち明けると、やはり寂しそう。それは俺も同じだ。
「わたし、榊さんに出会えて、本当によかった」
休学の原因はどうあれ、一人で抱え込んで悩む彼女の一助になれたのなら幸いだ。もちろん俺だって気持ちは同じ。また会いたい、ずっと一緒にいたい、と勇気を出してストレートに申し出てみる。
「ダメです……」
自分は大学に復学するつもりだし、俺には仕事もある、と。ただ、完全には決めかねている様子でもある。
先のことはわからないが、少なくとも俺が帰るまでの一週間はたくさん思い出をつくろう。連絡先を交換し、明日また会う約束をして滝をあとにした。

別れの宣言

新冠町にある牧場。観光用ではなく競走馬を育成する総合牧場のようだ。知り合いに挨拶をしていた雪代さんが戻ってきた。
『馬と話す男』の話を交えて、馬とのコミュニケーション方法を教えてくれる。
トップクラスの種牡馬だと、1年で

２００回以上種付けをすることもあるのだとか。
「やっぱり男の人ってみんなハーレムに憧れるんですね」
　からかわれてしまった。
「でもわたしは、立ち止まってしまいました……」
　頂点目指して厳しい道のりを戦い抜く競走馬たちと自分を比較する雪代さん。前向きになってくれるといいんだが。
　競馬のことは詳しくないが、ダービー目指して奮闘する生産者の話などを興味深く聞きながら、取材を進めて行く。
　夕暮れも近い頃、駐車場へと着いた。また1日、雪代さんとの別れが近づいてきたんだな……。
「榊さんとは、やっぱり取材が終わったらお別れにしたいです」
　覚悟はしていた。言葉が少しずつ、胸に染みこんでいく。
「今のお仕事をやめちゃダメです……やめてほしくないです」
　遠距離恋愛で離れ離れというのは耐えられないか。致し方ない。頭を切り替えて、明日からのことを考えることにした。残された時間、よい思い出をつくろう。

祖母の愛情

「榊さん、こっちです！」
　今日も牧場の取材だ。留学中の親友の家族が経営する牧場。家族ぐるみの付き合いで雪代さんのお婆ちゃんも来ているらしい。
　一件華やかに見える競走馬の世界。その厳しい一面を話してくれる。例の桜花賞馬も引退レースで予後不良になったのだとか。
「大きな怪我をしたお馬さんも、救えるようになりたい」
　なるほど、千望台で見せた表情はそういうことだったのか。
「明里のこと、本当に感謝してるよ」
　お婆さんは二人きりで話をしてくれた。高校時代からストーカーの被害にあっていて、休学を余儀なくされたのだとか。男は別の事件で逮捕されたらしいが、雪代さんの心の傷は深かった。
「わたしにとって、今までで一番冷たくて長い冬だったな」
　ずっと窓の外を見るだけの雪代さんに、お婆ちゃんが買ってきてくれたスケッチブック。それをきっかけに外へ。そして少しずつ遠くへ。
「もう何日もないけど、その間、明里をよろしくね」
　残された時間、雪代さんのためにできることをしよう。明後日の約束をして牧場をあとにする。早く会いたいな……。

記憶を探す旅

「榊さん……嫌……ですか？」
　快晴の昼下がり。ニセコにある一件宿の温泉。まさか泊まり、しかも同部屋とは。
「プ・レ・ゼ・ン・ト、です」

雪景色をね、思い出すの。真っ白な雪景色……

MEMO：
　22日の白銀の滝で選択肢を間違えなければ、あとはここまで一直線だ。ただしこのまますんなりいきそうかと思いきや、そうは問屋が卸さない。この日までの明里に関する記事を全て書いておかないと、この温泉お泊まりでシナリオは終了してしまい冬の旅へ続かないのだ。
　もちろんここで終わりになっても、それはバッドエンドではなくノーマルエンド、つまりもうひとつの結末の形。是非とも敬遠せずに一度は見届けてほしい。

雪代さんの家族から好意らしい。両親公認だしここで断ることもできないか。
　館内をチェックしたあと、ひとり露天風呂へ。岩陰に先客がいるようだ。
「この、バスタオルの下……とか」
　気にならないと言えば嘘だ。雪代さんの胸の膨らみや腿がいやでも目に入る。
　湯の中で、そっと手を掴む雪代さん。
「今だけは、わたしだけの榊さん……榊さんだけのわたし……」
「千尋って呼んでもいいですか？」
　お互い、名前で呼び合おうと約束をする。『千尋』と『明里』だ。別れまで何日もないが、距離が縮まった気がした。
「はい、あーん」
　採れたての山菜や海の幸、そして白老牛までずらりと並ぶ豪華な夕食を済ませたあと、部屋に帰り今日の記事をアップする。明里が隣に座る。実際に自分の写真が使われているのが嬉しいようだ。
「しばらく、こうさせてね……」
　肩に頭を乗せた明里の髪をそっとなでた。
「千尋、起きてる……？」
　夜半過ぎ。なくした記憶のことを語りはじめる明里。人物画が描けないのも、過去が原因じゃないかと。おそらく良からぬことであろう、家族も話してくれないのだ。
「雪景色をね、思い出すの」
　冬になれば記憶を探す旅をしたいという。真っ白な雪林の中、不安に怯えていた記憶の断片。旅をする者として、自分に向き合う明里を応援しないわけにはいかない。

「ありがと、千尋……それじゃあ、お願いね……」
冬の旅へ同行することにした。やはり色々と心配な要素が多い。それに、また会えるから……。
「千尋、大好き……」
翌朝。明里の車でバイクが置いてある駅に向かう。初めてのタンデムだ。
「千尋と、どこまでも、行きたいな」
陸別で、銀河の森という看板を見つけた。
「冬になったら……冬になったら、またここに来よう?」
俺の旅は、まだこの先も続くんだ。
またな……北海道。

冬の北海道へ

眼下の景色が、ゆっくりと後方へ流れていく。新千歳へは90分程のフライトだ。
『千尋へ』
数日前届いた明里からのメール。復学も果たし、いよいよ記憶探しの旅への準備も始めるようだ。
こちらはというと、鋭明展の主催者から、追加のコラムの話が舞い込んできた。冬の北海道には興味があったので、渡りに船だ。2週間の日程で、明里との旅と取材を両立させることになる。
新千歳からは電車を利用した。雪に包まれた札幌の街は、幻想的な佇まいでまるで絵画のようだ。
明里との待ち合わせは明日、陸別で。今日はひとりホテルにチェックインをする。
「それじゃあ、頑張れよ」
渋川デスクからは気負う必要はないと声をかけられたが、明日からの旅に俺の期待は膨らむばかりだった。

日本で一番寒い町

寒っ！　マイナス22℃の洗礼に思わず声が出る。約束の地、陸別。今日はここで明里と待ち合わせ。半年ぶりの再会だ。
「だーれだ?」
久しぶりに見る明里の笑顔。立ち話では寒いのでゆっくりと歩き出す。
「うん、お願いされました♪」
夏のように記事のノルマはないが、明里のモデル抜きではやはり物足りない。
『冬になったら、またここに来よう?』
しばらく歩くと、あの天文台に着いた。中は結構広く、陸別の自然や低緯度オーロラに関する展示がされている。
「わぁ……すごく大きい!」
2階には大型の望遠鏡があった。想像以上のサイズだ。
明里の大学のこと、俺の取材のこと。すっかり話し込んでしまい、外に出た頃には日が暮れていた。
「千尋、大丈夫っ!?」
空を見上げて歩いていたら、足を滑らせて転んでしまった。頭越しに心配する明里の逆さま姿が新鮮だ。星もきれいで悪い気分じゃない。
「妖精や精霊って、いると思う?」
ファンタジーな話を最後に陸別をあとにする。今日は旭川泊、明里は隣の部屋だ。

雪まつり

「今年はどんなのがあるのかな~」
明里は札幌在住だから戻ることになってしまうが、この時期北海道に来てさっぽろ雪まつりを見ない手はないだろう。メインの大通会場へやって来た。展示やイベントが延々と並んでいるのは壮観だ。
「きっと綺麗なんだろうな……」
インド風の建物を模した雪像が目を引く。夜になるとプロジェクションマッピングが実施されているらしい。明里も興味津々のようだし、夜にまた来てみようか。
「本当にすごかったね!」
ほんの数分だったが、花や動物の映像が雪像の凹凸を計算して投影され、圧巻の上映だ。余韻に浸りながら、ライトアップされた会場を歩きながら話す。
「なんか、よくわかんなくなってきちゃった……かも」
旅を始めたものの、記憶の回復は一向に進まないらしい。以前は断片的ではあるがはっきりしていた記憶でさえ、空想のことのように感じるという。心の奥底で『思い出したくない』と思っているのでは、と。
「……なーんて、考え過ぎかな」
努めて明るくふるまう明里。とりあえず

記憶を取り戻すどころか、むしろ曖昧になってきちゃった

MEMO：
風雨来記シリーズを通じて初となる冬の北海道へは、明里ルートから入ることになる。雪で覆われても大地の魅力は色褪せない。それどころかより強く『北海道』を意識させてくれる。冬季シナリオは一本道だ。

プロジェクションマッピングは壮観

雪まつりは北国の祭典の象徴的存在だ

旭川まで戻り、明日からの旅に備えることにしよう。

SL冬の湿原号

「もう、そんなになるんだ……」

雪まつりが4日前、俺が北海道に来てから1週間になる。今、俺たちは雪の釧路湿原を走る列車の車上にいる。

「駅に辿り着いて……」

雪の中をひとり歩き、気がつけば駅で両親に抱きしめられていた記憶。それを頼りに駅めぐりを始めたが、今のところ進展はなく、明里の表情も沈みがちだ。

疲れ気味の明里をそっと休ませ、車内を探検する。売店でスルメを購入して達磨ストーブで焼くこともできるんだな。

席に戻ると明里がうとうとしている。一枚撮影しておこうか。

「あーん、もう、寝てる時の写真だけは禁止だよ～！」

目を覚ました明里とふたりで車内を見てまわる。最後部のデッキにたどり着いた。とても寒いが、景色を見ていたいという。

「二人はね、最後には別れちゃうの」

記憶を失う前に読んでいた、お気に入りの絵本のストーリー。この冬の旅が終わればまた俺たちは離れ離れ。この半年間で、やはり遠距離恋愛は無理だと、明里は改めて実感したらしい。

「卒業したら、東京に行こうかな」

冗談を言う明里。獣医になって地域を支える、それが彼女の夢だもんな。

美瑛駅で

美瑛へやってきた。手かがりはまだない。

「わぁ……すごく真っ白……」

辺り一面に広がる雪景色。鉄道の旅が続いていたから、雪道の徒歩が新鮮だ。

「この辺り、見覚えあるかも……」

明里が立ち止まった。しかし、まだ記憶はあいまいなようだ。しばらく歩いて美瑛駅へと到着する。

「はぁ……はぁ……」

明里が苦しそうに何度も深く呼吸している。医者を呼ぼうという俺を制止し、ベンチに座る明里。外も暗くなり始めた頃、明里の様子はすっかり落ち着いていた。

「わたし……ここで、誘拐……された」

ぽつぽつと話し始めた。8歳の頃、お婆ちゃんと旅行に来た。この駅で二人組の男に襲われたのだ。

「わたしのせいで、お婆ちゃんが……」

涙を浮かべながら話す明里。倒れたお婆ちゃんから流れる真っ赤な血を鮮烈に覚えているという。その時の怪我で左目が不自由になったらしい。ひとり連れて行かれる明里。思い出せたのはここまでだ。

「わたしのせいで、お婆ちゃんが……」

神仙沼で絵の具を見た時、赤だけが抜けていたのは、この体験のせいだったのか。

氷の世界

翌日。ここは十勝北縁、扇が原展望台だ。

「キツ……ネ……？」

キツネの姿を見てはしゃぐかと思いきや、なぜかそれ以上の言葉はない。じっとキツネを見つめるだけの長い時間。

「えへへ、うん、思い出したよ」

にっこり微笑む明里。昨日のような変調もない。

「千尋にも、あとで聞いてほしいな」

然別湖のイベントにやって来た。しかりべつ湖コタン。氷の建物がいくつも並んでいる。カフェや露天風呂まであるらしいぞ。今日はここに泊まるとするか。

「千尋、ありがとう♪」

嬉しそうに腕を絡めてくる明里だった。

氷のブロックを積み重ねたイグルー。いくつか立ち寄ったあと、凍結した湖上でスノーモービルを楽しむ。湖上の更に奥にはアイスチャペルがあった。

夜。明里とともに露天風呂へ。夜は男女交代制だが先客はいない。あまり待たせちゃ悪いから急がなきゃ。

「えへへ、入ってきちゃった」

男子の時間も残り僅か。このまま帰しても風邪をひいてしまうだろうし、二人で湯船につかることにした。

「千尋……このままお願い」

体を寄せてくる明里。

「大学をやめてもいいから、千尋と一緒にいたい」

「もう、気持ちが止まらないよ」

「千尋……キス、して？」

俺には……できなかった。記憶が戻って精神的に不安定な明里。一緒にいたいと言うのは嬉しいが夢を諦めてほしくはない。

「千尋、ありがとうね」

MEMO：然別湖コタンのアイスカフェでカクテルを傾ける二人。このシーンは明里に関する冬の記事を毎回アップしておかないと見られないぞ。

湖の上にイグルーが。厳冬の北海道なればこそ

明里の誘惑に勝てるか

千尋てば、細かいところまで見てるんだね

アイスチャペルに明里はいた。静かに佇んでいた彼女の隣に腰を下ろす。
「みんなみんな、思い出したよ」
誘拐された明里は車で町から離れたところに連れ去られた。監禁されていたが、気がつくとなぜか目隠しはとれ林の中に立っていたという。犯人から逃れ歩いていると、一匹のキツネに出会う。よく見るとそばに妖精がいる。妖精と空を駆け巡ったあと、ひとり歩いていると駅で両親に再会したという顛末だ。
その後、犯人の似顔絵を作成している時に過呼吸を起こした。人物画が今でも描けないのはそのためだ。
夜中に外へ出て満天の星空を見上げた。本当に色々なことがあった一日だったが、こんな夜も、悪くないかな。

旅の終わり

あれから、俺と明里は再び旅を続けている。ここは摩周第一展望台だ。
「お婆ちゃん……怪我で、もう寝たきりになっちゃうかもしれないって……」
コタンに泊まった翌朝。入院の報を聞いて俺たちは浦河の病院へ向かった。それ以来、確かに表情は冴えなかった。
『東京へ行く』などとわがままを行ったから罰が当たったのだと言う。そんなに思いつめないでほしい。

知床斜里と網走を結ぶ流氷ノロッコ号。沈みがちな明里を観光列車に乗せてみた。しばらくの沈黙のあと、外を見つめたまま口を開く明里。
「いつもわたしに付きあわせちゃって、ゴメンね」
俺は明里が好きだし、いくらでも振り回してくれて構わない。
「わたしも、千尋のこと、好きだよ」
少し表情は和らいだかな。夏の思い出に話が咲くうち、列車は北浜駅を経て網走へと到着した。
「千尋、すごいよ、すごい!」
網走では流氷観光船おーろら号に乗船する。流氷が間近に見え明里も興奮気味だ。随分元気が出てきたようでよかった。

お互い、必ず幸せになろうね

冬の旅を経て、明里は前向きに

この明里によく似た子は一体……?

MEMO：
然別湖でキスをしたか否かによってエンディングが分岐する。基本的にはキスを拒んだ方が正解。しかしもう片方のルートが間違い(ゲームオーバー)かというと、必ずしもそうではないのが風雨来記『らしい』部分だ。是非とも両方の結末を確認してほしい。

「あのね、いろいろ考えたんだけど……」
「千尋とは、やっぱりお別れしようと思うの」
明里の言葉が、胸に染みる。お婆ちゃんの側にいることを決断したようだ。考えた末のことだろう。尊重しなきゃな。
「本当に、千尋は優しいな……」
翌日美瑛へ。明里にとって、忘れたくても忘れられない場所だ。少し心配だったが、体調にも変化は見られない。
「モデルも、もう終わっちゃうんだな」
どこまでも続く道。俺と明里は歩いて、歩いて。気がつけば夕暮れが迫る。
「わたしの子どもと千尋の子ども、許嫁にしない?」
面白いことを考えるものだ。俺たちも早く出会っていたら、違う未来があったかも。そんな思いを子どもたちに託すのか。
「別れを引きずらないための、おまじないなの」
二人の旅も、もう残りわずかだ。

双子の木

「千尋との始まりの場所だね」
ニセコの双子の木。出会った時青々と茂っていた木々も、葉が落ちている。
「去年の初夏のこと……今回の旅のこと……わたしの大切な、大切な宝物にするから……」
明里は満面の笑みを浮かべる。
「……千尋、指切りしよ?」
差し出した小指に、俺の小指を絡める。
「千尋……大好き……だったよ」
俺も……明里のこと、大好きだった。
「……指切った♪」
明里の声が、空へと響いていった。
明里と別れてから半年。俺はまたこの場所に来ている。
あれから、明里とは直接連絡をとっていない。きっと、大学で夢に向かって頑張っているのだろう。
俺も頑張らないとな。
『最高の一枚』を探す旅……それは、これからも、続くんだ。

企画資料編

風雨来記3

ふうらいき

■松本女史のお悩み相談室

キャンプ中に出会った不思議な雰囲気を漂わせる女性。人生と休息、そして自分らしさとは何か。惑う千尋に優しく語りかけてくれる。

条件
各ヒロインを攻略していない状態で16日朝を迎え、18日目までに長万部公園を訪れる

■ギターのおっちゃん連続イベント

旅はバイクとカメラとギターだ、と言うブルースロッカー。焚き火にあたりながら、そしてギターを通じて、旅と人生について語る。

条件
各ヒロインを攻略していない状態で19日夕を迎え、22・23・24日にそれぞれ札幌を訪れる

■秘湯情報

川又温泉で湯を共にした男性と、北海道の秘湯について話す。薫別温泉と金花湯の情報を手に入れ、このうち薫別には後日行けるようになる。

条件
川又温泉を訪れる

■トマト農家

美唄に畑を構える農家にて、青年が農業について語る。Vita 版には２回目が追加されている。

条件
農家を訪れる

■Ｉターン

関西から北海道へ移住、Ｉターン就職した男性と北海道の懐の大きさについて語る。

条件
更別を訪れる

■沈む三弦橋

シューパロ湖を訪れていた老年のライダーと、湖へ沈む運命の遺構と人生について語る。

条件
シューパロ湖を訪れる

■最北端から最南端

北から南を一日で制覇し、達成感に浸る千尋。特別なＣＧはないが、裏ではボーナスとして記事総得点に３点が加算される。

条件
宗谷岬から白神岬まで一日で走破する

■最西端から最東端 PSV

西から東を一日で制覇し、達成感に浸る千尋。特別なＣＧはないが、裏ではボーナスとして記事総得点に３点が加算され、さらに写真を撮っておけば記事も書ける。

条件
太田山神社から納沙布岬まで一日で走破する

■災害復旧工事

幌鹿峠を通る道が大雨災害で崩落し、その復旧工事に遭遇した千尋は、自然の脅威と人間の立ち向かう力に思いをよせる。

条件
ツーリングモードで、道道85号鹿追糠平線の幌鹿峠（糠平湖～然別湖間）を通過する

■違反切符

北海道の快走路はどうしても飛ばしてしまいがち。気を抜いて走っているとスタミナを削られることが……

条件

三川国道の夕張紅葉山付近（右図）を東へ向かって複数回通過する

■雨宿り

通り雨に降られ、近くの木陰で雨宿りした千尋が旅とバイクについて考える。

条件

ツーリングモード走行中、8.33‰の確率で

■彼もまた……

ツーリング中、突然のバイク不調が千尋を襲う。人里離れた山奥で対処する中、運良く一台の軽トラが通りかかって——

条件

10日目～20日目の間に広尾国道のうち天馬街道区間を複数回通過する

■温泉兄貴

北海道の温泉が大好きなガチムチ兄貴。平田内、川又、吹上、鹿の湯、テムジン、からまつ、と道内各地の温泉で出会ったのち、嵐の如く過ぎ去っていく。

条件

泉ルートに入っていない状態で上記いずれかの温泉へ浸かりにいく

■第二の人生

宗谷岬で、日本縦断を果たした男性から代わりのシャッターを頼まれる。

条件

宗谷岬を複数回たずね歩く

■チャリダー連続イベント

道内各地の峠で出会う、北海道一周中のチャリダー。千尋と同じく、特に目的地を決めず体力の続くところまで走っているという。ライダーとはまた違った視点で語ってくれる。

日勝峠・千望峠・美幌峠（各スポット２回目以降）	チャリダー１・心臓で北海道を感じる
	チャリダー２・人間のメンテナンス
三国峠（２回目以降）	チャリダー３・乾杯

■星を追う人連続イベント

キャンプ中に出会う、流星群を追っているフォトグラファー。ルポライターの自分とはまた違う一枚の追い方に触れ、千尋はよい刺激を受ける。

５日目以降　朝（ヒロイン未攻略時のみ）	星を追う人１・出会い
９日目以降　夕	星を追う人２・再会１
	星を追う人３・再会２
21日目　夕（星を追う人３を発生させたキャンプ場へ土曜日についていること）	星を追う人４・天翔る星の……

■日曜日ランダムイベント

日曜日に特定のキャンプ地で過ごしていると一定確率で発生する。

キャンプ地	行き先・内容
和琴半島湖畔キャンプ場	湖畔でのんびり
川汲公園	函館市銭亀沢周辺
東大沼野営場	
大成野営場	八雲町鉛川周辺
賀老高原キャンプ場	寿都町歌棄町美谷周辺
かなやま湖畔キャンプ場	狩勝峠
コニファーキャンプ場	
穂別キャンプ場	不穏な天気で取り止める
仲洞爺キャンプ場	壮瞥町壮瞥温泉周辺
札内川園地キャンプ場	広尾町フンベ周辺

■駐車場ランダムイベント

初回探訪時を除く下記の各スポット駐車場で発生する。

	老眼鏡をなくした男性に地図を代読する	グループ旅行客に飲食店を訊かれるが答えられない	地元の青年と交流「いいなぁ、内地へ行きたいよ」	地元おばちゃんと交流「広さだけはあるからねぇ」	地元おじちゃんと交流「最近若いライダーが減った」	地元おじいちゃんと交流「バイクを楽しみなさい」	地元ライダー、ホーネット乗りと交流する	日本を縦断しているというライダーと交流する	脱水症状を起こしかけていたライダーを助ける	青年に「バイクは危ないからやっぱり車」と言われる	観光バス来たる	花農家のおばちゃんに「婿に来ないか」と迫られる	甜菜農家から、秋の収穫のバイトに誘われる	ドリブルをしながら日本縦断を目指す青年	大きな十字架を担いで行進する牧師の噂を耳にする	旅人からおすすめスポットを聞く（石狩油田跡出現）	富良野のラベンダーを薦められる（日の出公園出現）	薫別温泉の噂を耳にする	九州から来た親子連れにぶつかる	ソフトクリーム同好会から逆取材 PSV	新婚カップルに写真を頼まれる
札幌																					
白銀の滝																					
支笏湖																					
スウェーデンヒルズ																					
函館																					
大沼公園																					
きじひき高原																					
白神岬																					
平田内温泉																					
長万部公園																					
矢越海岸																					
重内神社																					
水無海浜温泉																					
松前城																					
汐首岬																					
川汲公園																					
江差																					
厚沢部																					
太田山神社																					
追分ソーランライン																					
夷王山																					
倶知安																					
賀老高原																					
セタカムイ岩																					
芝桜の丘																					
神仙沼																					
雷電																					
神威岬																					
シューパロ湖																					
ひまわりの里																					
美瑛																					
新栄の丘																					
青い池																					
吹上温泉																					
千望峠																					
旭岳																					
音威子府																					
北落合																					
日の出公園																					
大雪旭岳源水																					
三号線神社																					
函岳																					
かなやま湖																					

	老眼鏡をなくした男性に地図を代読する	グループ旅行客に飲食店を訊かれるが答えられない	地元の青年と交流「いいなぁ、内地へ行きたいよ」	地元おばちゃんと交流「広さだけはあるからねえ」	地元おじちゃんと交流「最近若いライダーが減った」	地元おじいちゃんと交流「バイクを楽しみなさい」	地元ライダー、ホーネット乗りと交流する	日本を縦断しているというライダーと交流する	脱水症状を起こしかけていたライダーを助ける	青年に「バイクは危ないからやっぱり車』と言われる	観光バス来たる	花農家のおばちゃんに「婿に来ないか」と迫られる	甜菜農家から、秋の収穫のバイトに誘われる	ドリブルをしながら日本縦断を目指す青年	大きな十字架を担いで行進する牧師の噂を耳にする	旅人からおすすめスポットを聞く（石狩油田跡出現）	富良野のラベンダーを薦められる（日の出公園出現）	薫別温泉の噂を耳にする	九州から来た親子連れにぶつかる	ソフトクリーム同好会から逆取材	新婚カップルに写真を頼まれる
ジェットコースターの路																					
仁宇布																					
雄冬岬展望台																					
増毛																					
稚内																					
野寒布岬																					
宗谷丘陵																					
宗谷岬																					
音類																					
オロロンライン																					
エサヌカ																					
ウスタイベ千畳岩																					
カムイト沼																					
コムケ																					
能取岬																					
美幌峠																					
裏摩周展望台																					
さくらの滝																					
来運湧水																					
知床五湖																					
カムイワッカ																					
興部																					
上白滝																					
山彦の滝																					
瞰望岩																					
神の子池																					
越川橋梁																					
日ノ出岬																					
浜小清水																					
じゃがいも街道直売所																					
フレペの滝																					
岩尾別温泉																					
室蘭																					
ポロト																					
苫小牧港																					
登別																					
川又温泉																					
西山火口																					
キムンドの滝																					
洞爺湖																					
緑ヶ丘公園																					
ウトナイ湖																					
すずらん群生地																					
エンルム岬																					

	老眼鏡をなくした男性に地図を代読する	グループ旅行客に飲食店を訊かれるが答えられない	地元の青年と交流「いいなぁ、内地へ行きたいよ」	地元おばちゃんと交流「広さだけはあるからねえ」	地元おじちゃんと交流「最近若いライダーが減った」	地元おじいちゃんと交流「バイクを楽しみなさい」	地元ライダー、ホーネット乗りと交流する	日本を縦断しているというライダーと交流する	脱水症状を起こしかけていたライダーを助ける	青年に「バイクは危ないからやっぱり車」と言われる	観光バス来たる	花農家のおばちゃんに「婿に来ないか」と迫られる	甜菜農家から、秋の収穫のバイトに誘われる	ドリブルをしながら日本縦断を目指す青年	大きな十字架を担いで行進する牧師の噂を耳にする	旅人からおすすめスポットを聞く（石狩油田跡出現）	富良野のラベンダーを薦められる（日の出公園出現）	薫別温泉の噂を耳にする	九州から来た親子連れにぶつかる	ソフトクリーム同好会から逆取材 PSV	新婚カップルに写真を頼まれる
襟裳岬																					
浦河海岸																					
翠明橋公園																					
黄金道路																					
帯広																					
三国峠																					
鹿の湯																					
ナイタイ高原牧場																					
士幌高原																					
十勝清水																					
日勝峠																					
円山展望台																					
札内川園地																					
十勝が丘																					
湧洞湖																					
瓜幕																					
想いやりファーム																					
更別																					
昆布刈石																					
狩勝峠																					
鹿追																					
扇が原展望台																					
東雲湖																					
豊岡展望台																					
タウシュベツ展望台																					
陸別																					
摩周駅																					
阿寒湖																					
和琴半島																					
藻琴山展望台																					
摩周第三展望台																					
細岡展望台																					
尻羽岬																					
岩保木水門																					
仙鳳趾																					
コッタロ展望台																					
霧多布湿原																					
摩周第一展望台																					
北太平洋シーサイドライン																					
からまつの湯																					
開陽台																					
熊の湯																					
春国岱																					
納沙布岬																					

記事ネタ一覧

■鋭明展の仕様

最低でも週に一度更新する必要があるというのは既に述べたとおりだが、ここでは鋭明展の裏側の仕様を解説しよう。

投稿した記事は運営委員会と読者によって5点満点で評価され、この累計点数の結果が、毎週土曜日に発表されるランキングへと反映される。

察しのよい読者はおわかりだろう。ランキングは累計点で判断される――つまり厳選した5点の記事を週にたったひとつだけ書くよりも、1点でも2点でもよいから、とにかく毎日まめに記事を書いた方が評価は上がるのだ。

さらに、毎日欠かさず投稿すると、各週末にボーナスとして記事の得点とは別枠で3点（PC版は2点）が加算される。まさに継続は力なり、である。

■上位を狙うには

しかしだからといって毎日闇雲に記事を書いただけでは上位へ食い込むことは難しいだろう。

毎日更新することに加え、当たり前の話だが、その記事内容も良質なものでなくてはならない。しかも良質な記事はおいそれと簡単に入手できる場所にはあまり転がっていないのだ。

■よい記事を確保しよう

ではどうすれば評価の高い記事を入手できるのだろうか？　それにはある程度の法則がある。

それはスポットに足しげく通うことだ。複数回訪れることで新たな発見があるかもしれないし、造詣を深めることができるかもしれない。

中には探訪初回で高い評価の記事を獲得できる場所もあるが、得してそういうスポットは出現させるのに手間がかかったりするものだ。

良質な記事はひたすら足で稼ごう。

■イベント記事

ヒロインイベントやサブイベントをこなすことで書けるようになる記事もある。……が、全体の傾向としてはあまり点数のよいものではない。なお、最初にフェリーで執筆する記事は評価対象外だ。

■記事の評価

各記事はどれくらいの評価を期待できるのか、以下掲載するリストでは星の数でそれが表わされている。

最も評価の低いもの（★）から最も評価の高いもの（★★★★★）まで5段階。

エリア	場所	記事ネタ	評価	条件／備考
石狩	札幌	時計台	★★★	探訪１回目
		旧道庁	★	探訪２回目
		大通公園を臨んで	★★	探訪３回目
		札幌駅北口にて	★★	探訪４回目
		狸小路商店街	★	探訪５回目
	石狩油田跡	今も生きる油田	★★★	
		特別な場所	★★★	
	白銀の滝	悲願の国道	★★	
	支笏湖	北海道で一番深い湖	★★	
	スウェーデンヒルズ	外国気分の住宅街	★★★★	
渡島	函館	函館朝市	★	探訪１回目
		駅近くの公園にて	★★	探訪２回目
		函館山がある景色	★	探訪３回目
		五稜郭公園で感じたこと	★★★	探訪４回目
		函館山の裏の顔	★★★★	探訪５回目で要塞跡を見つけ、探訪６回目で実地調査をする
	大沼公園	何も考えない場所	★★	
	きじひき高原	距離感とは	★★★	
		北海道を凝縮！	★★	
	白神岬	北海道最南端	★	
		海に感じること	★★	
	平田内温泉	滝の音と緑を感じる温泉	★★★	
	長万部公園	まっさらな気持ちに	★★	

エリア	場所	記事ネタ	評価	条件／備考
渡島	矢越海岸	道南の知床	★	
		時と場所との縁	★★	
	重内神社	境内から見える道	★★	
		重内神社でゆっくりと	★★	
	水無海浜温泉	海の中の温泉	★★★★	
	松前城	北海道にある、江戸時代	★★★	
	汐首岬	幻の戸井線	★★	
	川汲公園	川汲公園なんと読む？	★★	
檜山	江差	伝統のにしんそば	★★★	
		横山家にて	★★★	
	厚沢部	じゃがいも焼酎	★	
		自然の表と裏の顔	★★	
	太田山神社	壮絶、急斜面と格闘	★★★	探訪２回目（ＰＣ版は★）
		到達！　最強（最狂？）の神社	★★★★★	探訪３回目、ただし２回目記事を執筆済みであること
	追分ソーランライン	旧道	★★	
後志	倶知安	日本一の水	★	
	賀老高原	水しぶきに身を任せて	★★	
		賀老の滝で思ったこと	★★★	
	セタカムイ岩	岩盤崩落事故の記憶	★★	
	芝桜の丘	満開の絨毯	★★★	
	双子の木	寄り添う木と大地と山	★★	
	神仙沼	ニセコの懐、名景勝地	★★	
	雷電	旧道にお疲れ様	★★★★	
	神威岬	神が宿る岬	★★	
	鏡沼	神秘の沼を独り占め	★★★	
空知	農家	農業について考えさせられたこと	★★★★	
		続・農業について	★★★★	探訪１回目記事を執筆済みであること：Vita版のみ
	シューパロ湖	消えゆく運命・再生する未来	★★★	
	ひまわりの里	日本一のひまわり畑	★★★★	
上川	美瑛	有名な地の無名な丘から	★★★	
	新栄の丘	見渡す限りの丘	★★	
	青い池	初めて見つけた人に	★★	
	吹上温泉	上富良野の野湯にて	★★★	
	千望峠	落ち着く駐車公園	★★	
		黄金色の畑にて	★★★★★	第四週の隠しスポットバージョン
	旭岳	擂鉢池と姿見の池	★★	
		可愛い旅の同伴者との再会	★★	
	音威子府	黒い蕎麦	★★	
	北落合	北海道の空気を感じて……	★★	
	日の出公園	ラベンダーに包まれて	★★	
	大雪旭岳源水	自然の恵み	★★★	
	三号線神社	地鎮と豊饒の神	★★	
	函岳	山に囲まれて	★★★	
	かなやま湖	人造と自然の調和する湖	★★★	
	ジェットコースターの路	上富良野コースター	★★	
	仁宇布	王国と廃線	★★★	
留萌	三毛別	羆事件	★★	
	雄冬岬展望台	陸の孤島、雄冬岬	★★★★	

エリア	場所	記事ネタ	評価	条件／備考
留萌	増毛	終着駅	★★★	
		最北の酒	★★★★	
宗谷	稚内	防波ドーム	★★	
		場所との出会い	★	
	野寒布岬	灯台を見て	★	
		南極越冬隊資料展示を見て	★★★★	
	宗谷丘陵	風車と共に風を感じて	★★	
	宗谷岬	最北端！	★★	
	音類	壮観な風車と北半球ど真ん中	★★★	
		利尻礼文サロベツ国定公園の自然	★★	
	オロロンライン	原野を突っ切る道を臨んで	★★	
		俺の道	★★★	
	エサヌカ	バイクの旅	★★★	
		俺の旅	★★	
	ウスタイベ千畳岩	居心地の悪さを感じて	★	
	カムイト沼	まさに神の沼	★★★★★	
網走	コムケ	旅行と旅の違い	★★	
		見果てぬ道	★★	
	能取岬	野生動物に餌をあげないでください	★★	
		灯台のような人間になりたい	★	
		俺が追っているものは……	★★★	
	美幌峠	気負う俺を	★	
		俺の旅の形	★★★	
	裏摩周展望台	神秘性とは……	★	
	さくらの滝	サクラマスの滝登り	★★	
	きよさとストレート	果てしない道	★★★	
	来運湧水	水に願いを込めて	★★★	
	知床五湖	人を呼ぶ場所	★★	
	カムイワッカ	湯の滝	★	
	興部	新たなる出発	★★★	
	上白滝	一日一往復の駅	★★★	
	山彦の滝	裏見の滝	★★★★	
		最高の一枚のヒント	★★	
	瞰望岩	自然のスリル	★★	
	神の子池	神秘性と観光資源の問題	★	
		場所のあるべき姿	★★	
	越川橋梁	残る姿の在り方	★★	
	名も無き展望台	ＮＯ　ＮＡＭＥ	★★★	
		緑のるつぼ	★★★★	
	興部川瀑布	行者の滝にて	★★	
		行者の滝の奥には	★★★★	
		二度あることは	★★★★	
	日ノ出岬	岬いろいろ	★★	
	浜小清水	自然の花園	★★★	
	じゃがいも街道直売所	新鮮産直まっしぐら	★★★	
	フレペの滝	乙女の涙	★★★	
	岩尾別温泉	最果てのお湯	★★	
		滝見の湯	★★★	

エリア	場所	記事ネタ	評価	条件／備考
胆振	室蘭	室蘭中央市場	★	探訪１回目
		地球岬到達	★★	探訪３回目
		銀屏風　一枚のヒント	★★★	探訪４回目
		測量山	★★★	探訪５回目
	ポロト	あるがままの形で	★	
		開発と破壊の違い	★★	
	苫小牧港	始まりの港を訪れて	★★	
		旅人の息吹	★★	
	登別	地獄の谷	★	
		天然の足湯	★★★	
	川又温泉	川渡りのあと	★	
	西山火口	自然の脅威の前に	★★	
		生きる意味	★★★★	
	キムンドの滝	秘滝の神秘を感じて	★★	
	洞爺湖	洞爺湖畔で	★★	
	緑ヶ丘公園	工業の街	★★★	
	ウトナイ湖	都市の隣の大自然	★★★	
日高	すずらん群生地	可憐な花、平取にて	★★	
	エンルム岬	小高い岬から臨む海	★	
	襟裳岬	突端　果ての岬	★★	
	浦河海岸	日高昆布	★★	
	翠明橋公園	日高山脈の中にある公園	★★	
		天馬街道	★★	
	黄金道路	黄金で光る道路？	★★★	
十勝	帯広	名物・豚丼	★★	
		ホコテンで感じたこと	★	
	三国峠	標高１１３９メートルから見る絶景	★★	
		警鐘　野生動物について	★★	探訪３回目以降
	タウシュベツ橋梁	幻の橋の熱	★★★★	
	鹿の湯	深いお湯に浸かって	★	
	テムジンの湯	然別峡の秘湯の一つ	★★	
	ナイタイ高原牧場	家畜に感謝を	★	
	士幌高原	十勝平野を独占	★★★	
	十勝清水	駅の息吹を感じて	★	
	日勝峠	居場所とは……	★	
		国道２７４号を見て	★★	探訪１回目記事を執筆済みであること
	円山展望台	清水を望んで	★	
		ひたすら大きな気持ちに	★★	
	札内川園地	ピョウタンの滝	★★	
		やっぱりテント泊が好き	★★★	
	十勝が丘	緑と都市部が見える景色	★	
	浦幌炭鉱跡	緑に還りつつある遺構	★★★	
	湧洞湖	これぞ汽水湖	★★	
	岩間温泉	五感で感じる秘湯	★★★	
	士幌町４０号	ジェットコースターの道	★★	
	ヌプントムラウシ温泉	ダートの果てにある温泉	★★★	
	瓜幕	北海道らしい空気を感じて	★★★	
	想いやりファーム	絶品・想いやり生乳	★★★	

エリア	場所	記事ネタ	評価	条件／備考
十勝	更別	外に飛び出して……	★★	
	昆布刈石	恐怖の滝	★★	
	狩勝峠	峠越え	★★★★★	
	鹿追	タマゴのコインロッカー	★★	
	扇が原展望台	異色の展望台	★★	
	東雲湖	秘湖・東雲湖	★★★	
	豊岡展望台	一服といえば	★★★	
	タウシュベツ展望台	消えゆく線路	★★★	
	幌加	時の流れ	★★★	
	陸別	日本一寒い町	★★★	
釧路	摩周駅	優しく出迎えてくれる駅	★★	
		駅のそばの秘湯	★★★	
	阿寒湖	見せる表情の違い	★★	
	和琴半島	和琴温泉の内湯にて	★★	
		オヤコツ地獄	★	
		再び、和琴温泉の内湯にて	★★★★	探訪２回目、ただし内湯記事を執筆済みであること
	藻琴山展望台	北側から見える屈斜路湖	★★	
	摩周第三展望台	黙して語る湖	★★	
		カムイッシュ	★★	
	細岡展望台	釧路湿原を眺めて	★	
	尻羽岬	羽休め	★★	
		どこまでも伸びやかに	★★★	
	シュンクシタカラ湖	日本で最後に発見された湖？	★★★★	Vita版のみ
	キンムトー	盛者必衰	★★★	
	摩周第二展望台	幻の展望台	★★★★	
		最高のロケーション	★★★	
	キラコタン岬	緑と工場と	★★★	
	岩保木水門	釧路川の歴史	★★	
	仙鳳趾	牡蠣が市場に出るまで	★★★	
	摩周第一展望台	旅のスタイル	★★★★	
	コッタロ展望台	密度ある景色	★★	
	二本松展望台	秘密の展望台	★★★	
	摩周第四展望台	第四！	★★★★	
	霧多布湿原	静かな、静かな湿原	★★	
		うまいもん市	★★★★	
	北太平洋シーサイドライン	島になった半島	★★★	
根室	からまつの湯	いい旅　いい風呂　いい仲間	★★	
	開陽台	北１９号	★	
		ライダーの聖地	★★	
		北１９号再び	★★★	探訪２回目、ただし『北１９号』記事を執筆済みであること
		聖地の所以	★★★★	探訪２回目
	熊の湯	知床に抱かれる湯	★★	
	春国岱	居場所と一枚	★★	
		孤高の旅人	★★★	
	納沙布岬	本土最東端	★★	
		北海道横断！	★★★	最西端から走り切った特別バージョン：Vita版のみ
	薫別温泉	悪路の果てに……	★★★	
		俺の居場所に	★★★★	

■各ヒロイン記事ネタ

ヒロイン	場所	記事	評価	備考
なぎさ	白神岬	最南端からスタート！	★★	
	江差	鴎島にて	★	
	室蘭	奇跡の海霧	★★★	
	札幌	都心部で思ったこと	★	
	エンルム岬	自然との共存	★★	
	尻羽岬	緑と青に包まれる岬	★★★	
	春国岱	タンチョウの幸せの形	★	
	納沙布岬	仲直り	★★	
小夜	ポロト	少女とオルゴール	★★	
	函館	道南での再会	★	
	セタカムイ岩	待ち人	★	
	十勝が丘	場の流れ運の流れ	★	
	開陽台	旅人の姿	★★	
	札幌	大学にて	★★	
	青い池	オルゴールの謎、佳境へ	★★	
	吹上温泉	湯ったり、息抜き	★★	
泉	平田内温泉	温泉マニアの女の子と出会った！	★★	
	川又温泉	秘湯ならぬ秘境プール？	★	
	薫別温泉	超秘湯での再会	★★★	
	大沼公園	じゃがバター少女	★	
	オソウシ温泉	勇気をもらえた、温泉でのできごと	★★	
	ウェスタンファーム	アテンションベアーズ	★	
明里	双子の木	双子の木の出会い	★	
	夷王山	夜明けの塔	★★	
	札幌	時計台の中へ	★★★	
	夷王山	スケッチと少女	★★	
	神仙沼	目標	★	
	千望台	二度あることは三度ある	★	
	白銀の滝	一人と二人	★	
	馬産総合牧場	広大な牧場にて	★★	
	日高牧場	競走馬を愛すること	★	
	新見温泉	サプライズプレゼント	★★	上記の記事を全て書いていた場合
		スケッチ少女との思い出を胸に	★★	書き漏らしがあった場合
	札幌	北海道の旅・冬	——	冬季シナリオ記事。鋭明展対象外
	陸別	澄んだ空気と天文台	——	〃
	札幌	さっぽろ雪まつり	——	〃
	釧網本線	冬の釧路湿原	——	〃
	美瑛	探しもの	——	〃
	然別湖	妖精の記憶	——	〃
	美瑛	今回の旅を終えて	——	〃

PSV

トロフィー一覧

種類	タイトル	条件	隠し
白金	風雨来記３マスター	他の全てのトロフィーを獲得する	
金	～ふうらいき～	鋭明展で１位を獲り、一人旅ルートのトゥルーエンドをクリアする	○
	出会いと別れ	ヒロインルートを全てクリア	
	満杯のメモリー	アルバムモードの写真をコンプリートする	
	偶然なる出会いに乾杯	ランダムイベントを全て見る： ・雨宿り ・違反切符 ・温泉兄貴 ・彼もまた…… ・第二の人生 ・星を追う人連続イベント ・チャリダー連続イベント ・摩周第二展望台を教えてもらう ・日曜日ランダムイベント ・駐車場ランダムイベント	
	EXTREME北海道通	全スポットの全バリエーションを踏破する	
銀	期待の新人	一人旅ルートの２位エンドをクリアする	
	ガラナはたまに涙の味	逢沢なぎさルートをクリアする	
	未来	水科小夜ルートをクリアする	
	邂逅	富村泉ルートをクリアする	
	スケッチブックを胸に	雪代明里ルートをクリアする	
	時と場所の縁	アルバムモードのスポット写真を全て埋める	
	一期一会を大切に	アルバムモードのイベントＣＧを差分含め全て埋める	
	星を追う人	星を追う人連続イベントを全て見る	○
	心臓がエンジン	チャリダー連続イベントを全て見る	○
	たまには横道へ逸れてみよう	サブイベントを全て見る： ・ギターのおっちゃん連続イベント ・松本女史のお悩み相談室 ・秘湯情報（川又温泉） ・トマト農家１ ・トマト農家２ ・Ｉターン ・沈む三弦橋 ・災害復旧工事 ・最北端から最南端 ・最西端から最東端	
	北海道大横断	大成野営場を出発し太田山神社から納沙布岬まで一日で走り切る	○
	とても北海道通	全スポットを最低一度は訪れる	
銅	銅メダル片手に	一人旅ルートの３位エンドをクリアする	
	最高の一枚を目指して	一人旅ルートをクリアする	
	熱い男、田口	ギターおっちゃん連続イベントを全て見る	○
	松本女史のお悩み相談室	松本女史のお悩み相談室イベントを見る	○
	北海道大縦断	稚内森林公園を出発し宗谷岬から白神岬まで一日で走り切る	○
	かなり北海道通	スポットを100箇所訪れる	
	駿足の取材	スポットを一日で７箇所訪れる	
	もっと北海道通	スポットを50箇所訪れる	
	快足の取材	スポットを一日で３箇所訪れる	
	北海道通	スポットを15箇所訪れる	
	マメなお仕事	記事を毎日更新する	○

風雨来記3 よもやま問答

ブランドが【PROJECT Re：】に変わろうとも『他力本願』は不変いや普遍のフォグ。今回も皆さんから頂いた質問に答えるという形式で、風雨来記3の表裏を赤裸々に語ります。

回答者
【スカ】……株式会社フォグ プロデューサー 宗清紀之
【監督】……風雨来記3 ディレクター 椎名建矢

次回作やシリーズに関して

Q 風雨来記の次回作、舞台はどこでしょうか？

スカ 風雨来記の次は風雨来記2ですから沖縄ですな、とか意地悪はおいといて。どこなんでしょうか。リアル1→2の時はちょっとお金あったから冗談で「ハワイにするか」とか言ってましたが、今はお金ないですしね。

監督 正直、自分は北海道以外の風雨来記を想像できないんですよね。とはいえずーっと北海道というのも厳しそうですし、なかなか難しいところではあります。

基本的に旅というのはその人その人の捉え方次第。例えば近場の走ったことのない道をツーリングするだけでも旅になるのでは？ ……それをゲームとして落とし込めるかは別問題ですが。

Q 風雨来記は以前から三部作と言われていましたが、轍の物語は二作目迄というのは最初から決まっていたんでしょうか？

スカ 三部作ちゅうのは誰かが言ってましたですかね。どこかで加藤か浅野が言ってたような気もしますが。いずれにしても、具体的に三部、と決まっていたわけではありません。風雨来記2のつくりを見ても次で完結、という匂いはしないし。

自分としては、5作でも10作でも続けて行きたいという気持ちはありました。当然その当時は、ずっと轍が主人公で、と考えていました。

Q 3作目で轍から千尋という新主人公に交代した意図はなんでしょうか？

スカ スタッフが変わったからですね。スタッフが総入れ替えになって、それで主人公が轍というのは無理があった。色んな意味でね。だよねカントク。

監督 そうですね、まず轍を主人公とすることはイの一番に構想から除外しました。轍とは初代や2を作った浅野さんそのものであり、第三者がそれに手を付けることは憚られたからです。何よりも自分は3の監督である前に初代のファンなので、制作側ではなくプレーヤとしての立場から考えても、轍を（自分含め）別の誰かが勝手にいじくるなど有り得ないことでした。

しかし全くの新規に主人公を、となると「風雨来記というシリーズ物にする必然性がないよね？」ということになるし、また寂しいのも事実です。そこでスムーズな代替わりを実現させるべく、世界線はある程度維持した上で轍の背中を追わせることにしました。これは初代監督・浅野氏の背中を見る新監督の自分にも重なると思います。

これだと単純に世界観を流用しただけになってしまうので、千尋には初代との微かな接点を持たせました。その接点は、エピソード・ゼロで語られるほか、鋭明展で一位を獲れば更にわかります。

Q 千尋の物語が続きそうな流れですが、4以降の展開はあり得るのでしょうか？

スカ あり得るどころかやる気満々です。資金が確保できればなんぼでもやります旅モノは。ですので皆さんお分かりですね、お友達にも紹介して風雨来記3を買ってもらうんだゾ〜。寅さんみたいに30作とか出来ればいいなー。

監督 現実世界を舞台にする以上、一度にまとめて取材して小分けで出す、という手法はあまり使えません。時とともに世界は移り変わっていきますので。「初代の写真使って3を作れ」なんて言われたら無理でしょ（笑）。なのでその辺りの落とし込みがどうなるか、またはどうするか、これを考える必要がありますね。

単純な希望だけ言うならもちろん4以降もやりたいですが、実際に企画や仕様を考え具現化する立場としては、仮に4や5、6……と進めていくとそう遠くないうちにネタ切れになるよなあ、と。現実を相手にするとどうしてもネタは有限になってしまいます。かつて使用したスポットを再登場させる（今作のカムイワッカのように）にしても、それには10年くらいスパンおかないといけないですし。

Q 次作以降で轍がメインの作品は出ますか？

スカ　今の流れで『メイン』ということは有り得ないですね。何年か経って状況が変わればないとは言えないですが。風雨来記30は60歳の轍主演とか。

監督　先ほども述べたように、轍は不動の主人公です。轍がメインの作品は浅野さんから直々にOKが出ない限り、自分が手掛けるプロダクトからリリースされることはないでしょう。

Q 以前、風雨来記シリーズで四国とかも候補にあがった……と言っていましたが、沖縄や北海道以外の場所を今後の作品の舞台にされたりする予定はあるのでしょうか？

スカ　風雨来記2制作開始時に、四国も九州も加藤がロケハンに行っています。けど、企画段階でボツになりました。ゲームとして成り立つには、実に多くの要素を満たしていなければせいけません。実際訪れて気に入った場所、というだけではなく、仕事で使用するという観点を含めると、相当ハードルが上がります。

　結局2の舞台となった沖縄にしても、ストーリーや世界観的な要素は満たしていましたが、バイクの移動・キャンプという要素に置いて問題がありました。北海道は特別なんですね。出来れば他の場所も題材にしてみたいですが……

監督　できるかどうかの責任はもてませんけど、個人的には沖縄の離島が好きなんです。与那国とか波照間とか。だけどバイクと絡めるのは難しそうですよね。なんとかゲームとしての形にしようと思うと、旅ゲーの殻をかぶったクイズゲームみたいなものになっちゃいそうな。（アレッソウイエバムカシソンナげーむガアッタヨネ……）

シナリオや企画について

Q 今回のヒロインはやっぱり初代や2を意識した所はあるんでしょうか？

スカ　作品としての哲学とか、シリーズ作としてのありかたとか、そういう概略的な部分を除けば、個々のヒロインのキャラクターを設定するうえで、前作を意識したということは殆どないと思います。そのへんどうなのカントク？

監督　〝最後に必ず別れる〟ということだけは決まっていましたが、その点を除けば初代や2を強く意識したところはあまりないですね。取材した場所からインスピレーションを得て組み立てていく感じでした。挙げるとすれば、なぎさの職業をナースにしたことと、泉を生身の人間じゃなくしたことですかね。前者は初代に出てきた、北海道を走り回る女性ってナース（または医療従事者）が多い、というネタに被せてみました。後者は言わずもがな樹ですね。

Q ヒロインが3名なのは何故ですか？

スカ　ひとりとかふたりでよかったのか、先に言ってくれ〜。自転車は左側、ヒロインは3人、て決まってるって思ってた。

監督　バランスの問題……っていうんでしょうか、全道を舞台にするのに最低3人は必要だよね、という思考ですね。もちろん、より多く5人とか6人とか出せればいいに越したことはないのですが、あいにく時間も予算も限られてますんで。初代に比べて取材に割けるマンパワーも開発期間も半分だったんです。取材のマンパワーはどうにでもなるんですが、開発期間の制限だけはキツかった……

スカ　ま、ひとりじゃ何かとやり辛いわな。オッパイの大きさ決めるのに延々モメたりとか。

Q 一人のヒロインでなくて複数ヒロインにして、一人旅でもエンディングにいける設定はマルチエンディングのためですか？　一つの物語を深く掘りさげる選択肢は難しいですか？

スカ　先例に囚われず、自由な枠組みのなかでやりたいことをやっていく。それが【PROJECT　Re：】の哲学です。ですので、質問に答えるなら「アリ」ですね。ただ､今回のタイミングで「ヒロイン一人」では相手にされないか笑われるだけ。今の我々の全力がどんなものなのかを、できるだけ以前と比較して分かり易く証明する必要があった。なので原則初代風雨来記に近い構造のパッケージとしました。

監督　個人的には風雨来記3は一人旅が本筋だと思っています。なのでただひたすら誰とも会わず旅をしまくるという掘り下げ方も自分としては「アリ」なんですが、それが万人に受け入れられるかは……ちょっと。自分の食指は世間からだいぶズレてることを自覚しているので、まずはこれまでのフォーマットをなぞろう、と。実験するには時期尚早でしょうね。

取材や断念したスポットについて

Q りょ……取材は何ヶ月かかりましたか？

スカ　りょ……旅行違う旅！　マジレスすると､仕事としての取材は旅とも全然違う。ワシも経験あるけどきっついよ〜。写真一枚撮るのも大変。

監督　総計三ヶ月弱、そのほとんどを一人でこなしました。旅好き&キャンプ好き&北海道好きなライダーだから全道駆け巡っての取材を一人でもこなせましたけど、たぶん普通の人じゃ無理だったんじゃないでしょうか｡風雨来記という作品を作るには、これのうちどれか一つでも欠けてたら難しいと思うんです。例えば旅キャンプ北海道が好きでもバイクに乗れなければどうしようもないし、バイクに乗れてツーリングは好きだけどキャンプの経験がなかったらこれもちょっと厳しいでしょう。

　そんな旅好きな自分でも、仕事が絡むとやっぱり違ってきますね。日が昇ってから落ちるまで駆け巡り、日が暮れたら急いで

設営して、夜は機材のメンテナンス、気象庁の雲量予測をもとに翌日のプラン組み立て。翌朝は夜明け前から動き出す。休まる暇はありませんでした。千尋と違って日曜も駆けずり回ってました（笑）

Q 一つの場所でどれくらいロケというか情報収集されましたか？

監督 あまり「一つの場所につき何時間」みたいなことは設定しませんでしたね。楽にこなせられる場所はすぐでしたし、逆に壮絶なスポットは準備含め時間をかけました。そもそも、その場で行き当たりばったりの情報収集というのはあまりやらないんです。それなりの回数北海道の経験を積んでいるので、過去の記憶を頼りにある程度目星をつけておくんですね。たとえばタウシュベツやキラコタンなんかは、予め営林署へ出向いたり事前に書面で許可貰っておいたり。もし現場で情報収集してたらかなり時間を食ったことでしょう。

スカ ワシなんかが行くと太田山神社だけで3日かかるな。

Q 3では極端なほど国道を避けているように見えますが、何か特別な事情があったのですか？

監督 自分の感覚では、むしろ初代よりも国道を利用しまくっていると思いますよ。

ただ、釧路から根室の間は国道44号より風景のいい道道142号を選ぶ、というような心の中での選択基準はありましたし、実際に北海道を何度も走ったからこそわかる常連ルートを採用した箇所も数多くありますね。たとえば慣れた人間なら、札幌から岩見沢・滝川方面へ向かうのに信号だらけの国道12号なんて走らず国道275号を使い、札幌市街から北へ向かう際は創成川通なんかじゃなく伏古拓北通りを使います。

あとスポットを道沿いに設置したかった（初代は枝線終端にスポットがあることがとても多く､道の構造がわかりづらかった）ので、そういうルートを設計したら国道を外れた箇所はあります。普通なら、細岡展望台から釧路方面へ行くときは達古武まで戻ってから国道391号使いますもんね。今回は岩保木があったので超裏道ルートになったわけです。

スカ デバッグしてる時、どうも実際の地図の主要道と、ゲームマップ上の道路が見た目上合わないので、色々調べました。交差点の構造が間違ってないかとか、ストリートビュー見ながらね。それで分かったことなんですけど、あくまで『ゲームとして快適に遊べる道の連続』として全道を再構築してあるんだなぁ、と。あんまり褒めたかないけどカントクお疲れサマですわ。

そうそう道といえば、「道路の撮影どうやったんですか」ていう質問が発売後にありました。片側三車線の真ん中とかで撮ってますけど……

監督 いやもうそりゃ根性ですよ（笑）。ひたすら車が途切れるのを待って、タイミングが来たら道の真ん中までダッシュして急いでシャッター切ってまたダッシュで戻る。そういう意味では都会部分が一番大変でした。全然車途切れないんだもん（笑）。

ただ今回の取材では撮影データにGPSと方位情報が埋め込まれるので、ひとまず撮りっぱなしでも後から「どこで・どっちを向いて撮ったのか」がわかるんです。なのでとりあえずがむしゃらでもいいから撮っちゃえばあとはOK。いやあ便利な世の中になりました。たぶん初代の取材だと撮影するごとに場所とフィルム番号コマ番号のメモ書きが必要だったんでしょうね。

Q 容量やストーリーの関係で収録できなかったスポット、どれくらいありますか？

スカ 没にしたほうが多いかも。取材した箇所は200超えてたんじゃないですかね。与えられた時間もマンパワーも初代に比べると格段に少ないですから、ワシは50箇所くらいに絞れと言ったんですけど、カントクが強引に「スポットの数は初代を超えたい」言うてね。絶対無理、と周囲で説得したけど押し切っちゃいましたねカントク。

監督 200を優に超える箇所を廻りましたね。つまり取材したスポットのうち、収録できなかったものはおおよそ半分くらいあります。本当は取材した場所のうち決定的にダメな場所以外は全て収録したかったんですが、開発期間との相談で泣く泣く削りまくりました。ただそんな状況でも、全道を舞台にして最低でも三桁は入れるというのは譲れませんでした。エリアが全道へ広がるのにスポットの数は初代より少ない、なんて有り得ないでしょう（笑）。周囲のほぼ全員からスポットもっと削れもっと削れ、エリアももっと制限しろもっと狭くしろと言われ続けたんですが、今以上に削らなくて結果的にはよかったと思っています。物語上絶対に必要なスポット（ヒロインとデートしたりね）の総数だけで50くらいありますから。

Q 支笏湖がスルーされたのが残念きわまりないのですが……他の断念スポットは？

監督 支笏湖はモチロン取材しました。その名残（？）で、モラップキャンプ場に野営できます。支笏湖周辺でスタミナ切れを起こしてみてください。

他には北竜のひまわりの里、椴法華の水無海浜温泉、洞爺湖、神威岬、神居古潭、東雲湖、霧多布湿原、陸別などなど枚挙に暇がありません。特にこの断念スポットの中には摩周〝第四〟展望台（第二を入れたので削りました）なんてのもあったりします。

スカ ……よ、よし、追加データで一儲け……いや風雨来記4のための資金を皆様にお願いしようじゃないか！

制作の裏話

Q 一番難産だったのはどのルートですか？

スカ 当初メインヒロイン（なぎさという

名前も付いていなかったけど）は平賀さんが書く予定じゃなかったからなー。なんやかんやあって、ワシ的には段取りとか色々大変だったんだけど、いざお話を書く、ということについてはどうだったの現場では。

監督　なぎさ以外の二人は私の取材と並行してそれぞれ平賀さんと霧南さんがプロットを練っていたので、プロット次第で取材箇所を臨機応変に対処してたんですが、なぎさは諸々の理由でほぼ取材が済みかけた頃にスタートだったので大変でしたね。既に取材を済ませた箇所でどうにか話をやりくりできないかとか、シナリオの流れ上どうしても削れない画を撮るために一度取材を済ませた場所を再度訪れたりとか。

逆にいえば一番ラクだったのは泉。泉だけ妙に専用スポット多いでしょ？　取材期間中5日間だけ平賀さんと一緒に廻ったんですが、ほとんど泉のためのロケ行脚になりましたからね。そりゃ優遇されますわ(笑)

Q 原画の泉彩さんを採用した理由や決め手はなんですか？

スカ　決め手は人柄です。ドトールで初めて会って決めました。ガッツもあるし、常識な部分もある。とあるグンマー県民の紹介だったんですけど、絵柄的には一目ぼれ的な。塗りのタイプがどうこう言う意見もあったけど、ワシ塗りとかそーゆー難しいこと分からんもん。

若さも魅力でした。若いというのは　安く~~馬車馬のごとく働いて~~　向上心があってチャレンジも出来ますから。シリーズ作で岸上のあとを継ぐという難しい状況にも勇気を持って立ち向かってくれました。

監督　音楽の風水さん同様、絵は絶対に岸上さんと比較されますもんね。ほんと損な役回りを受けてもらいました。

Q 今作を作るにあたって、楽しかった事は何ですか？　また辛かった事はありましたか？

スカ　しんどかったです～。もうしんどいことしか覚えてない。全部挙げたら1ページ分くらいあるけどどうします？　要りませんかそうですか。

まず、プロジェクト立ち上げ時の不安との闘い。新規のスタッフでということもありますし、ウチがどん底の状態でしたから金もない時間もない。自分で立ち上げたはいいけど、こりゃ納期通りに出来たら奇跡だなと思った時期もありました。ひとつひとつのピースをはめつつ、プロジェクトの形を作り上げて行く。もちろん楽しい作業のはずなんですが、今回は2アウトからヒットを5本連ねなきゃ負け、みたいな状況でしたのでプレッシャーが凄かった。今思えばそこまで追い込まれたのがよかったとも言えるんですが。

最後はもうお決まりの修羅場ですね。封印→prelude→風雨来記3と三本マスターが続いたから死にました。50過ぎて徹夜の連続はきっつい。元旦以来休んでないとかどんだけブラック自分で自分を訴えてやりたい。おまけに歯痛くてね。歯医者行く時間ないし。マスター期限まで24時間切って、椎名の「これでちゃんと動くはずですけど」の大嘘。マスター出し後爆睡してたら台湾のプレス工場からエラーが出てますとかもう滝汗。

でもやっぱりオリジナルやれるのは幸せです。それが出来ない期間が何年もあって、この日のために色んなことに耐えてきたわけだから。

監督　制作そのものが楽しかったことであり辛かったことであり……ヒィコラいってとても辛いけど、それもまた楽しいんですよね。ってこれ答えになってないよな。

純粋に楽しかったのは、企画段階でどのスポットを入れようかなぁ～と構想を練っているとき。「ここは絶対紹介したいなー、いやいやここも捨て難いぞ……」などなど、北海道の魅力を自分なりに最大限伝えられるよう考えを巡らせるのは最高に楽しかったです。取材も楽しかったですが、可能な限り一つでも多く取材をこなす必要がありましたから、期限との闘いで胃がキリキリすることもしばしばでした。

辛かったのはシナリオのスクリプト化ですね。自分はプログラムセンスが皆無だと自覚しています。たとえば「，」（コンマ）と「．」（ドット）が一つ違うだけで動かないなんて、もう堪りません。勘弁してください。太田山へ10回登る方がはるかにマシ！　ほんとプログラマの方は尊敬します。

Q 過去2作品を振り返ってと3の発売までの制作秘話、感想をお聞かせください。

スカ　とにかく初代と2は予定通りいかなかったことしか覚えてない。初代の場合は、時間がかかりました。とにかく延びた。納期が延びるのは、非常によろしくないことなんです。会社の体力も相当消耗しましたね。2はそういう反省も含めてスタッフもある程度再編して臨んだのですが、今度はプロジェクト全体の中で個々の温度差というか、チームとしてまとまらなかったのを覚えてます。

それに対して3は、前にも出ましたが制約だらけの中でスタートしたので、そういうことはなくタイトに進行できました。要するに、与太こいてる余裕なんかないわけね。なかなかうまく機能しないケースも中にはあったのですが、そういう場合は即決対応。待ってる暇なんてないですから。

史上最小のプロジェクトとなりましたが、やはり少人数でやるのがいいですね。体はしんどいけど、心はラク。やはりワシを一番疲れさせるのは「人要因」ですから。カントクはじめ偏屈揃いだっけど、今回のメンバーはみんな約束を守ってくれました。これが何よりデカいですね。

監督　去年の頭くらいでしたか、社長と別件で打ち合わせた際、雑談の中で風雨来記3作りたいんだよね～と軽い感じに言っていたので、「へぇー、浅野さんと連絡ついたのかな。3出たらプレイしたいなー」と他人事に思っていたんです。それからしばらくして実際にプロジェクトが動き出しそうという段階で、衝撃の事実が告げられま

した。「お前北海道のおすすめの場所とか書いた企画資料作れ」

……

…………え、俺が監督やんの？　と。

スカ　そう、3を制作するうえで劇的に変化したのは、スタッフ。ワシとクアドラ（プログラム担当社）の社長以外、全員シリーズデビューですからね。本当にできるんかいな、と自分でも半信半疑だったり。

　ただ、強い味方がもう一人いました。もし、風水さんが生きていたら、どんな事情があるにせよ、プロジェクトに参加して頂けたであろう、と勝手に思っています。あくまで個人の意見ですけど。楽曲については初代のものを原則使用しました。但し数曲は初代と轍へのリスペクトを込めて封印してあります。

　追加楽曲は、椎名によるもの。そっちが彼の本業なんですけどね。マスター3日前にギターのおっさんの曲書いてるとか、「もうこれ以上いじるんじゃねー」てブチ切れましたけど（笑）。

監督　いやーすみません、あのときちょっと〝降りてきた〟んで（笑）。それまでに作っていたの全部ひっくり返して3日前に作り直しました。

　で、確かに自分は音楽が本業なんですが、今回監督するにあたってBGMはやっぱ風水さんの曲じゃないとなァ……というのが常に頭の中にありまして。脳内では音屋としての自分が「ふざけんな俺が全部書くんだよ！」というプライド（？）を掲げていたけれど、制作者としてではなく〝いち風雨来記ファン〟としての立場から考えたとき、どうすればユーザーが喜ぶか。そりゃあ……ねえ。というわけで自分はあくまで補佐役に徹することとしました。

　この補佐役というのは久遠の絆　THE ORIGINのときと同じ構図でしたけど、完全に風水さんの代役を目指して音作りから旋律まで全てをトレースした久遠とは違い、今回は自分の色を遠慮せず出しました（笑）。ピアノとかドラムとかベースとか、音が全然違うでしょう？

スカ　せっかくだからここで曲紹介しておきなさい。

監督　承知しました。追加曲の解説ですね。

♪Fata Morgana

　3のメインテーマ的なポジション＆〝3のMIRAGE〟を狙って書きました。爽やかな青空の中を駆けていく気持ちよさを表現しています。ツーリングモード中は是非この曲でも走ってもらいたいと思います。ちなみにファタ・モルガナとは蜃気楼(ミラージュ)の意。

♪Johxmon

スープカレー屋専用BGM。あの店、いっつもゴアが流れてるんですよ。現実に準拠させたかったのであえてBGMとして不向きなこの曲を書きました。え、手をかけるとこ違うって？　ゲーム中に使用されるバージョンは遠くから聴こえてくるような処理をしています。

♪未来

未完成な雰囲気を持たせ、かつオルゴールの短いループでも聴けるように、という厄介な制約がある曲です。小夜はこの続きにどんな曲を書くんでしょうね。

♪不穏な心

なにやらよからぬことが起きそう……そんな怪しく緊迫した空気。風水さんの「放浪者」はどちらかというと〝怪しい〟よりも〝妖しい〟タイプなので、緊迫感が必要な場面のために書き下ろしました。

♪ブレークスルー　ザ　ロード

ブルースギターの甘い響き。当初はもっと激しいものだったんですが、歌詞の言葉の向こう側にある、優しく包み込む意図に気づき、土壇場で書き直しました。

♪路の続き

OPにも使われている3のサブテーマ。静かな中に熱い芯を持ち、儚くも華麗で力強い。そんな相反する要素をまとめあげました。走るのをやめない限り道は続いていく……そんな意志と、風雨来記という世界(みち)の続きを作りましたよ、という意思表明を込めました。実は、初代のエンディングRide On RidingのOnのモチーフを織り込んでいます。そう、その上でこの曲名にした……このメッセージに気づいてくれた人いるでしょうか？

キャラクターのことなど

Q　千尋くんのお姉さんは、いま何歳なんですか？

スカ　17歳ですよ永遠の。しかし勇気あるな。女性にトシ聞くのは失礼と言いますが、この方に限っては張っ倒されても文句言えませんぞ。

Q　松本さんの年齢はいくつですか？　それと移動手段は？

監督　女性に歳を聞くもんじゃありませんよ、と泉の声が聞こえてきます。というのはさておき、設定上は30代となっています。移動手段はみなさんの想像にお任せします。車でも、特急列車でも、飛行機でも。ただしライダーではありません。個人的にはあの柔和な顔してBMW　Z4とか乗り回してたらキュンときちゃいますね。

Q　由美さん子持ちってホントですか？

スカ　どっかで聞きましたね、私も確かにその話。どこだったろうな〜。麻雀の旅打ちである地方都市のうらぶれた雀荘でボコられていた時に聞いたかな……いや、香港の競馬予想屋から聞いた話だったか……。それにしてもみちのくのヒロインはみんな母親が似合いますなー。それに比べたら初代風雨来記（以下略）

Q　初代、2など歴代のヒロインが（ちょい役でも）登場する作品を作る予定はありますか？

スカ　キャラクターデザインを伴う本格的なものはもうないです。岸上君に新規で作画をやってもらうことはもうたぶんない。

理由は色々あるのですが、居酒屋でハイボール奢ってくれたら話します。
　デフォルメキャラを使ったミニゲーム的なものとか、本編中でテキストのみでちょいと触れる程度なら、可能性はあります。でも設定が難しいなー、由美さんがママになっていること以外想像がつかない。

Q　たまちゃんと夏ちゃんは幸せですか？

スカ　あら？　それじゃ樹と冬はどうでもいいみたいじゃないか。●●を●●しないと●●て●●ぞ！
監督　たまちゃんは轍も千尋も、両方を見守ってくれていることでしょう。

Q　風雨来記初代・2の人達は3の時代ではどうしているんですか？

スカ　由美さんの噂以外は（以下略）

Q　千尋君はなぜあそこまで内省的というかマジメなんでしょうか？

スカ　ギャハハハハ！　主人公キャラっつーのは制作者の鏡みたいなもんだからねー。椎名ってあんな感じなんだわ。たまにイラッとするだろ（笑）。メジャー観光地がちっとは好きになるよう教育しときます！　しかしワシみたいなチャランポランが主人公だったら物語にならんけどねたぶん。
監督　俺だけじゃなく平賀成分も多分に入ってますよ(笑)。あとプロジェクト初期、千尋の性格付けをする際にある程度轍を踏襲させたのも理由ですね。なんていうんですかねー、青臭さを出したいというか。
　ちなみに自分はメジャー観光地の中のマイナースポット（函館要塞とか）が好きです。ソフトクリームが美味いところはもーっと好きです。
スカ　なんだソフトクリームはおまえだったのか？　ワシも好きなんだけど近頃は歯にしみるからな……

その他

Q　身も蓋もない質問ですが、旅先でそんなにたくさんの人々と偶然出会うものですか？　初対面が多いはずですが。

監督　旅先ではけっこう色々な人と出会いますよ。今回のランダムイベントに出てきた人たちとか、毎年毎年名物旅人が出現しますね（笑）。あとは温泉へ行けば（秘湯でもない限り）誰かしら会います。旅人同士、湯に浸かりながら情報の交換なんてことも。
　そんな旅先での出会いのほとんどは一期一会ですが、たまに再会する人がいます。翌日だったり翌週だったり、はたまた翌年（！）だったり。ゲーム中での初心者ライダーとの再会、ああいうことも実際にあるんです。
　今回の取材では、中富良野のとある宿営地（このときはライダーハウスでした）にて、かつて函館と平取と帯広で同じ夜をともにしたそれぞれ別の旅人と、奇しくも同時に再会しました。
　同じ人と再会するというのは先述のとおりままあるんですが、それが同時に三つも重なったのは流石に初めてでしたね。まさに運命の悪戯といえるような縁でした。旅を重ねているとこういうことが起こるので楽しいですね。
　その後、その再会した旅人たちと一緒に、上富良野は吹上温泉までナイトツーリングしました。
　あのとき温泉で呑んだビール（もちろんノンアルコール）のうまさは最高でしたよ。

Q　シティボーイとされるスカ社長をエンジョイ！アウトドアマンにしたいのですが

スカ　馬鹿言ってんじゃないよ。ワシはこれでも立派なアウトドアマンなんだよ元。若い頃は山にも行ってたしね。高校生の頃はよくひとりでリュック担いで裏山（六甲山）でキャンプしてました。三角屋根の昔のテント（布と二本のポールだけのやつ）も一人で張れるよ。釣りだってOK、老眼で針結べないけどね。今でも車で送り迎えしてくれて重たいもの全部持ってくれるんだったら、付き合ってやってもいいぜ！

Q　北海道中を移動していて、ドライバーの運転マナーが悪かった地域って、どこですか？

監督　うーん、運転マナーが悪い地域、というのは特にありませんねえ。北海道を長年走っているとわかるのですが、地元の方はけっこう安全運転をしていて（そりゃ巡航速度は高めですけどネ）、実は運転マナーが悪いのはレンタカー！　パトカーや白バイもレンタカーを狙っていることが多いです。

Q　前作に比べると駐車場イベントが少ないのは何故でしょう？　キャンプイベントが固定なのはストーリー的に分かるんですが。

スカ　予算だよ予算。初代の3分の1くらいの総予算で制作しているんですぜ旦那。その中でよくここまでやったと自分で自分を褒めてあげたい！　って、やったのはワシじゃないけど。
監督　時間だよ時間。初代の半分程度の期間で制作しているんですぜ旦那。もっと量を増やしたりとか、条件を複雑にしたりとか、色々やりたかったんですが、あらゆるファクターのバランスを鑑みて現状としました。「ランダムイベントを複雑にして倍の量入れます、その代わり収録スポット数を半分に削ります」……ってのもちょっとアレですよね？　いやあとにかく期限がタイトでした。
　プロデューサーたる社長がお金の心配、ディレクターたる自分が時間の心配をしているというのは、それぞれの役柄が如実に示されていて面白いですね。
スカ　時は金なり。

ＶＩＴＡ対応版での追加問答

ＶＩＴＡ対応の改訂第三版を出すにあたって、追加で質問を募集してみました。

Q 今回のＶＩＴＡ化にあたり、出来具合や満足度、売上や人気具合をどう思いますか？

スカ 出来具合と満足度（つくり手としての）は85点。売上や人気具合（3月20日時点）は今のところ残念ながら65点くらいかな。なかなか昔みたいには売れてくれないけど、じわじわ売れて欲しいですね。早く幸せになりた〜い。

監督 冬の北海道を収録できましたし、新しいヒロインも入れられましたし、現状のリソースで追加できることは一通りやれたかな、という感じですね。当然ながら百点ということはありませんが、細かい部分に手を入れたりとか、処理の改善などで遊びやすくまとめられたと思います。

　ちなみに個人的には、あまりにもニッチすぎるジャンルのゲームなのに店頭で品切れになっているという報告を見て、ひとまずのところはホッと胸を撫で下ろしています。風雨来記3のことを知る人がもっともっと増えてくれたら嬉しいですね。皆さん口コミも非常に大きな力です。どうぞよろしく！

Q 今回の開発で厳しかったことをあたりさわりなく教えてください。

監督 厳冬の北海道再取材、その行程を狙いすましたかのように嵐が襲ってきまして（国道が通行止めになるくらいの爆弾低気圧）、暴風とホワイトアウトのなか狩勝峠を越えたり、地吹雪を突っ切ったり、今にしてみればよくもまあ死ななかったもんだと思います。耐寒装備がかさばるため、身軽な夏場と違って機材を厳選しなければならなかった点も悩ませられました。

　さらに夏の再取材ではオフロードバイクを駆ってシュンクシタカラ湖に再挑戦。……したものの、色々とトラブって大秘境の中で泣きそうになりました。今にしてみればよくもまあ死ななかったもんだと思います（1段落ぶり2回目）。身体を張った再取材の成果を、皆さんは快適なゲーム内でお楽しみください。

スカ シュンクシタカラ湖の取材日、カントクから「万が一、明日の朝までに連絡がなかったら救援呼んでくれ」というメールがありまして。むむう、警察？　いきなり警察でいいのか、それともツイッター、いや美唄の農家に相談するか、とか色々考えて、ドキドキしていました。夕方には無事（？）帰還の報告がきたのでホッとしました。

　あとは、制作も佳境の11月ひと月で、体重が9キロ減りました。いつものことながらあの時はヤバかった。

　でも正月明けにはしっかり元に戻りましたけれども。

Q たまちゃんがツイッチャーでしか出てこないのはなんでですか？

監督 初代を知るユーザーへのファンサービスに出演させたいけれど、あれから十年以上が経ちユーザーの心の中にいる玉恵は十人十色のはずですから、画としては出さない方がいいな、という判断ですね。

　轍をはじめ初代のキャラは基本的にそのスタンスですが（姉貴は別枠です）、今回のＶＩＴＡ化にあたり、追加サブシナリオを書いた雅さんが初代の制作にも関わっており、そしてその際あるキャラを担当していたという縁で〝とある人物〟だけは――おっといけない、これ以上は本編でご確認ください。

Q ＶＩＴＡ版からナウマン国道（336号）を追加したのは何故ですか？

監督 ＰＣ版取材時には時間や行程の兼ね合いで道を撮れなかったのです。

　一応広尾と浦幌は帯広経由で行き来できますからクリティカルではなかったんですが、やっぱり不便なので追加で撮ってきました。ガスってるのはご愛嬌。

Q なぎさの相棒がＸＪＲ１３００なのは、どの様な事情で決まったのでしょうか。

監督 なぎさが元々カタナ――ＧＳＸ２５０Ｓ乗りというのは本編で言及されている通りです。さてカタナといえば？　そう、空冷！（中免で乗れるタイプのカタナは水冷なんですが、元祖の１１００ｃｃモデルを意識して冷却フィンを模したデザインになっています）　そしてＸＪＲも空冷の代表格。彼女は空冷マシンの見た目が好きなのでしょう。

　……というのは後付けで、決定の一歩目は単純にカントクの趣味です。いや、でもほら、なぎさってなんかヤマハorスズキってタイプに見えません？

Q カメラのフォーカスがマニュアルになったのは監督の趣味ですか？

監督 はい（即答）

　風雨来記3は、実際の空気感をとても重視した作品だと、皆さんには既にお分かり頂けていると思います。これは舞台などの設定だけの話ではなくて、ツーリングモードを筆頭にユーザーの行なう操作にも当てはまります。

　実際の風景を撮るときは、じっと機会を待ち、色々な条件を考慮しながらカメラを操ります。こういった「一枚一枚魂を込めてシャッターを切る」という行為・意識を極力反映させたいと思っていました。

　そこへ今回のＶＩＴＡへの移植話ですよ。タッチスクリーンを活かさない手はありませんね！

Q 千尋の一眼レフはなんでペンタックスが採用されているのですか？

監督 もともと自分は筋金入りのニコンユーザーでして、取材も可能ならニコンを使う予定でした。その方が自前のレンズ資産も活かせますしね。しかしニコンのＧＰＳユニットだと「どっちを向いて撮ったか」という方位情報が記録できないのです。道

の写真を大量に撮る風雨来記3では致命的な弱点でした。

　そこで方位を記録できるGPSユニットがラインナップされているメーカーから、頑丈さと緑色の表現力に定評あるペンタックスを選びました。これら二点は自然が主な相手となる北海道ではとても大事な要素です。キヤノンも候補に挙がりましたが、ズーム操作がニコンやペンタと逆方向の回転なので早々に除外でした。

　結果的には、ペンタのGPSユニットについている機能『アストロトレーサー』で星を簡易的に追えたり、ISO1600でもほぼノイズがなく安心して使えたり、マイナス10℃までの動作を保証していたり（冬の取材でメッチャ助かりました）と、ペンタを選んで良かったです。今では立派にペンタ党。レンズの選択肢が少ない点が玉に瑕ですね。

　余談ですが陸別のマイナス22℃のほか、マイナス16℃でなおかつ雪がじゃんじゃん降っている美瑛でも耐えてくれました。

スカ　ワシもペンタックスはいいと思うよ。他のメーカーに大なり小なり良からぬ思い出があって、ペンタックスだけは使ったことがない、という消去法の極みだけど（笑）

Q 縦断するのにスタミナが足りません。ルートを教えてください。

監督　ルート探しも醍醐味のひとつだと思うんですが……スタミナの範囲内できちんと到達可能です。是非試行錯誤してみてください。それでも道順を知りたい方は以下へどうぞ。

縦断ルート：
稚内森林公園でキャンプ
翌朝出発→宗谷岬
宗谷岬→豊富→遠別→苫前→留萌
留萌→碧水（北竜町）
碧水→新十津川→当別
当別→札幌（北区）
札幌→札幌（中央区）
札幌→喜茂別→留寿都→虻田
虻田→長万部→八雲
八雲→熊石
熊石→江差
江差→上ノ国→白神岬

横断ルート：
大成野営場でキャンプ
翌朝出発→太田山神社
太田山神社→熊石
熊石→八雲
八雲→長万部→室蘭→苫小牧
苫小牧→鵡川→平取→日高
日高→清水
清水→帯広
帯広→音更
音更→池田→浦幌
浦幌→音別→釧路
釧路→厚岸→浜中→納沙布岬

スカ　縦断は留萌から内陸部に入るところがミソだね。今回の追加された横断、ナウマン国道の開通に騙されたわ～。なんだよフツーに日勝峠かよ、って。

　でもこれ激ムズというほどじゃないんで巻末の地図をプリントアウトして、あーでもないこーでもないと試行錯誤するのが楽しいと思うよ。でももう見ちゃったね。手遅れですね。

Q 次回作の構想とかはもうあるのでしょうか？

スカ　構想はあります。アイデアだけは湧いてくるんだなー。ついでにお金も湧いてこないかな。

監督　身も蓋もないっスね。

Q VITAに移植する際、ユーザーインターフェースの変更や携帯機ならではの制限などでの苦労話を。

監督　VITAでは、PCのようにマウスオーバーという状態が発生し得ないため、インターフェースのデザインは根本的な組み替えが必要でした。また、解像度は高いとはいえ画面の大きさがPCとは段違いですから、多くの情報をより効率的に表示・操作するにはどうしたらいいかを考えるのに腐心しましたね。ただゲーム機というプラットフォーム上、各ボタンやキーでダイレクトかつわかりやすい操作ができるようになったのは良いことだと思います。

　環境が千差万別のPCでは動作確実性の観点からテキストエンジンや描画エンジン等に制約があったのですが、VITA版はVITAの技術仕様のみ注視すれば済むので、作っていて痒い場所に手が届きやすくなった印象があります。

　裏を返せば、VITA独特のクセというものも存在して、それを掴むまではちょっと苦労しました。例えば映像ですね。データを作るマシン（つまりパソコンですが）上では正常に再生されるのに、VITAへ持ってくるとおかしくなる。再生速度が速くなったり遅くなったりと法則性なくバラバラなんですね。プログラムを担当する部署に訊いても「ようわからん」と言われて、最終的にはSDKの技術仕様書を取り寄せて睨めっこしていじりました。無事に直せてよかったです。（それ監督のやる仕事なのか？）

　あ、背面パッドでの操作もなにか有効に使えないものかと色々試してみたんですがやっぱりごにょごにょごにょ……（徐々にフェードアウト

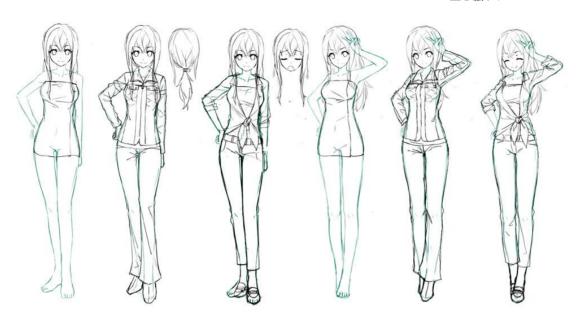
スカ　背景の修正（みなまで言わなくてもわかるな～）なんか結構手間かけてやったんですけど、実機上で見るとほとんど判別できないところが多くて悲しいです。

Q まだまだ風雨来記シリーズ続けますよね？

スカ　自分はほとんど外に出ないけど、今回のプロジェクト通して益々旅が好きになりました。老い先短いのでチャンスはもう何度もないとは思いますが、またやりたいですね。これからもずっとずーっと、応援してください。よろしくお願いします。

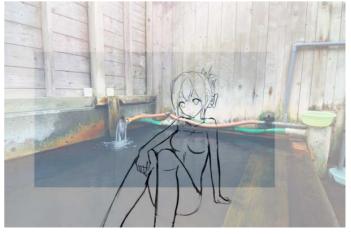
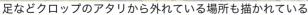
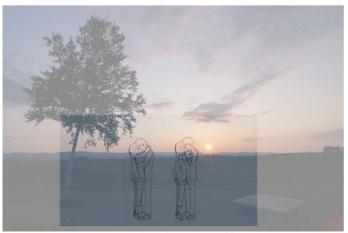
了

逢沢なぎさ

立ち絵ラフ

イベントラフ。最終的に一番美しい構図となるよう、クロップ（切り抜き）のアタリを試行錯誤している。

水科小夜

立ち絵ラフ

足などクロップのアタリから外れている場所も描かれている

キスシーンは複数パターンから絞り込まれた

富村泉

立ち絵ラフ

その他

初心者ライダー

女性汎用旅人

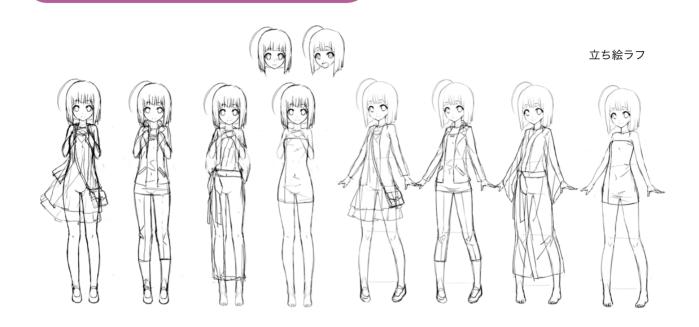
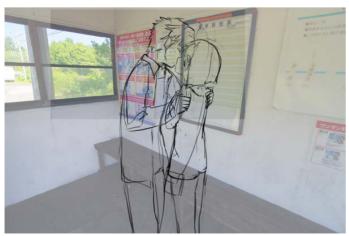
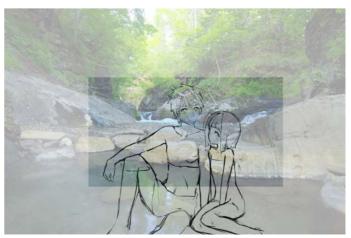
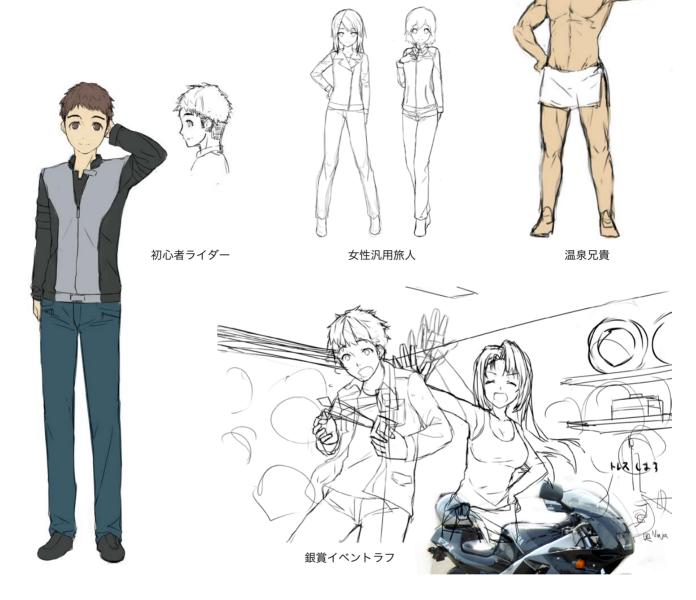
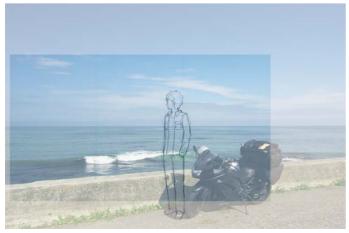
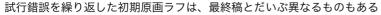
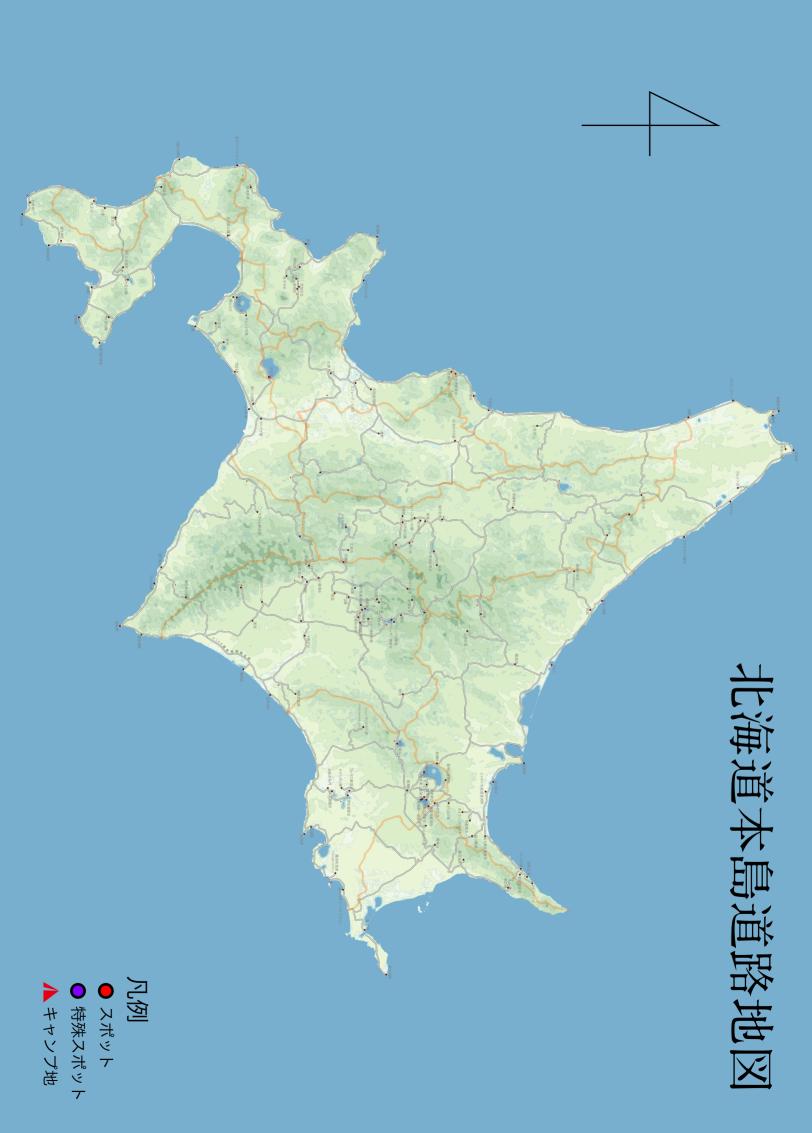
温泉兄貴

銀賞イベントラフ

試行錯誤を繰り返した初期原画ラフは、最終稿とだいぶ異なるものもある

北海道本島道路地図
4
凡例
スポット
特殊スポット
キャンプ地

風雨来記3
コンプリートオフィシャルワークス

〈デザイン・構成・執筆〉
椎名建矢
〈執筆〉
宗清紀之

風雨来記3　コンプリートオフィシャルワークス

発行人　宗清紀之
編集人　椎名建矢

発行所　株式会社フォグ
〒194-0041　東京都町田市玉川学園3-13-27
電話　042-814-0571

2013年8月12日　初版発行
2014年1月25日　改訂第二版発行
2015年3月23日　改訂第三版発行